

工 事 番 号	部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和3年度					
施工月日	令和	年	月	日	<p>橋梁補修工事（市道本郷町清兼板屋線板屋橋外 1 橋）</p> <p>社会資本整備交付金事業</p> <p>三原市 本郷町船木</p> <div style="text-align: right;">   </div>	
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
橋梁補修工事 N=2橋 断面修復工 0.330m3 ひび割れ注入工 11.5m 表面含浸工 136m2 塗替塗装工 95m2 伸縮目地補修工 22.3m						

特記仕様書

第1章 総則 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 橋梁補修工事（市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和3年8月）広島版**
 - ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
 - 広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
工事期間中、交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工所用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

3 有害物質を含む塗膜等の処分

受注者は塗膜除去による廃材について、有害物質を含む特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。なお、処分費については変更の対象とする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

- c 積上げ計算による部分
施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。
- (イ) 現場管理費
 - a 現場管理費の算定
対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。
 - b 現場管理費率の補正
工事箇所ごとに施工時期, 工事期間, 施工地域及び工事場所区分の補正を行う。
- (ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用
 - a 積上げ項目
施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。
 - b 率で計上する項目
対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお, 処分費等が「共通仮設費対象額 (P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合, 率計算の対象については, 工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において, 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は, 建設工事請負契約約款第54条に基づき, 法定外の労災保険の契約締結したときは, その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は, 政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり, (公財)建設業福祉共済団, (一社)建設業労災互助会, 全日本火災共済協同組合連合会, (一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で, 労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または, その内容に疑義が生じた場合は, 監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	板屋橋	式	1	レベル1
鋼桁工		式	1	レベル2
鋼桁補強工		式	1	レベル3
近接調査計測工		m2	1	レベル4
芯出し調整工		m2	1	レベル4
鋼桁孔明工	水平及び下向き SS400 t=9~11mm	本	44	レベル4
部材取付工	ボルトによる補強部材	部材	16	レベル4
高力ボルト工	M22	本	44	レベル4
部分塗装	接触面・外面塗装	m2	1	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
伸縮部補修工	伸縮目地材	m	10.2	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工		m	48	レベル4
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵	転落防止柵 縦格子型	m	51	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	超微粒子セメント系	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理	清掃・水洗い	m2	72	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2	72	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗装工		式	1	レベル3
湿潤式塗膜除去		m2	95	レベル4
塗替塗装		m2	95	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
防護柵撤去工		式	1	レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		m	50	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.1	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場工		式	1	レベル3
足場工		m2	79	レベル4
防護工		m2	79	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	40	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
施工調査費	含浸材塗布管理	式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	寺沖橋	式	1	レベル1
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
伸縮部補修工	伸縮目地材	m	12.1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工		m	58	レベル4
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵	転落防止柵 縦格子型	m	65	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理	清掃・水洗い	m2	64	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2	64	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
防護柵撤去工		式	1	レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		m	65	レベル4

工事数量総括表

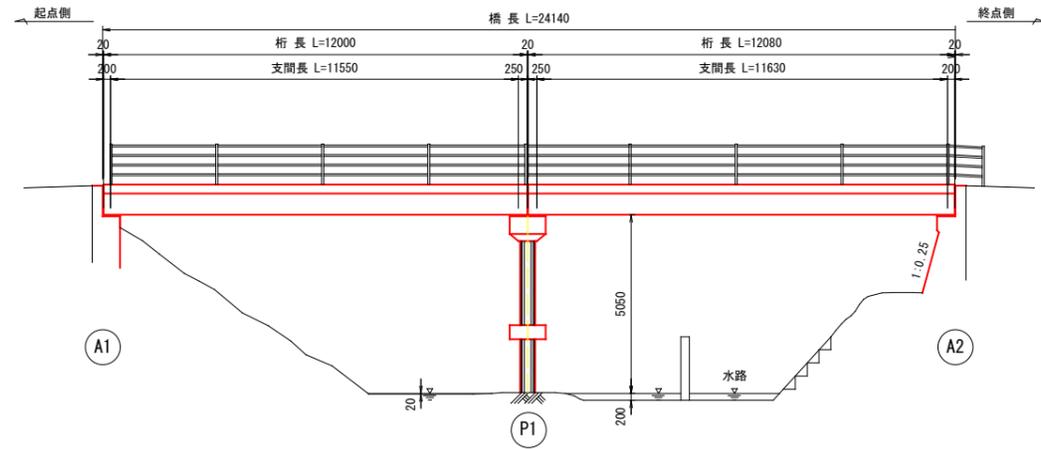
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.3	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.3	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場工		m2	74	レベル4
防護工		m2	74	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	38	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
施工調査費	含浸材塗布管理	式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				

縮尺	図示	図面番号	1 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	板屋橋一般図		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

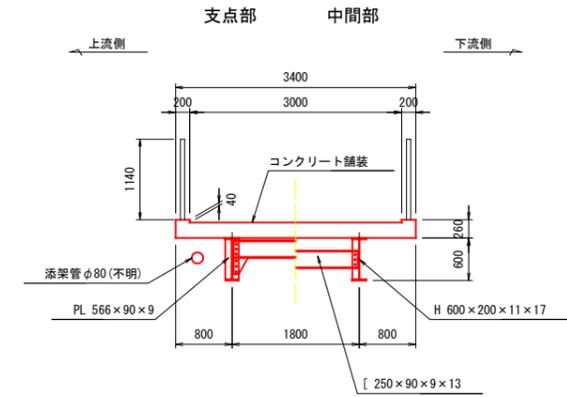
板屋橋 橋梁一般図

板屋橋

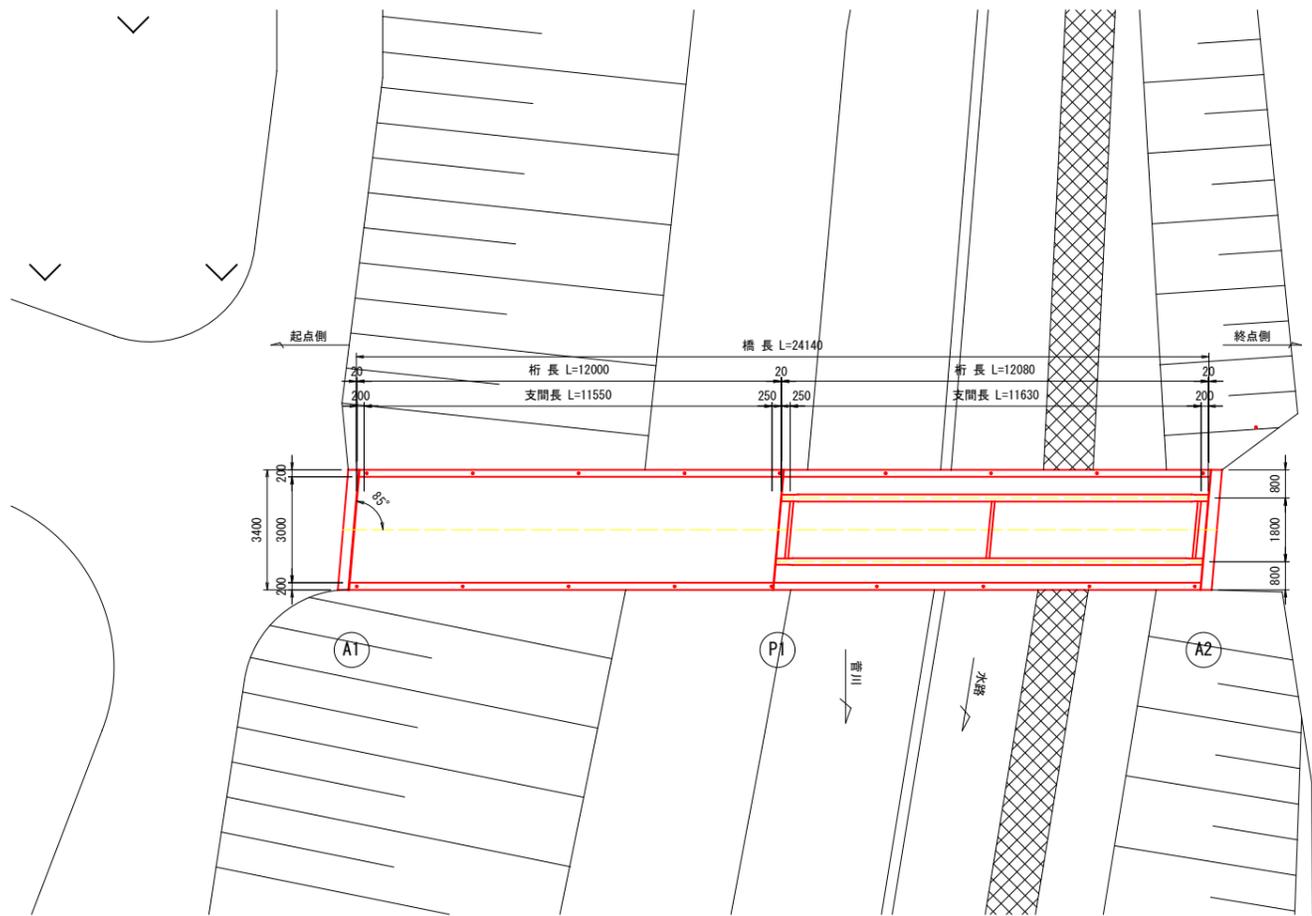
側面図 S=1:100



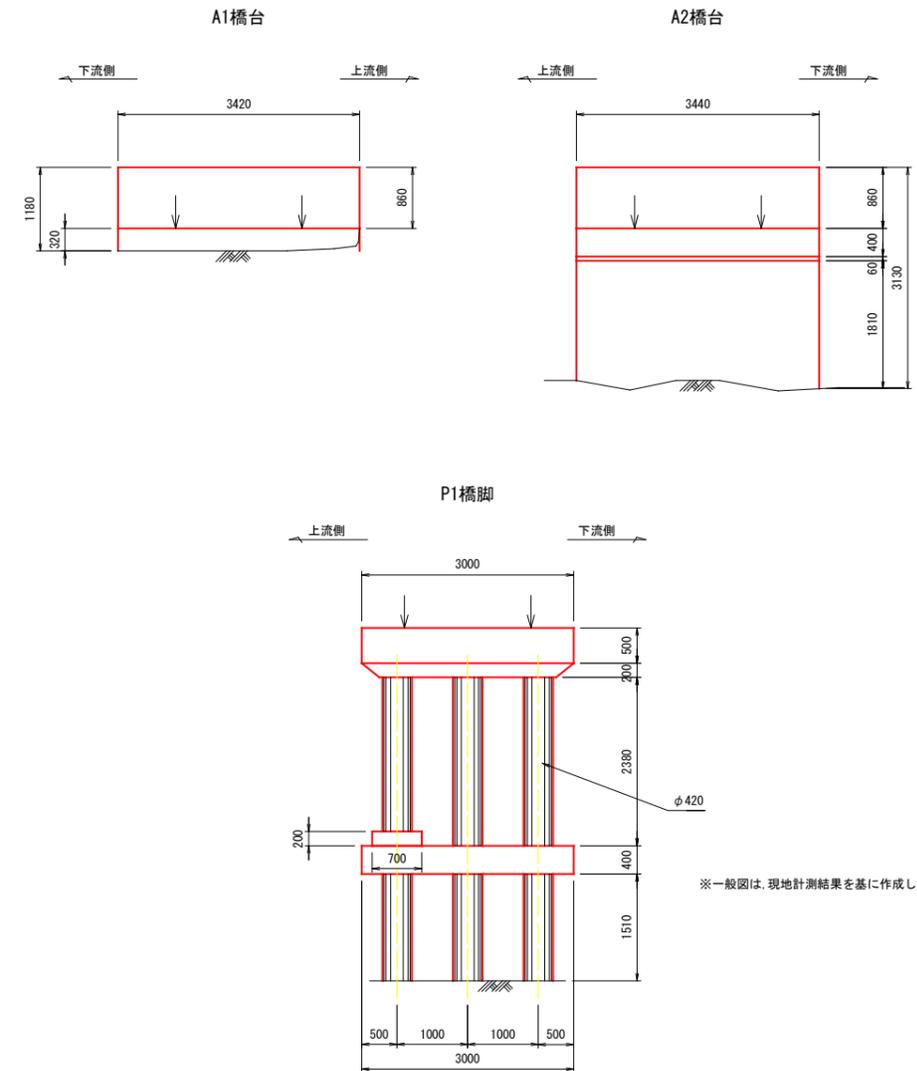
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



橋台・橋脚正面図 S=1:50



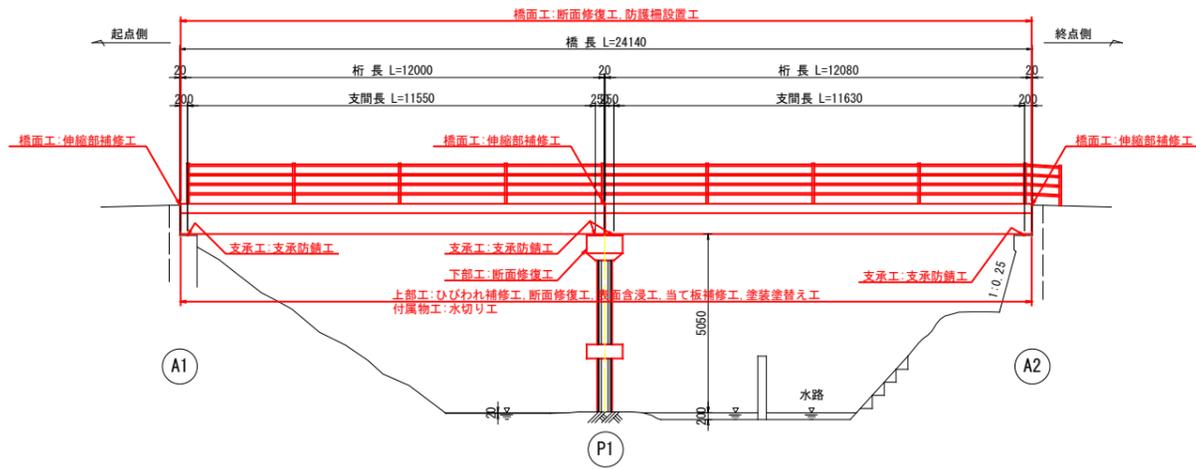
※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

縮尺	図示	図面番号	2 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修計画一般図		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

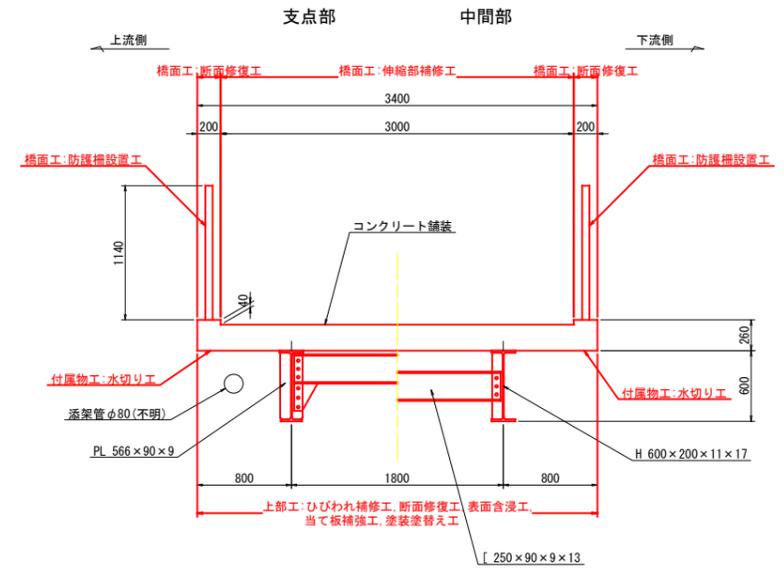
板屋橋 補修計画一般図

板屋橋

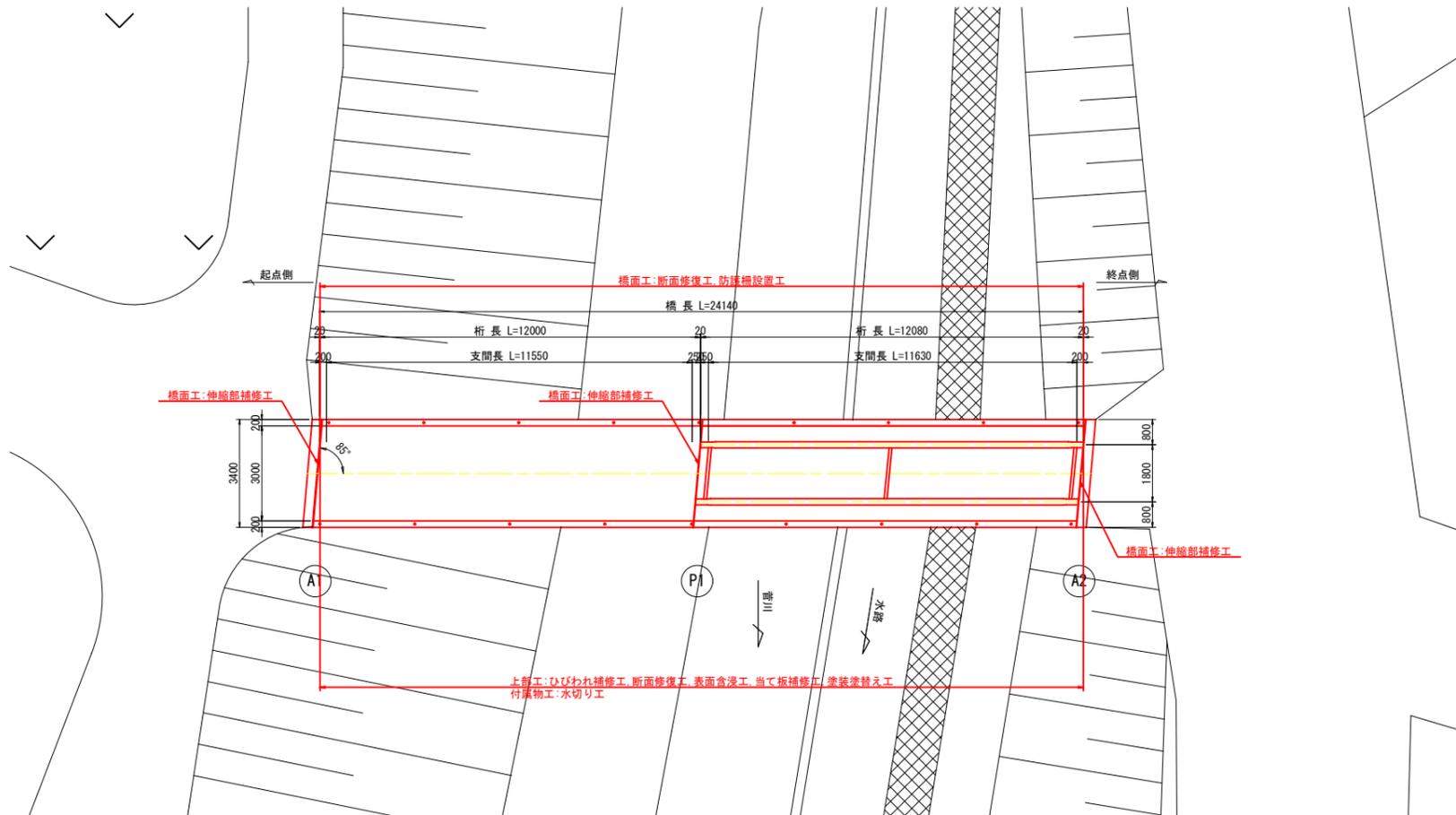
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



対策工法一覧表

- 伸縮部補修工
- ひびわれ補修工
- 断面修復工
- 表面含浸工
- 水切り工
- 当て板補強工
- 塗装塗替え工
- 支承防錆工
- 防護柵取替え工
- 仮設足場工
- 吊足場

縮尺	図示	図面番号	3 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その1)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

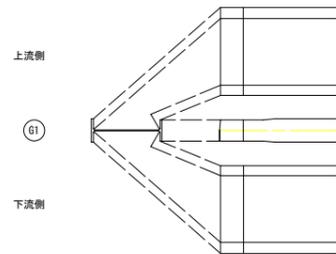
板屋橋 補修図(その1)

S=1:30

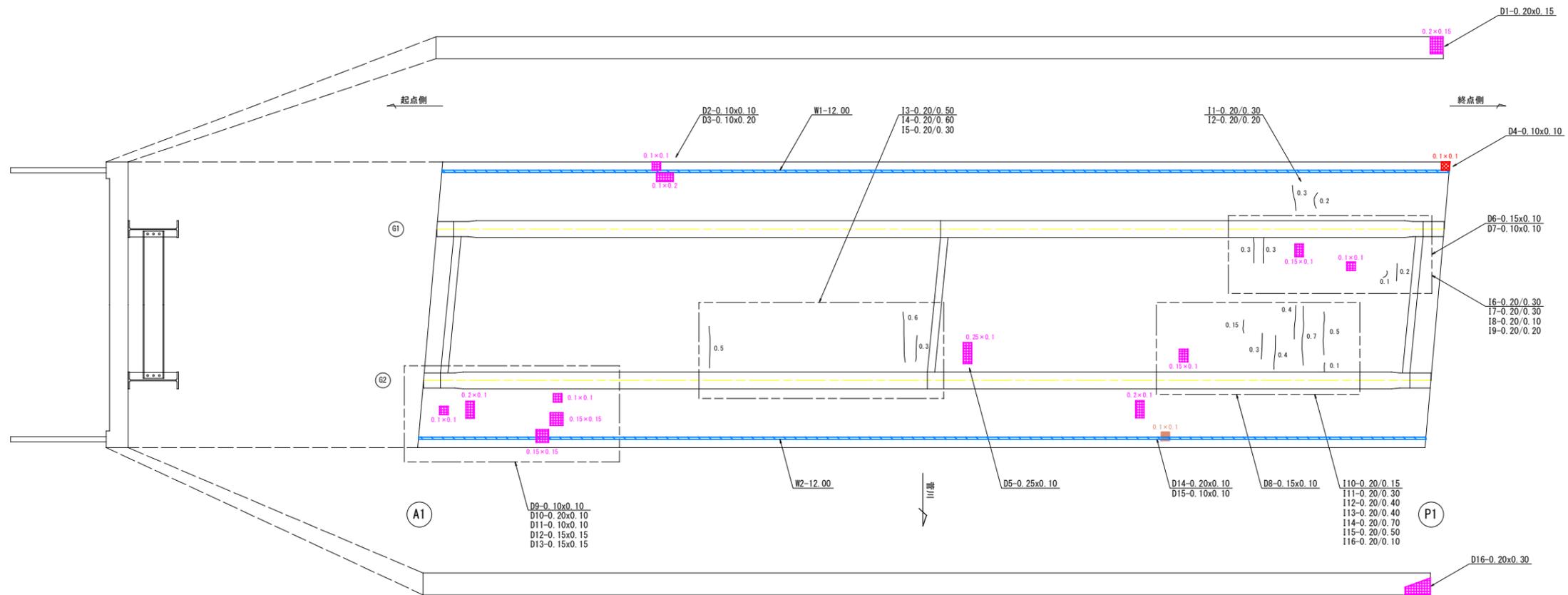
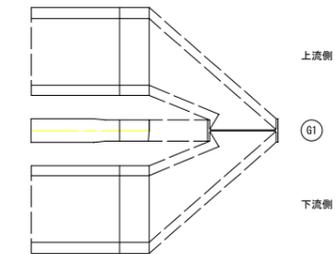
桁下面(1径間)

板屋橋

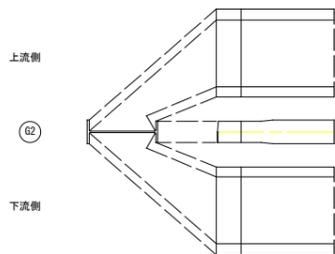
主桁端部展開図



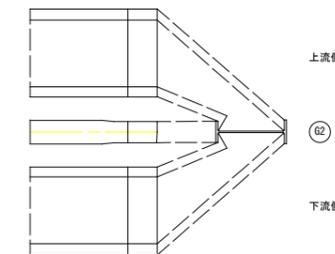
主桁端部展開図



主桁端部展開図



主桁端部展開図



凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≤ W < 1.0mm)
D	断面修復工(左官工法)
補修工法 補修番号-幅/補修延長 補修工法 補修番号-補修幅×補修長	

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

縮尺	図示	図面番号	4 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その2)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

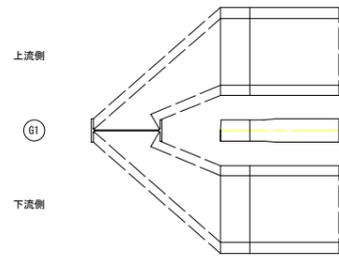
板屋橋 補修図(その2)

S=1:30

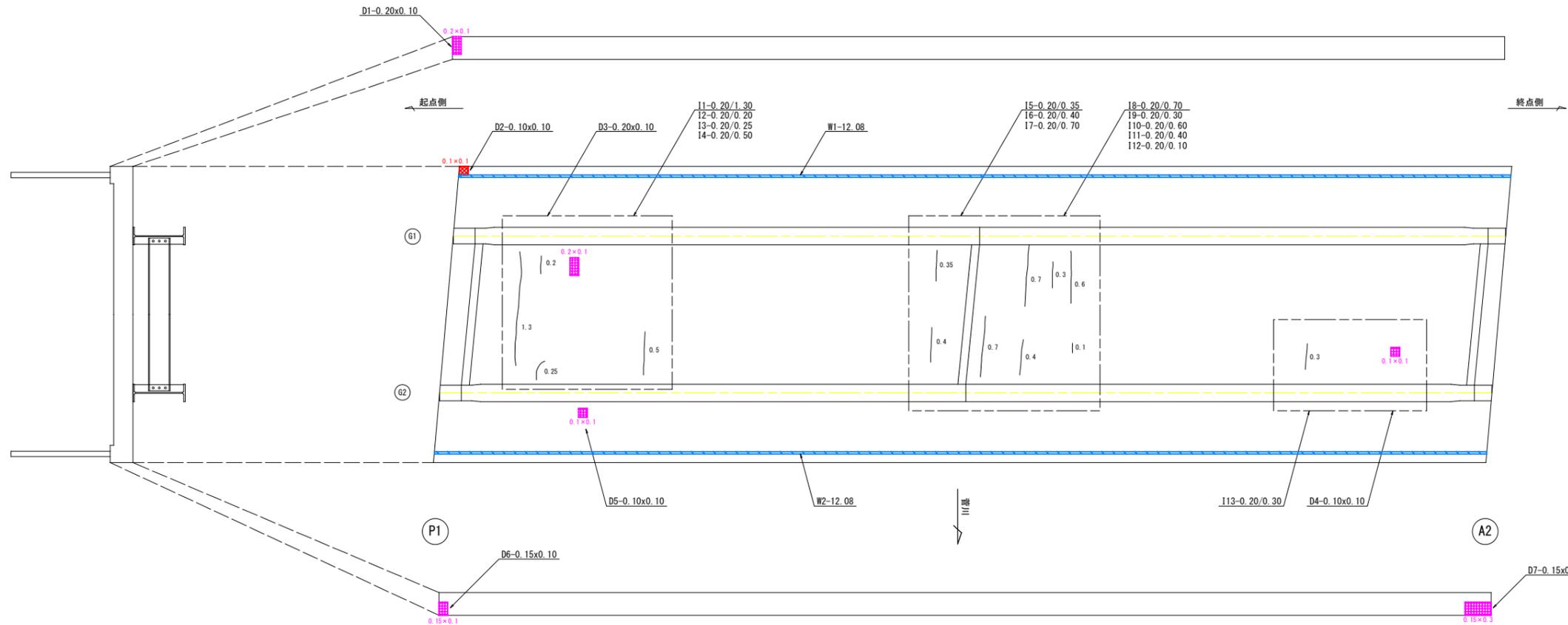
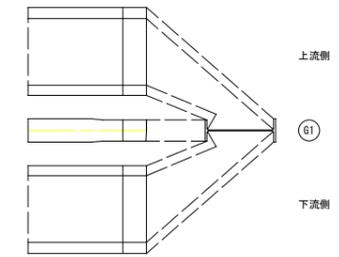
桁下面(2径間)

板屋橋

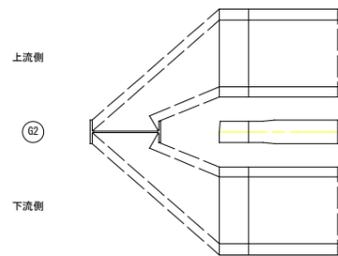
主桁端部展開図



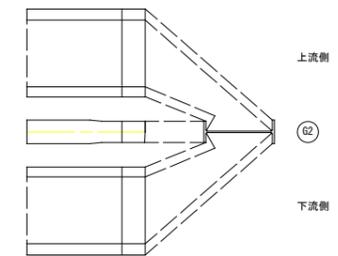
主桁端部展開図



主桁端部展開図



主桁端部展開図



凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 ($0.2\text{mm} \leq W < 1.0\text{mm}$)
D	断面修復工(左官工法)
	断面修復工(右官工法)
W	水切り工
I0-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅
W0-0.00	補修工法 補修番号-補修延長

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

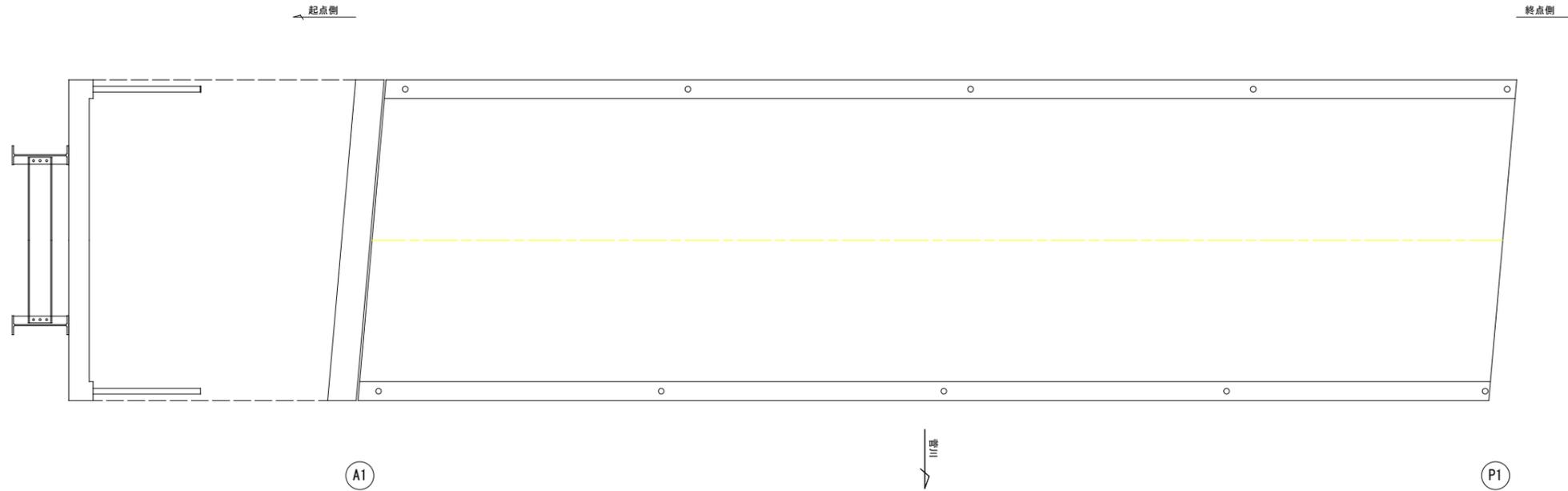
縮尺	図示	図面番号	5 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その3)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その3)

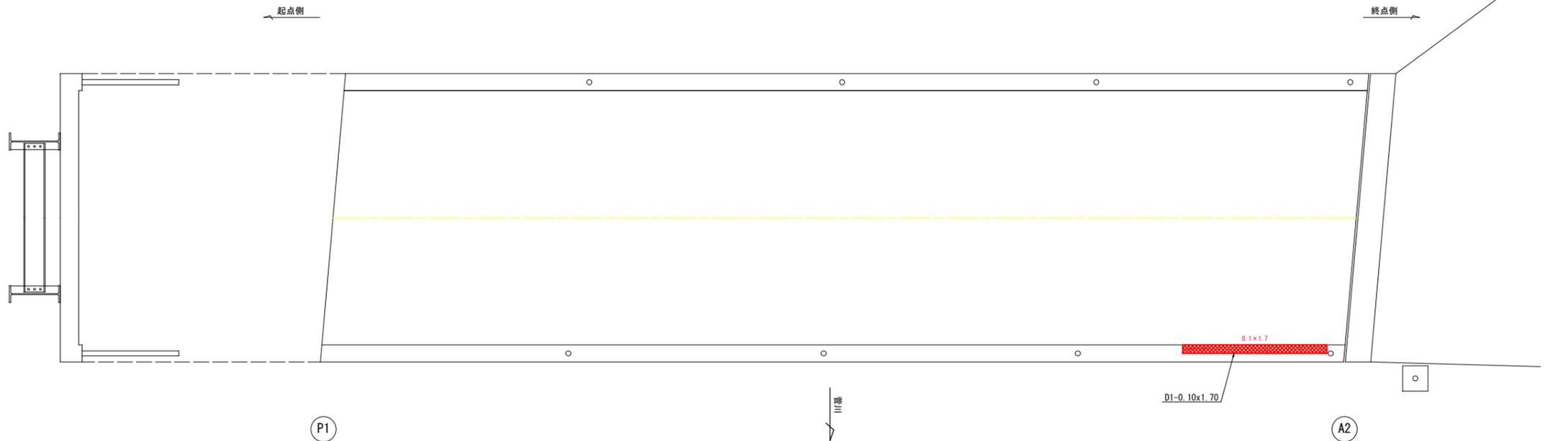
S=1:30

板屋橋

橋面(1径間)



橋面(2径間)



凡例

補修工法	
[Red hatched pattern]	断面修復工(左官工法)
[Green hatched pattern]	
[Blue hatched pattern]	
[White box]	
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

縮尺	図示	図面番号	6 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その4)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その4)

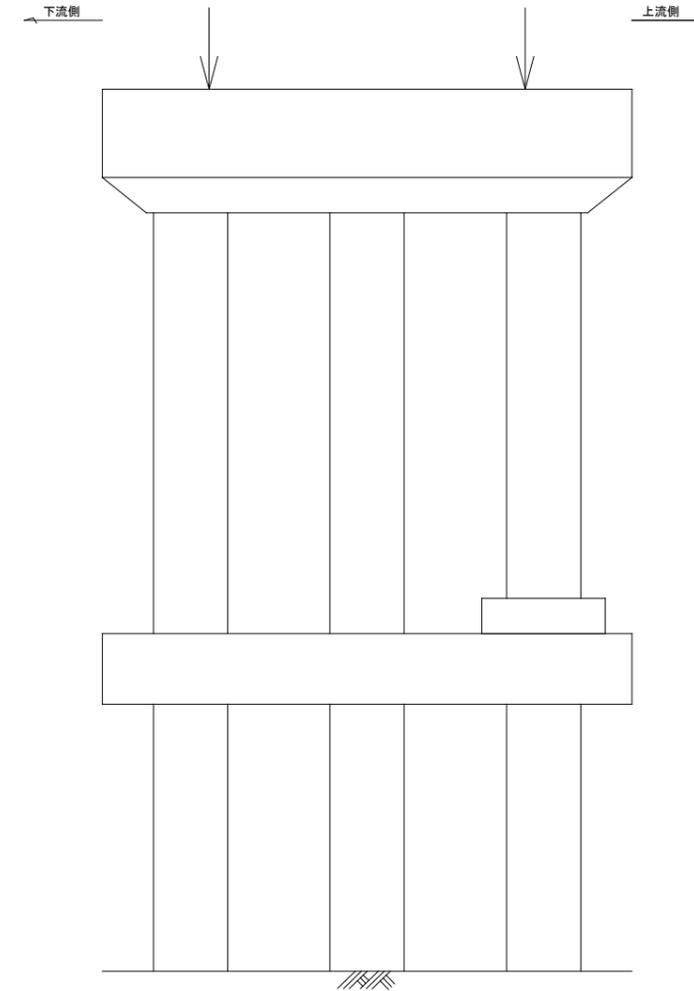
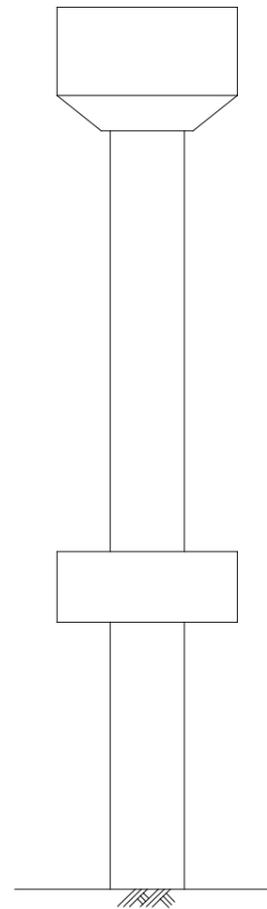
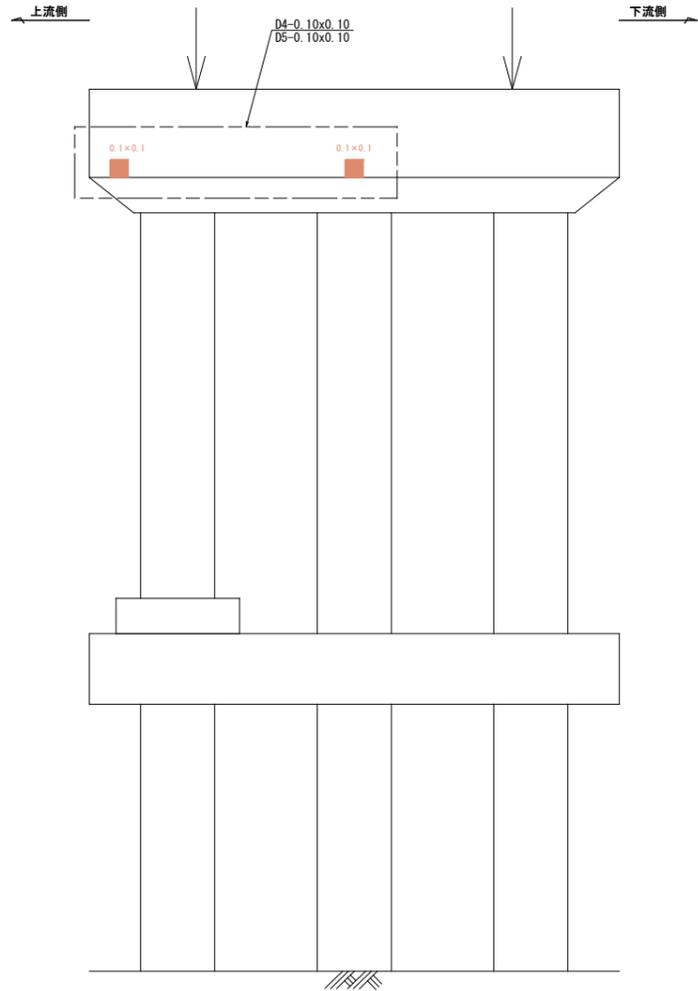
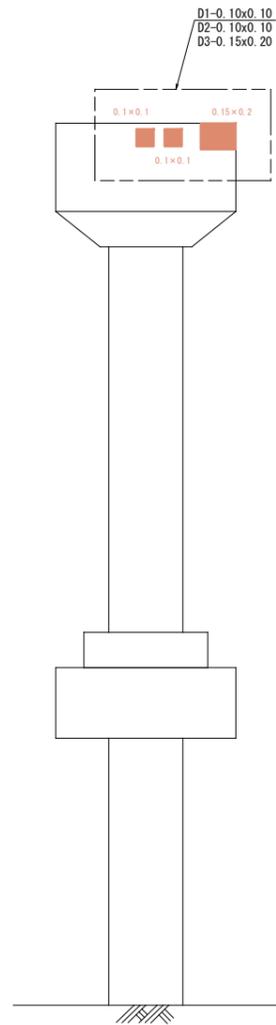
S=1:20

板屋橋

P1橋脚

起点側

終点側



凡例

補修工法	
	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

縮尺	図示	図面番号	7 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その5)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

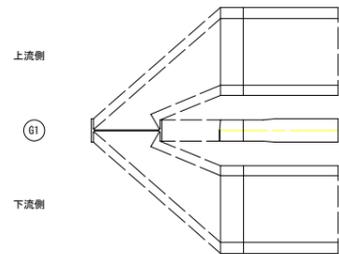
板屋橋 補修図(その5)

S=1:30

桁下面(1径間)

板屋橋

主桁端部展開図

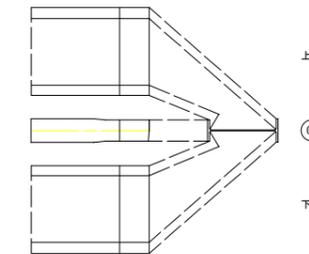


上流側

①

下流側

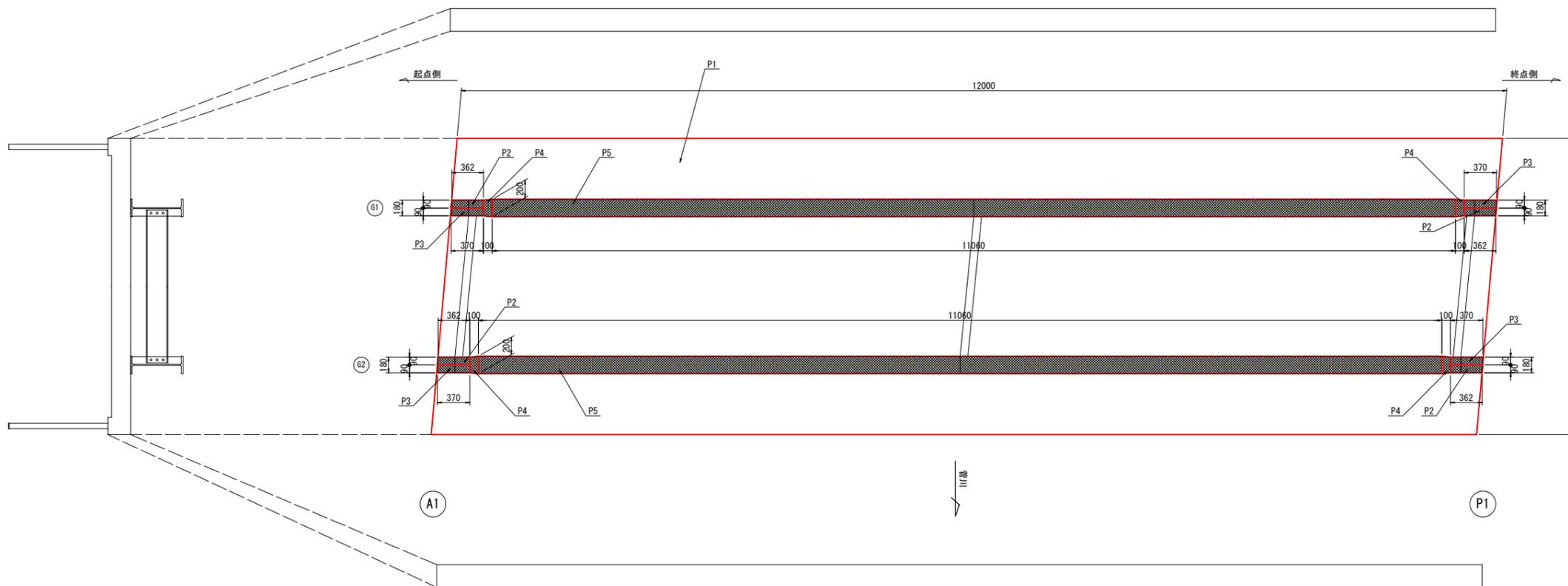
主桁端部展開図



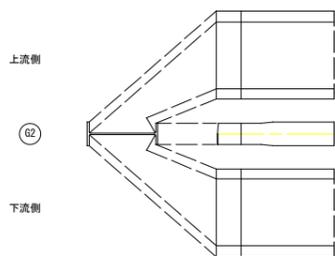
上流側

①

下流側



主桁端部展開図

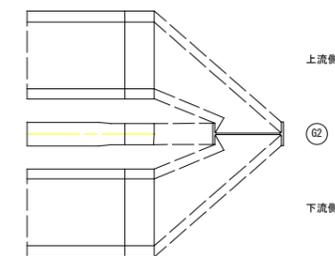


上流側

②

下流側

主桁端部展開図



上流側

②

下流側

凡例

P		表面含浸工
		控除面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸ナトリウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25L/㎡以上とすること。
- ※ (1回目:0.15L/㎡ 2回目:0.10L/㎡)
- ※ 表面含浸材の塗布に先立って、反応促進剤を塗布すること。

縮尺	図示	図面番号	8 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その6)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

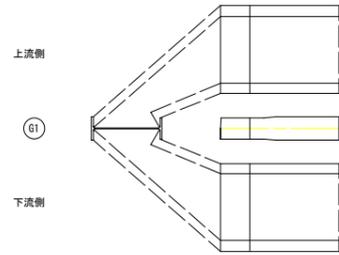
板屋橋 補修図(その6)

S=1:30

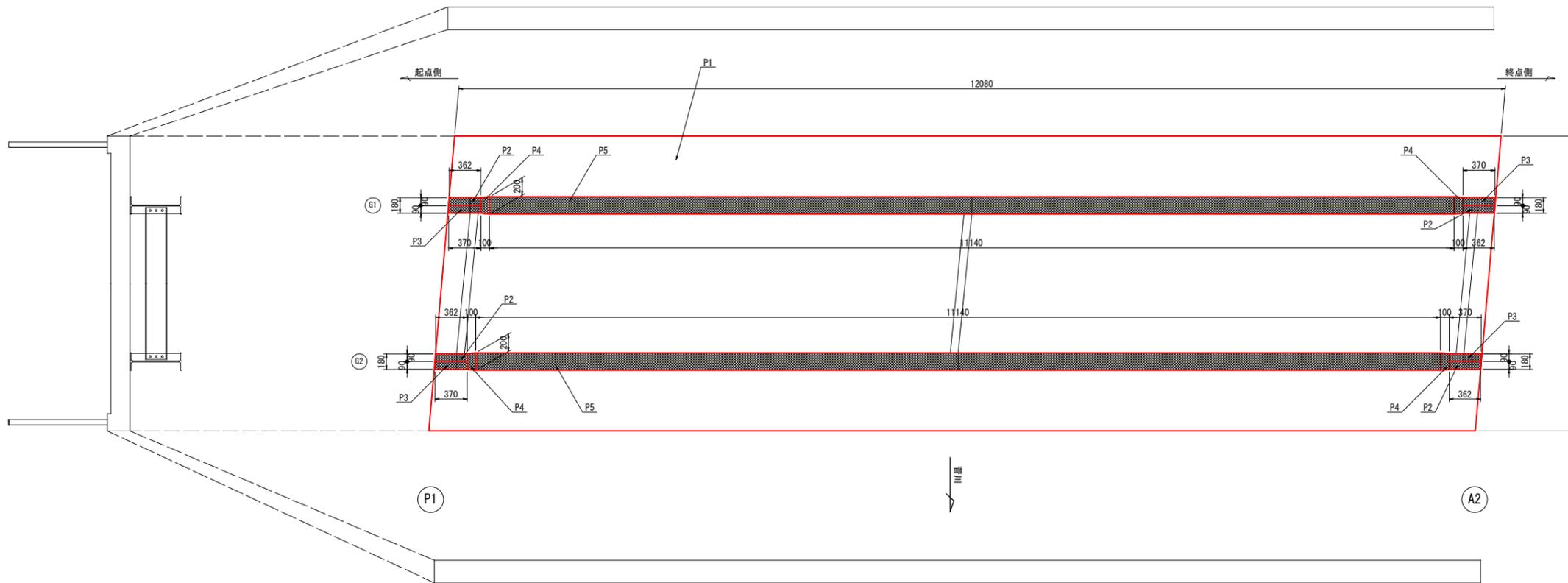
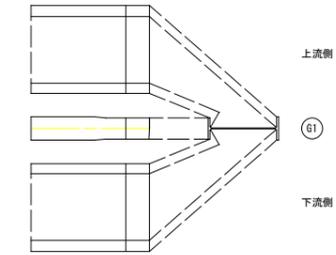
桁下面(2径間)

板屋橋

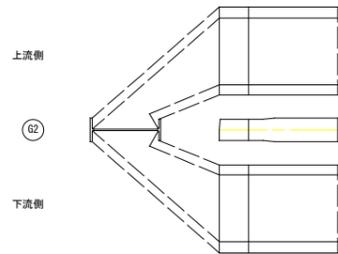
主桁端部展開図



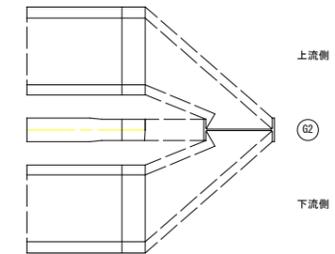
主桁端部展開図



主桁端部展開図



主桁端部展開図



凡例

P		表面含浸工
		控除面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸ナトリウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25L/m²以上とすること。
(1回目:0.15L/m² 2回目:0.10L/m²)
- ※ 表面含浸材の塗布に先立って、反応促進剤を塗布すること。

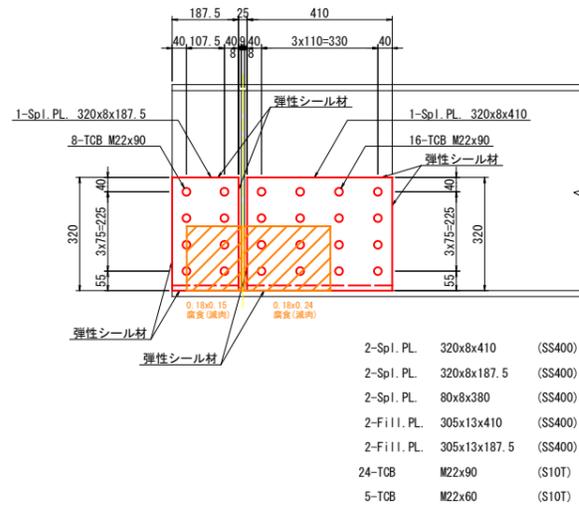
縮尺	図示	図面番号	9 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その7)		
路線名	市道本郷町清兼板屋橋		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その7)

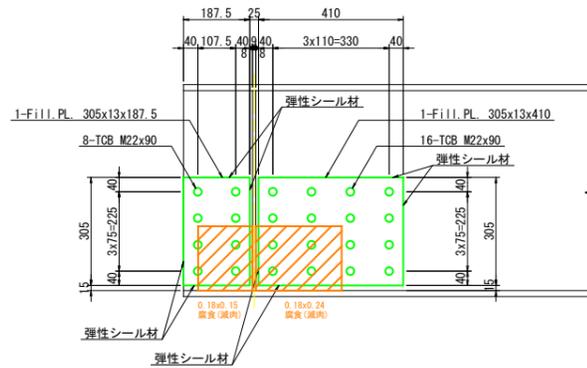
S=1:20

A部詳細図

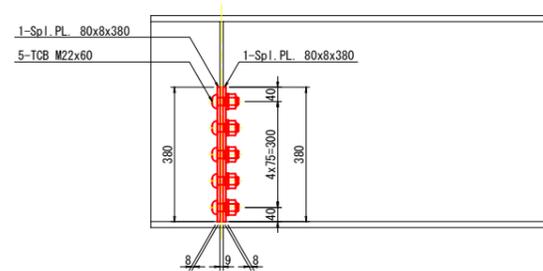
正面図 (Splice. PL.)



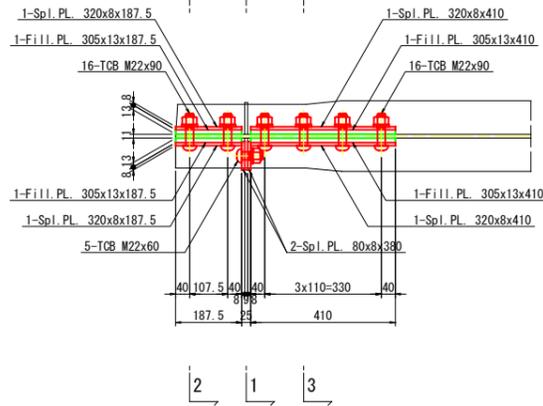
正面図 (Filler. PL.)



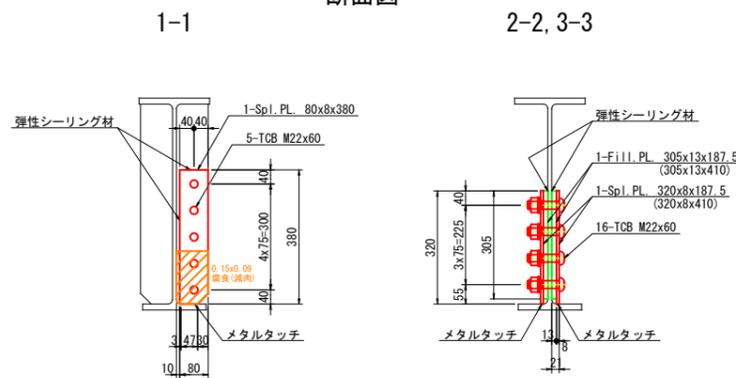
側面図 (Stiff. PL.)



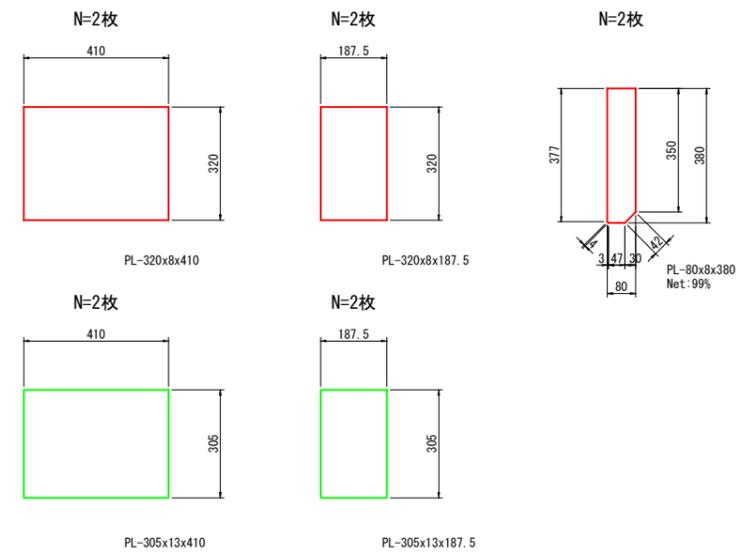
平面図



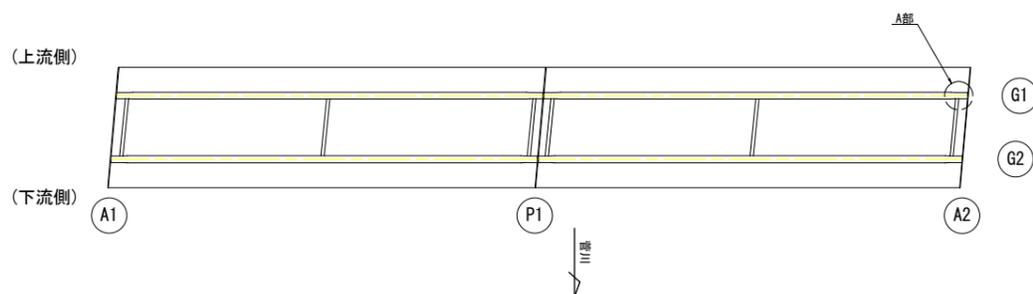
断面図



鋼材詳細図



位置図 S=1:100



主桁(G1)

使用箇所	材料形状	2辺の寸法 (mm)	他の1辺の寸法 (mm)	個数	単位質量 (kg/m)	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
SPL	PL	320 x 8	410	2	20.096	8.239	16	SS400	
SPL	PL	320 x 8	187.5	2	20.096	3.768	8	SS400	
SPL	PL	80 x 8	380	2	5.024	1.909	4	SS400	Net: 99%
FILL	PL	305 x 13	410	2	31.125	12.761	26	SS400	
FILL	PL	305 x 13	187.5	2	31.125	5.836	12	SS400	
板材質量 計							66	kg	
使用箇所	種別	規格	長さ (mm)	個数	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要	
SPL	TCB	M22	90	24	0.583	14	S10T		
SPL	TCB	M22	60	5	0.493	2	S10T		
ボルト質量 計							16	kg	
1箇所当たり							82	kg	

凡例

	当て板補修
	板厚減少範囲

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 特記なき鋼材材質は、SS400とすること。
- ※ 既設鋼材と当て板補修材の隙間に不陸が生じる場合は、金属バテ等により不陸調整を行うこと。
- ※ 高力ボルトの現場孔明けは、M22用φ24.5を標準とする。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

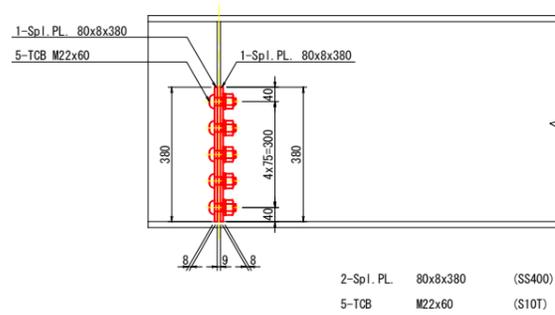
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その8)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その8)

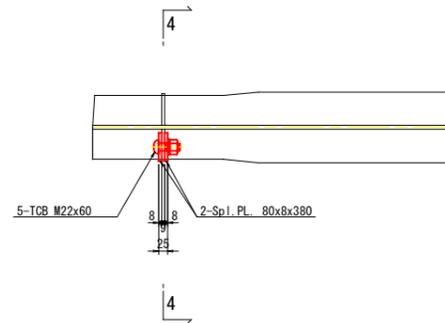
B部, C部, D部詳細図 S=1:20

板屋橋

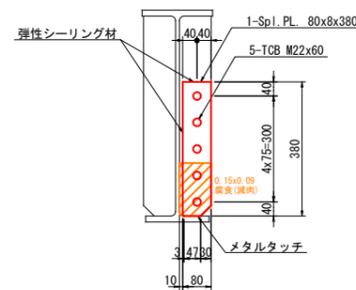
側面図
(Stiff. PL.)



平面図

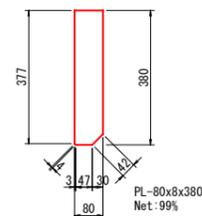


断面図
4-4

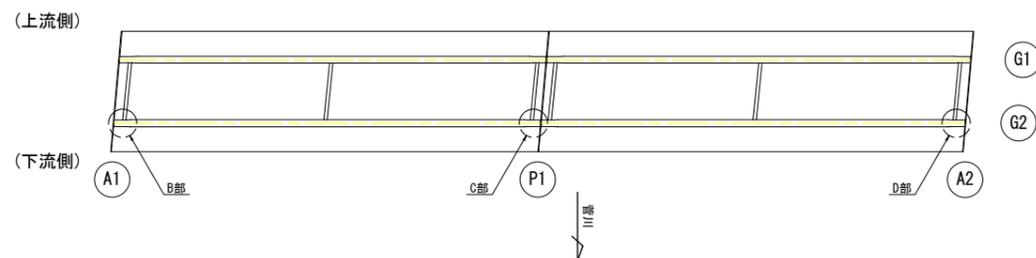


鋼材詳細図

N=2枚



位置図 S=1:100



凡例

	当て板補修工
	板厚減少範囲

主桁(G2)

使用箇所	材料形状	2辺の寸法 (mm)	他の1辺の寸法 (mm)	個数	単位質量 (kg/m)	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
SPL	PL	80 x 8	380	6	5.024	1.909	11	SS400	Net: 99%
板材質量 計							11	kg	
使用箇所	種別	規格	長さ (mm)	個数	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要	
SPL	TCB	M22	60	15	0.493	7	S10T		
ボルト質量 計							7	kg	
1箇所当たり							18	kg	

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 特記なき鋼材材質は、SS400とすること。
- ※ 既設鋼材と当て板補修材の隙間に不陸が生じる場合は、金属バテ等により不陸調整を行うこと。
- ※ 高力ボルトの現場孔明けは、M22用φ24.5を標準とする。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

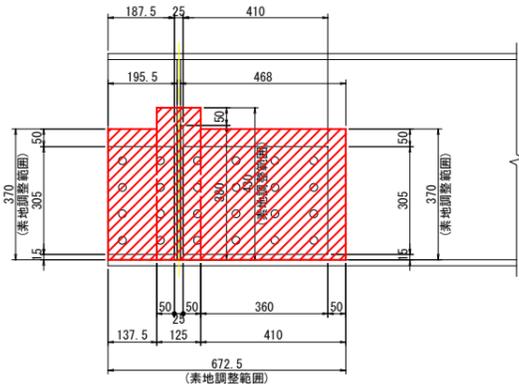
縮尺	図示	図面番号	11 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋橋板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その9)		
路線名	市道本郷町清兼板屋橋		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その9)

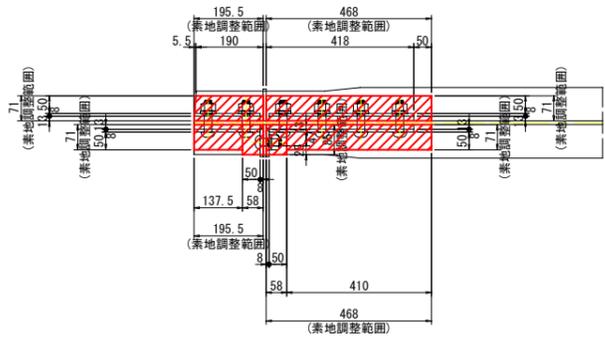
素地調整

A部詳細図

正面図



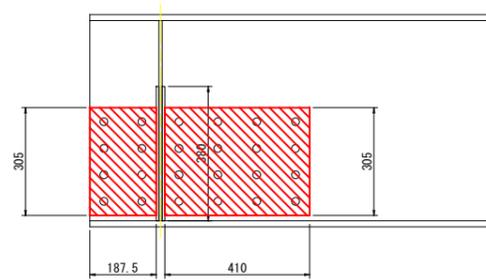
平面図



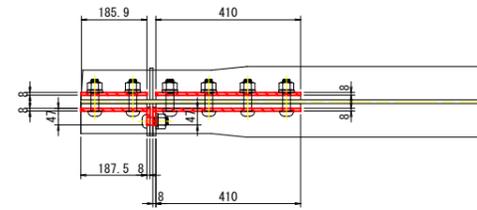
接触面塗装

A部詳細図

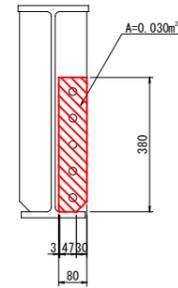
正面図



平面図



断面図 7-7

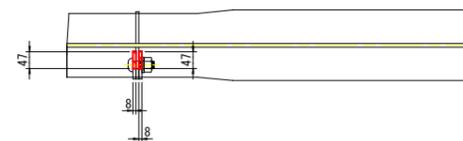


B部, C部, D部詳細図

正面図

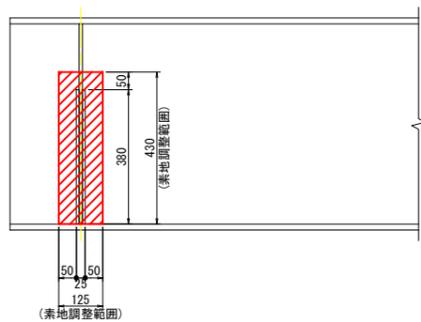


平面図

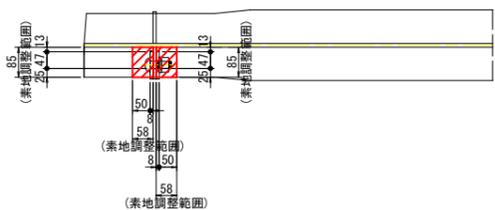


B部, C部, D部詳細図

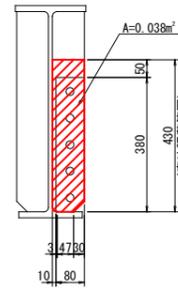
正面図



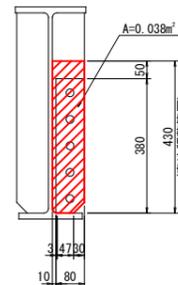
平面図



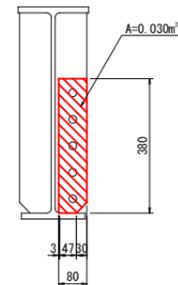
断面図 5-5



断面図 6-6



断面図 8-8



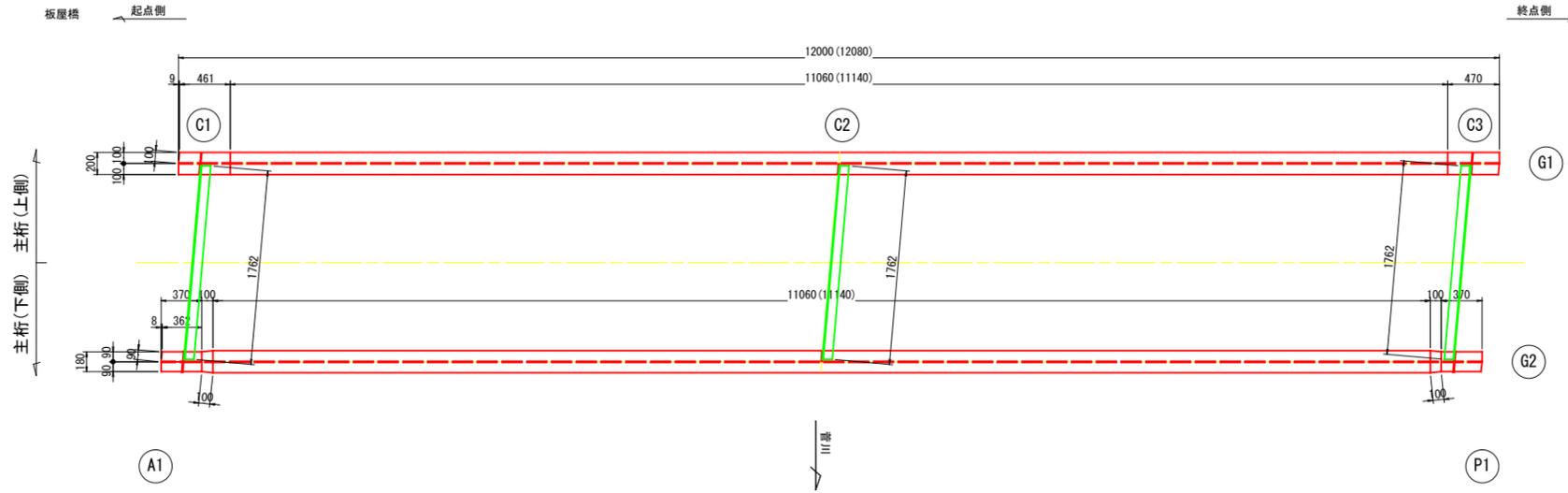
凡例

	素地調整範囲
	接触面塗装範囲

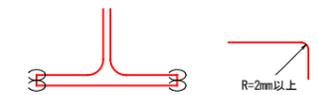
縮尺	図示	図面番号	12 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その10)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その10)

平面図 S=1:30



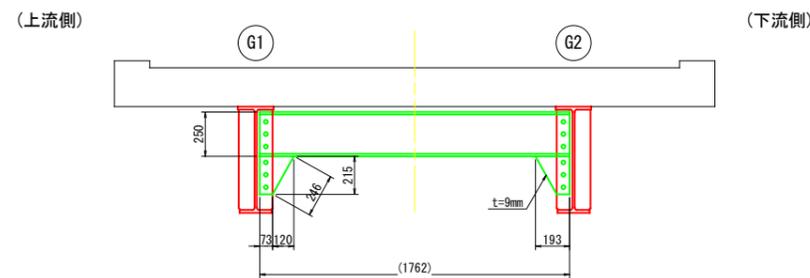
角部 曲面仕上げ 参考図



※ 部材の角部は膜厚の確保がしにくい箇所であるため、半径2R以上の曲面仕上げを行い、一般部と同等の塗膜性能を得ること。
(出典：鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 II-48 より)

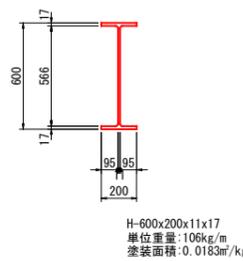
※ ()内寸法は第2径間を示す。

端横桁 S=1:20



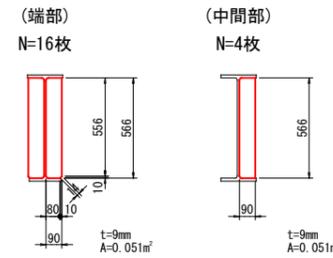
※ ()内は実延長を示す。

主桁詳細図 S=1:20



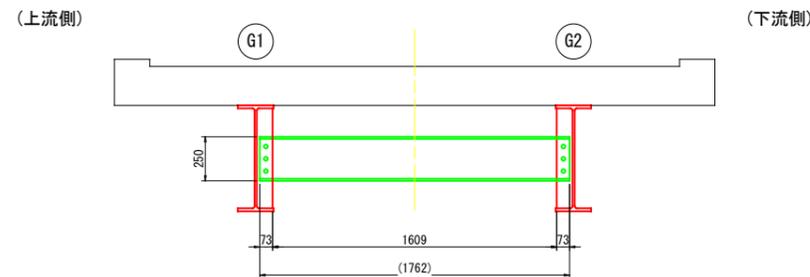
H-600x200x11x17
単位重量:106kg/m
塗装面積:0.0183m²/kg

補剛桁詳細図 S=1:20



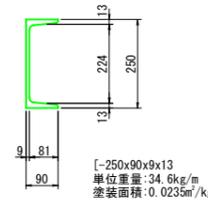
t=9mm
A=0.051m²

中間横桁 S=1:20



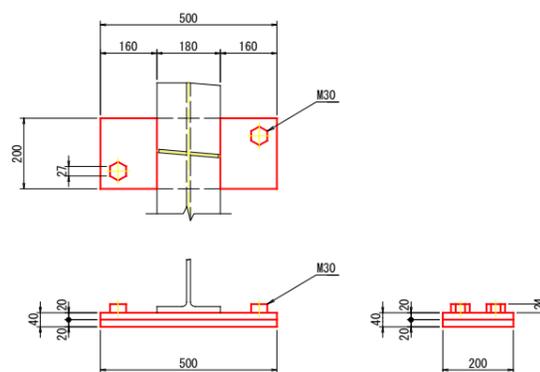
※ ()内は実延長を示す。

横桁詳細図 S=1:10

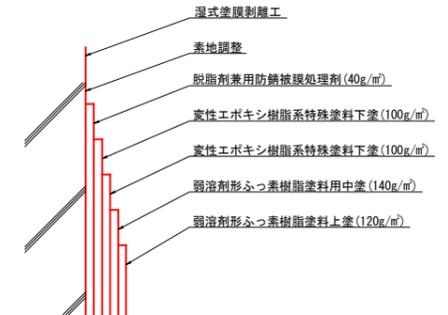


[-250x90x9x13
単位重量:34.6kg/m
塗装面積:0.0235m²/kg

支承詳細図 S=1:10



塗装塗替え工 (参考図)



塗装仕様：錆転換型防食塗装

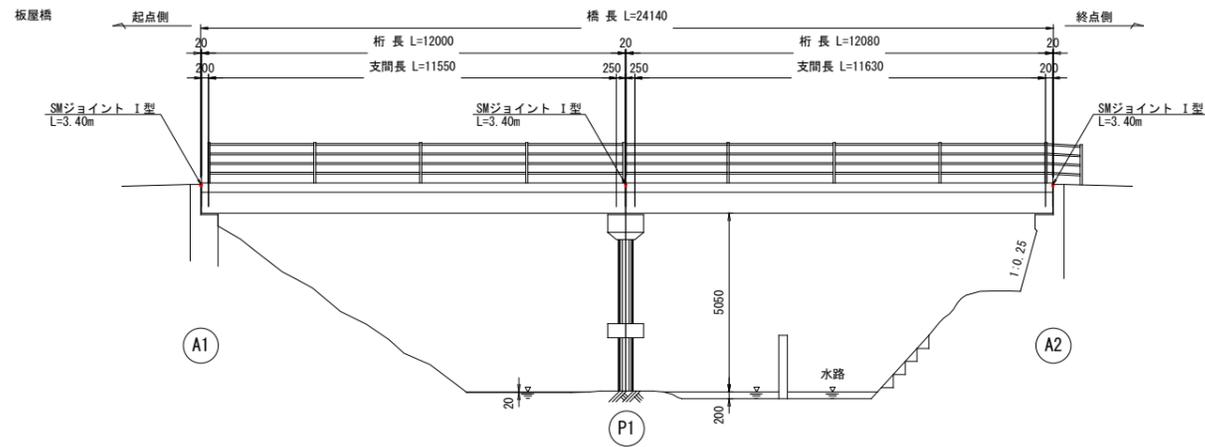
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3種(A)	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

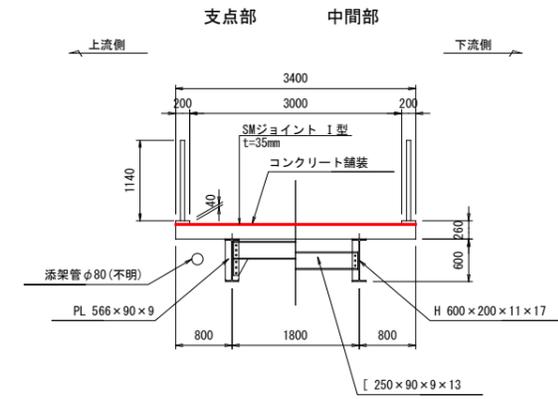
縮尺	図示	図面番号	13 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(その11)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 補修図(その11)

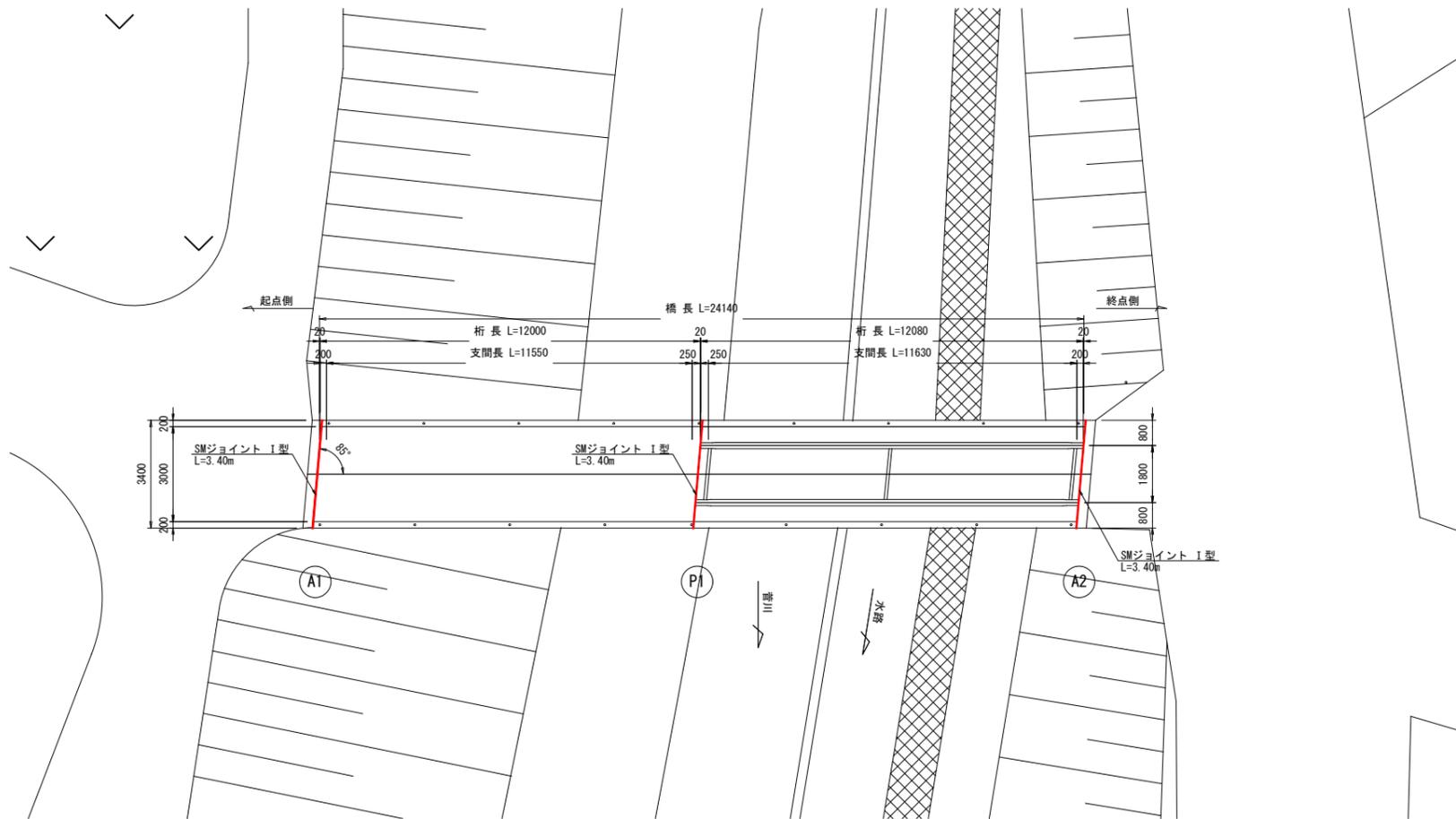
側面図 S=1:100



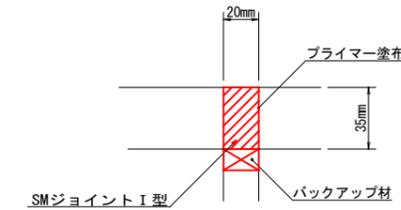
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



橋梁用目地補修工(参考) S=1:2



使用材料数量表(施工幅20mm 施工厚35mm 10m当たり参考値)

名称	品名	数量	備考
SMジョイント I 型	特殊ウレタン樹脂	0.035x10x0.02x1.11x1000= 7.77 l	比重 1.11
プライマー	専用プライマー	0.035x10x2x100ml/m2= 70 ml	100 ml/m2
バックアップ材	バックアップ材	10.0 m	

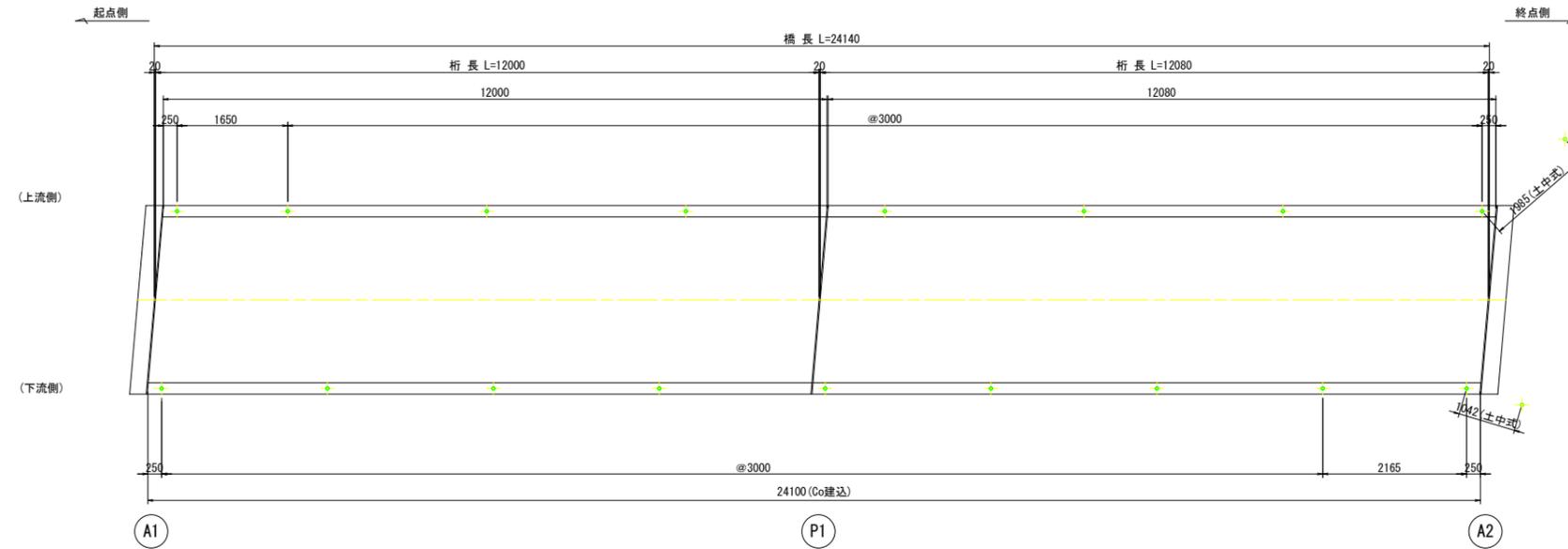
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 既設エスタライト等は撤去すること。

縮尺	図示	図面番号	14 / 14
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	防護柵詳細図		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

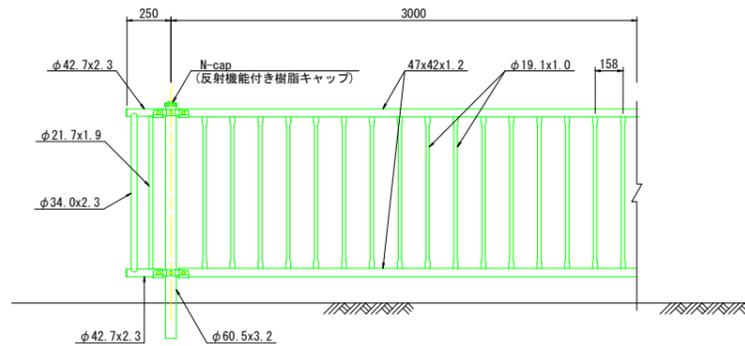
板屋橋

板屋橋 防護柵詳細図

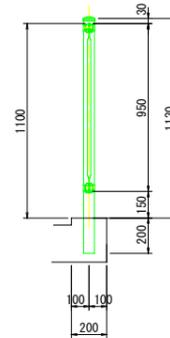
平面図 S=1:60



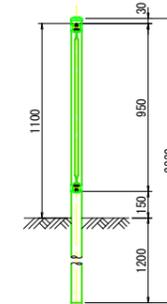
正面図 S=1:20



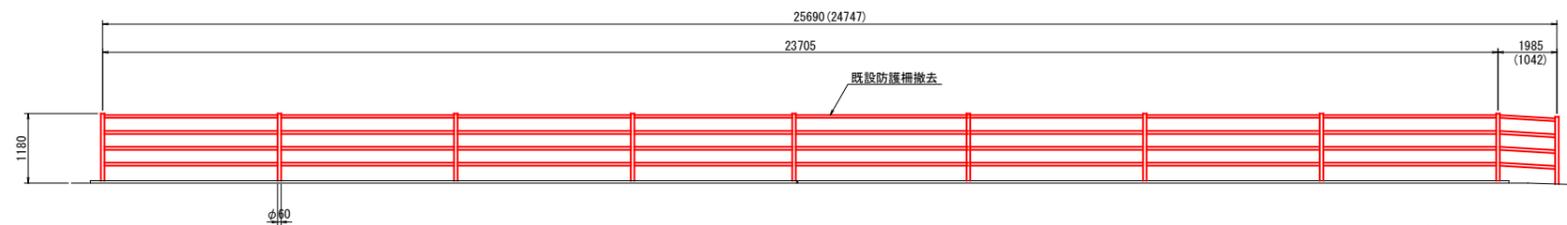
断面図 S=1:20



土中用 S=1:20



防護柵 撤去正面図 S=1:60



※ ()内数値は下流側を示す。

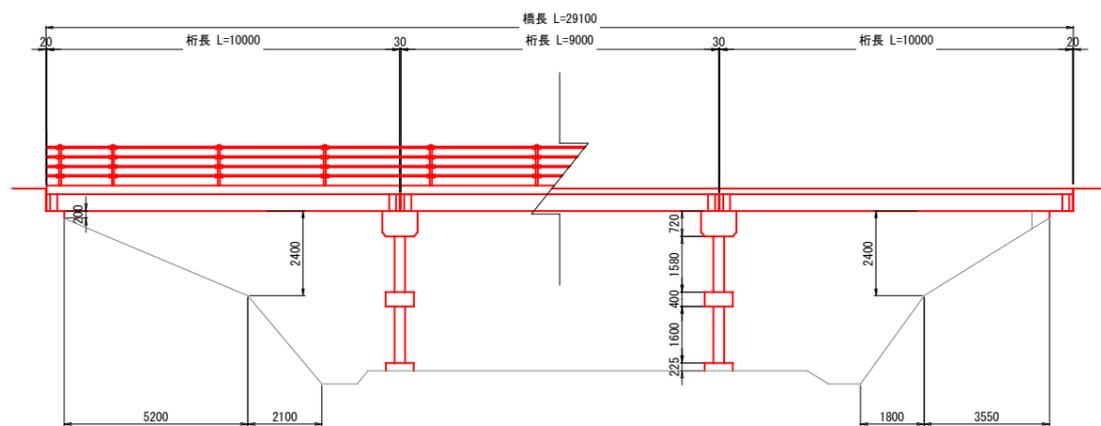
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

縮尺	図示	図面番号	1 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	全体一般図		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

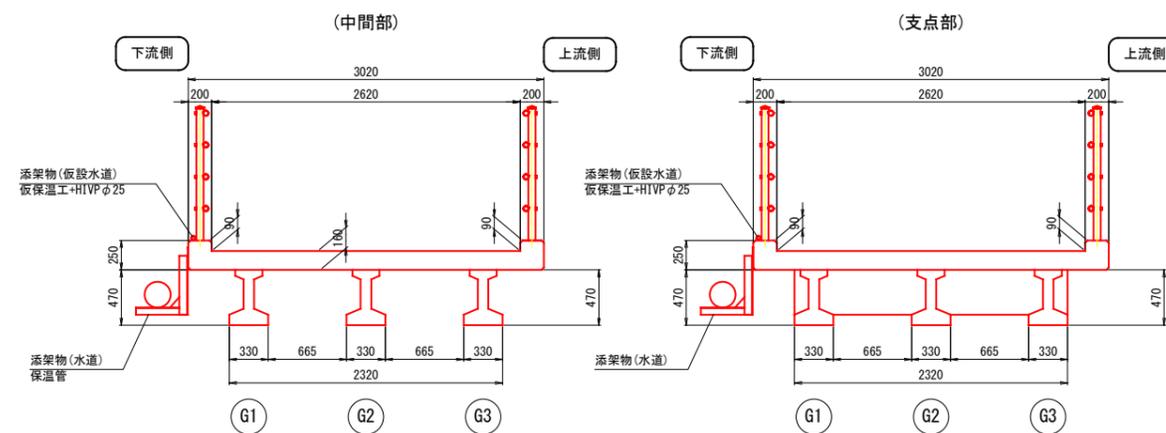
寺沖橋

全体一般図

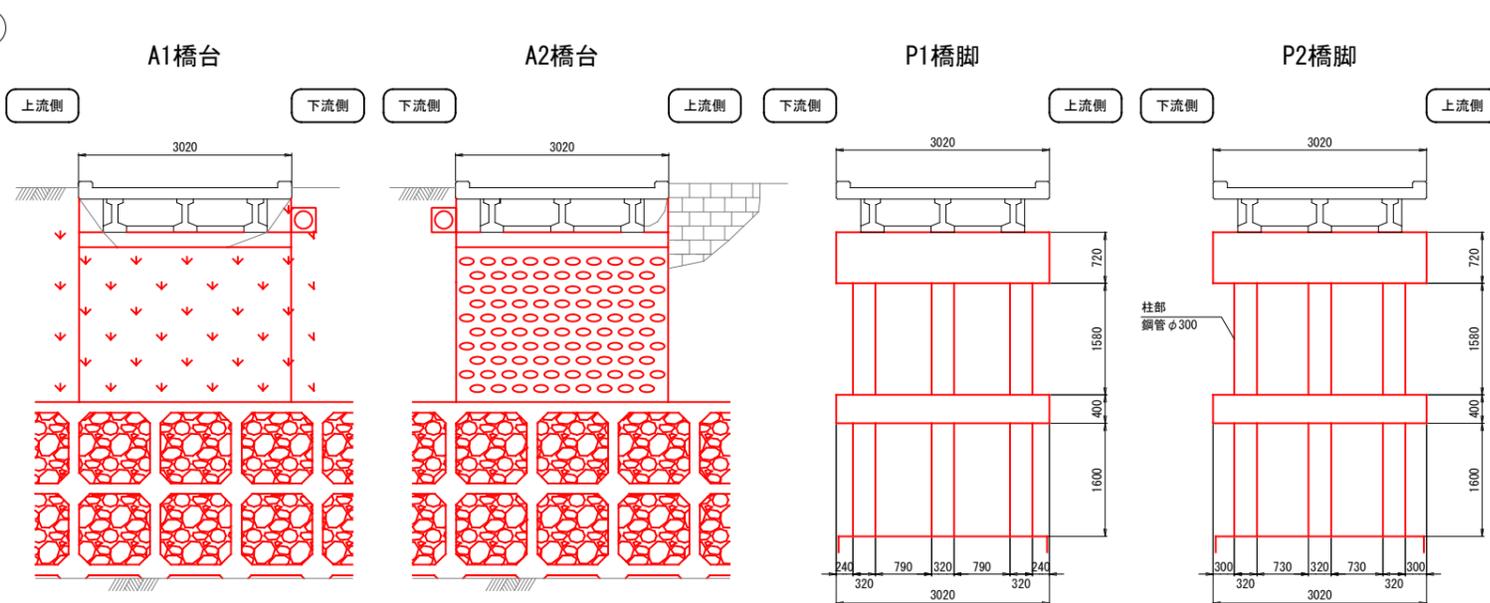
側面図 S=1:100



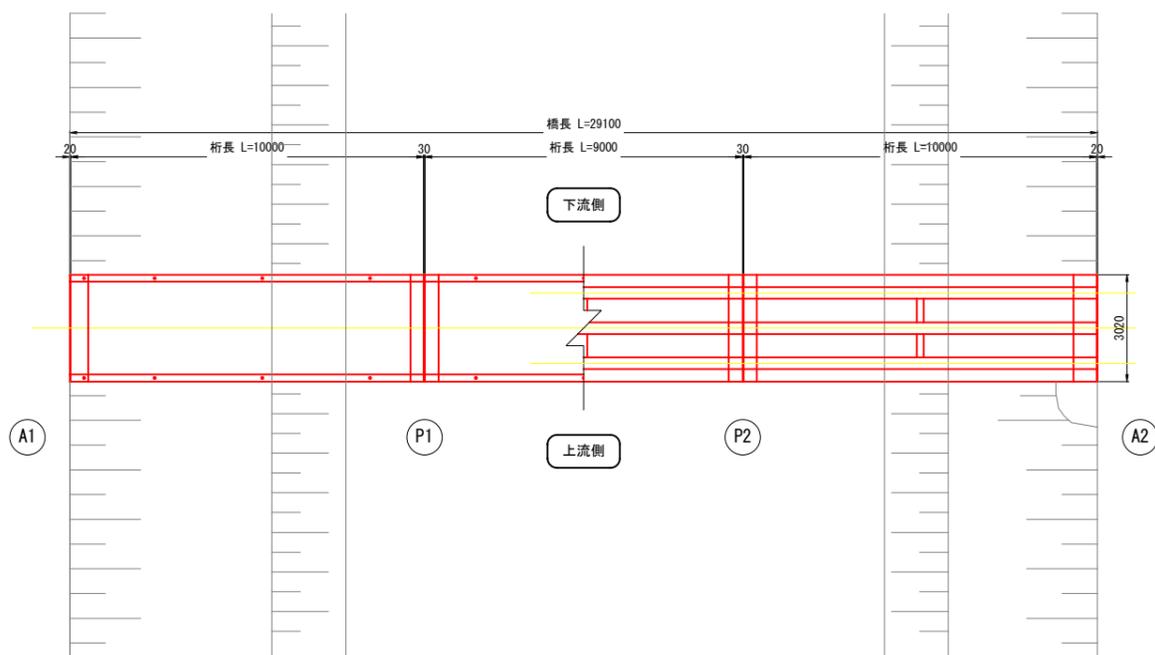
標準断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:100



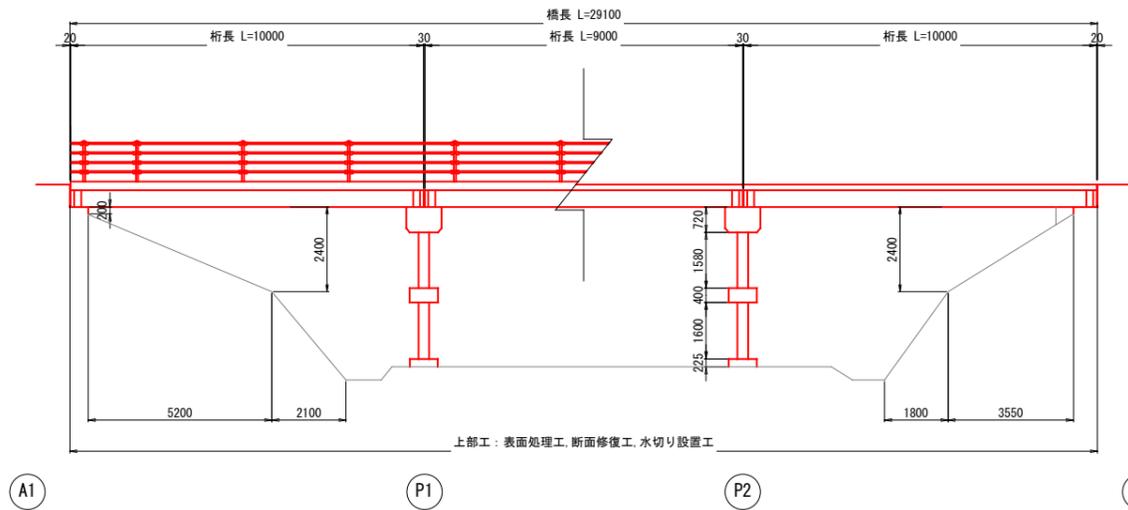
設計条件	単位	不明		
橋梁形式	格	上部工	単純PC-1桁橋	
		下部工	A1橋台	重力式橋台(推定)
			A2橋台	重力式橋台(推定)
			橋脚	パイルベント
			基礎	直接基礎
橋長	m	29.10		
桁長	m	29.00(10.00+9.00+10.00)		
支間長	m	—(支承なし)		
有効幅員	m	2.62		
斜角	度	55°		
設計水平震度	kh	不明		
使用材料		上部工(σck) 床版:21 主桁:39(※)		
設計基準強度	N/mm ²	下部工(σck) 橋台:16 橋脚:21(※)		
竣工年/(適用示方書)		竣工年:1957年/(1956)(※)		

※使用材料、強度は推定。

縮尺	図示	図面番号	2 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清潔板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修一般図		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

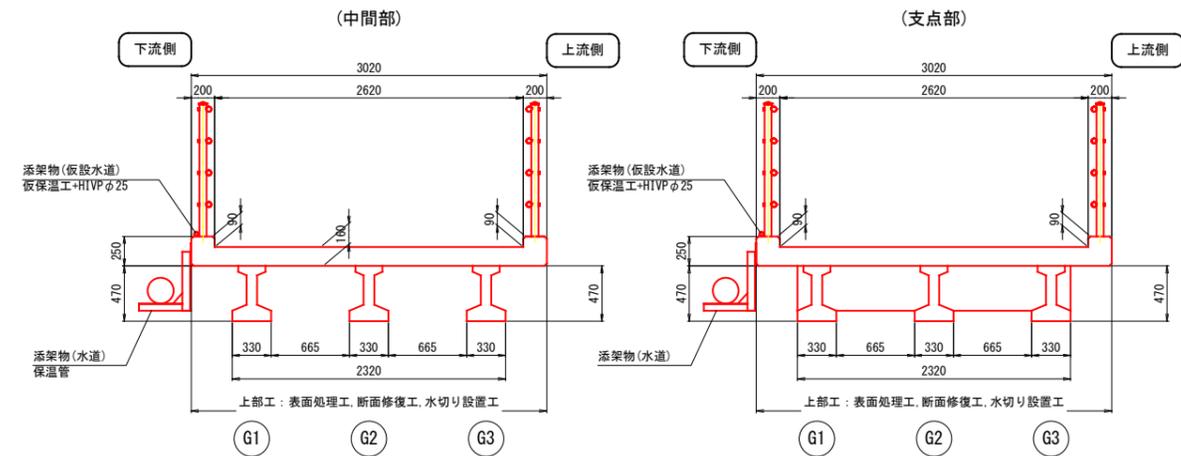
側面図 S=1:100



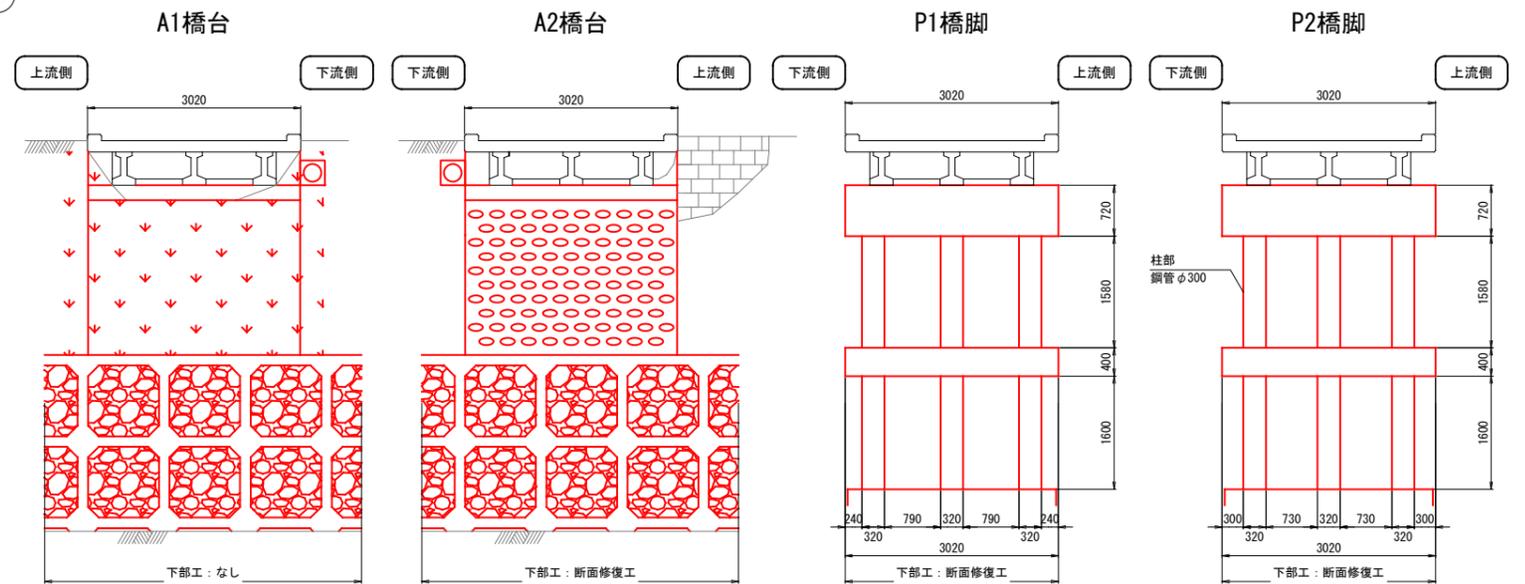
補修一般図

注記) 本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

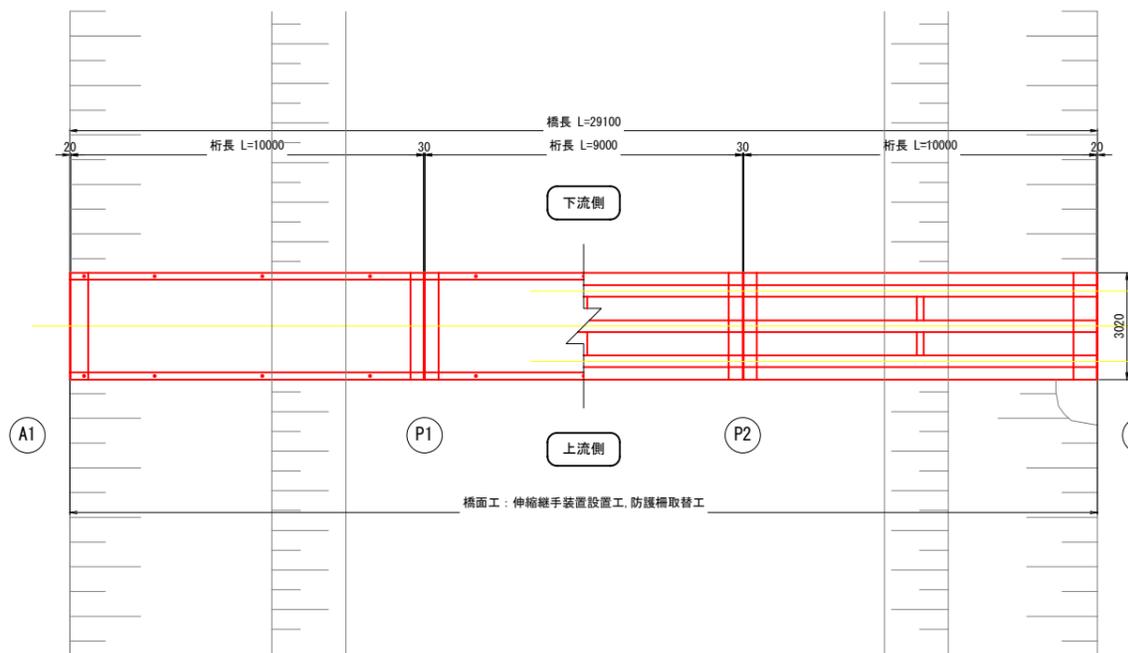
標準断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:100



橋梁補修工一覧表

補修工法	補修内容	対象部材
表面処理工	表面含浸工(けい酸塩系+シリコン系混合型)	床版
断面修復工 A	左官工法(ポリマーセメントモルタル) 防錆処理を含む	床版、主桁、橋脚、地覆
" B	" 防錆処理を含まない	床版、横桁、橋台
伸縮継手装置設置工	クラック抑制工	伸縮目地
水切り設置工	水切り設置	床版(張出)
防護柵取替工	変形した防護柵の取替	防護柵

設計条件	単位	不明		
橋梁形式	橋	不明		
		上部工	単純PC-1桁橋	
		下部工	A1橋台	重力式橋台(推定)
			A2橋台	重力式橋台(推定)
			橋脚	パイルベント
基礎	直接基礎			
橋長	m	29.10		
桁長	m	29.00(10.00+9.00+10.00)		
支間長	m	— (支承なし)		
有効幅員	m	2.62		
斜角	度	55°		
設計水平震度	kh	不明		
使用材料	N/mm ²	上部工(σ _{ck})	床版:21 主桁:39(※)	
		下部工(σ _{ck})	橋台:16 橋脚:21(※)	
設計基準強度				
竣工年/(適用示方書)		竣工年:1957年/(1956)(※)		

※使用材料、強度は推定。

縮尺	図示	図面番号	3 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(1)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

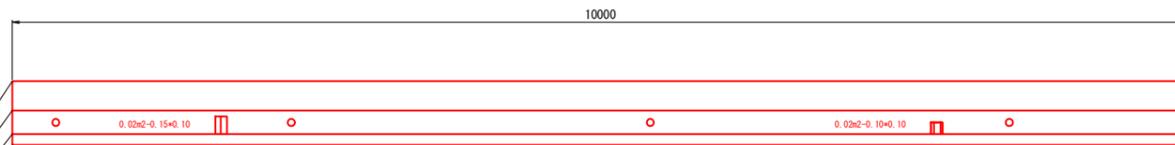
寺沖橋

補修図(1)

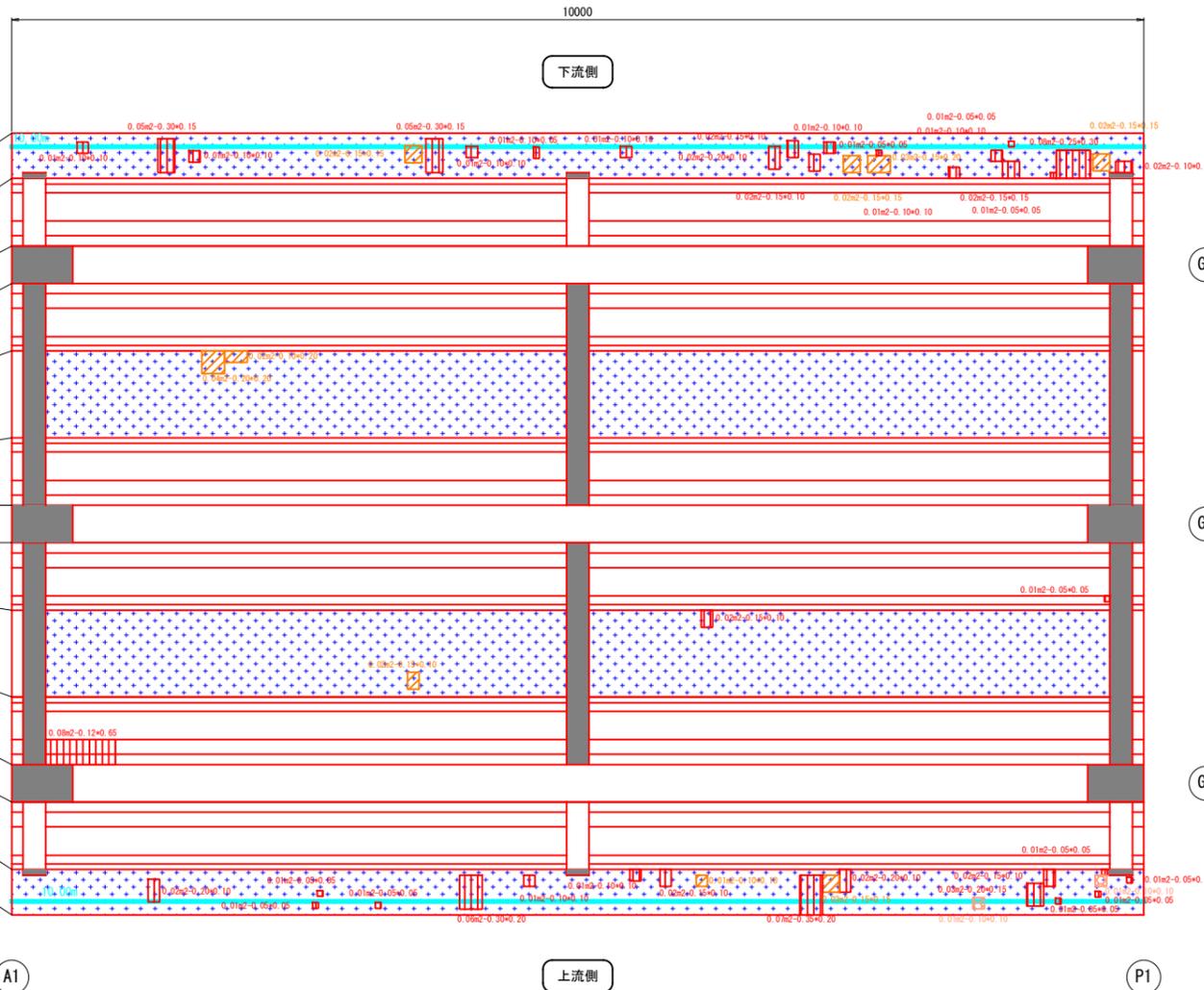
(1径間)

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

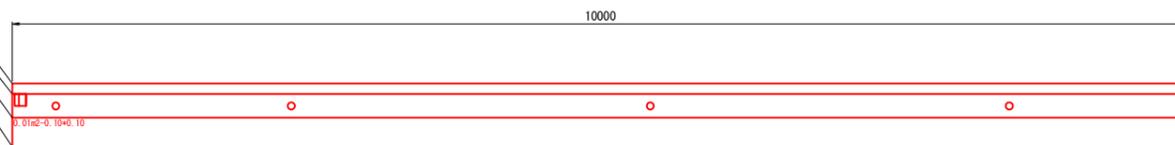
左側地覆展開図 S=1:30



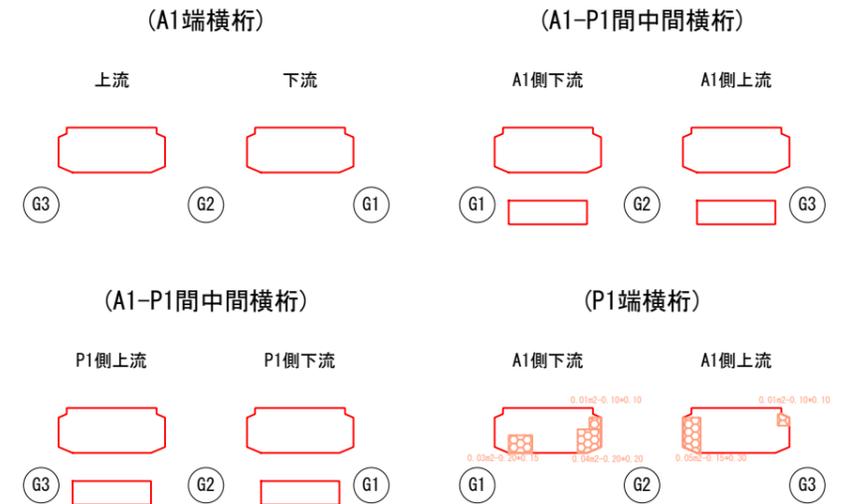
桁下面展開図 S=1:30



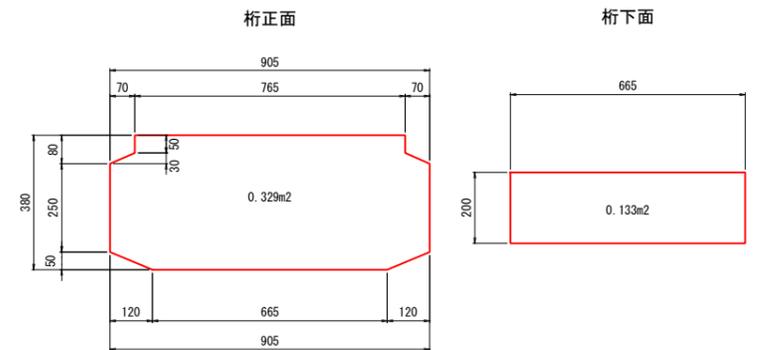
右側地覆展開図 S=1:30



横桁正面図 S=1:30



横桁詳細図 S=1:10



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20	断面修復工(B)
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20	断面修復工(B)
	0.08m2-0.40x0.20	表面含浸工
	0.08m	水切り設置工

横断面図

縮尺	図示	図面番号	4 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(2)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

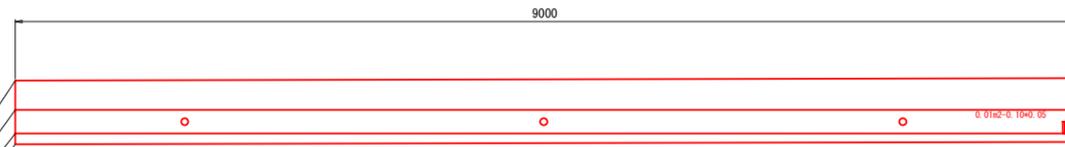
寺沖橋

補修図(2)

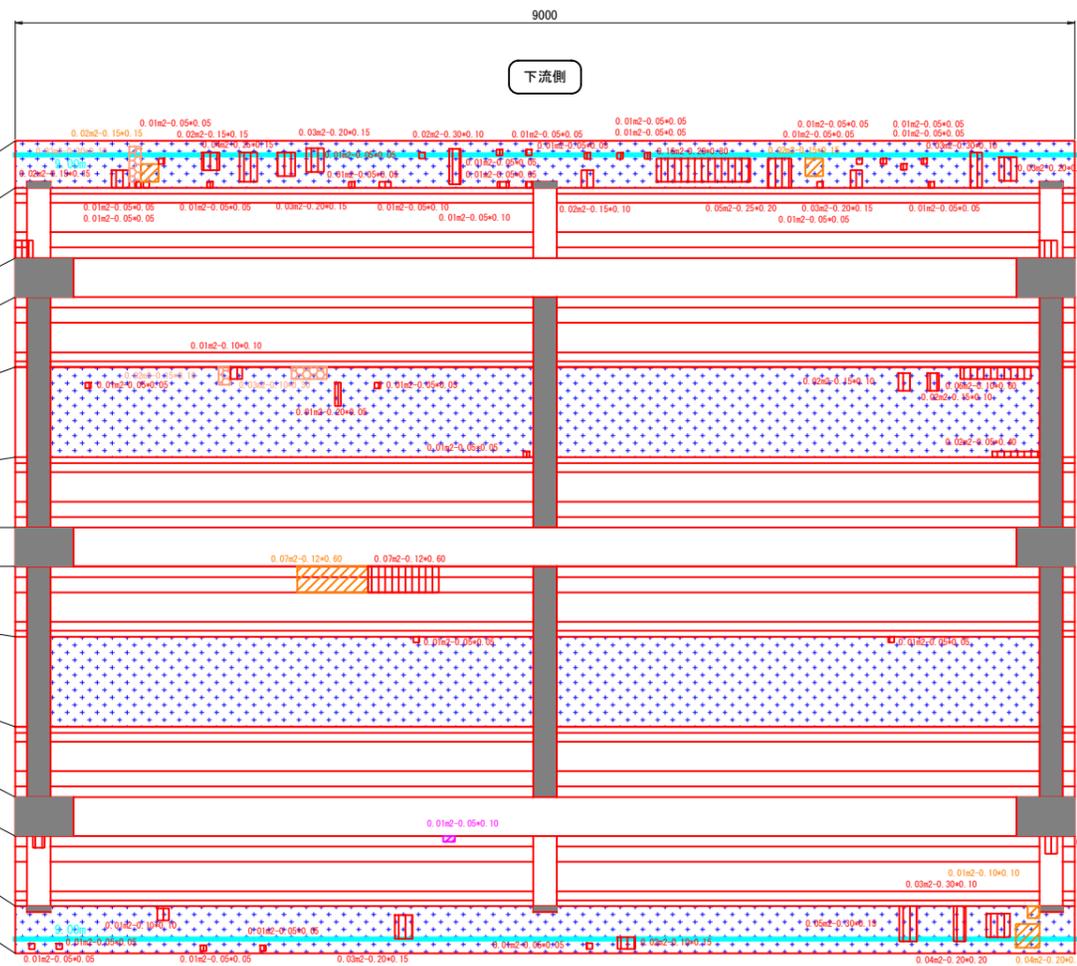
(2径間)

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

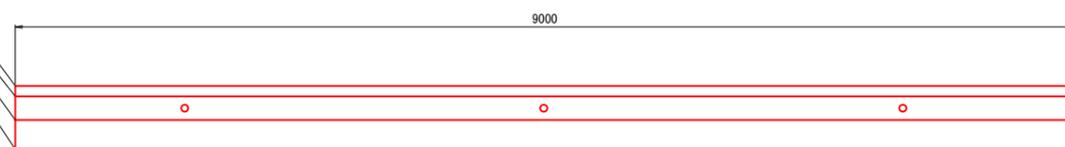
左側地覆展開図 S=1:30



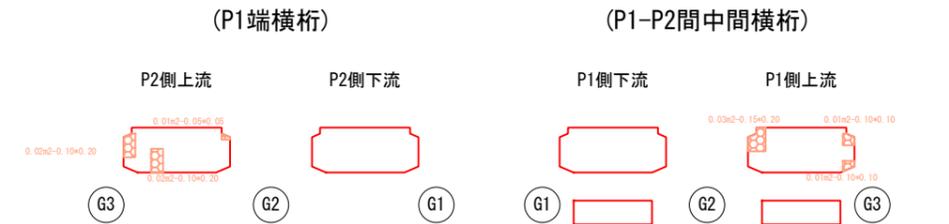
桁下面展開図 S=1:30



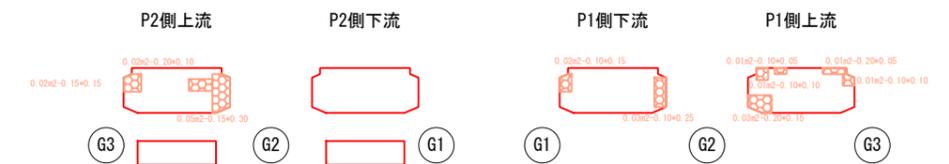
右側地覆展開図 S=1:30



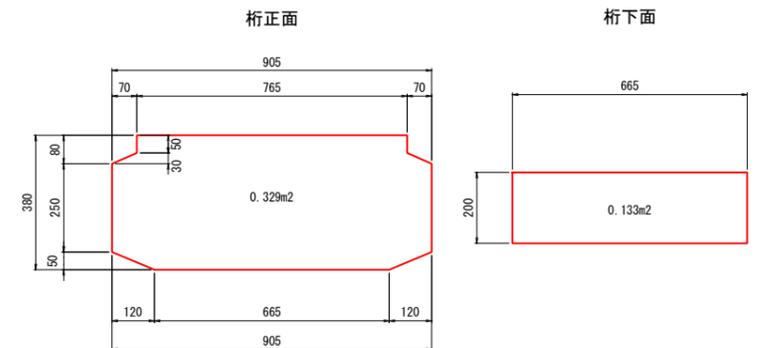
横桁正面図 S=1:30



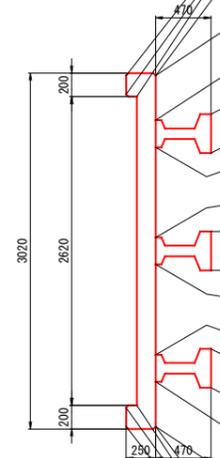
(P1-P2間中間横桁)



横桁詳細図 S=1:10



横断面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
	0.08m ² -0.40×0.20	表面含浸工
	0.08m	水切り設置工

縮尺	図示	図面番号	5 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(3)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

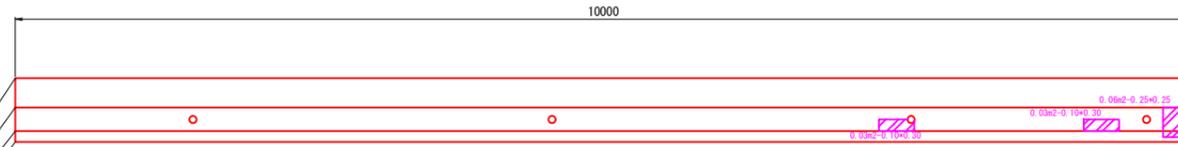
寺沖橋

補修図(3)

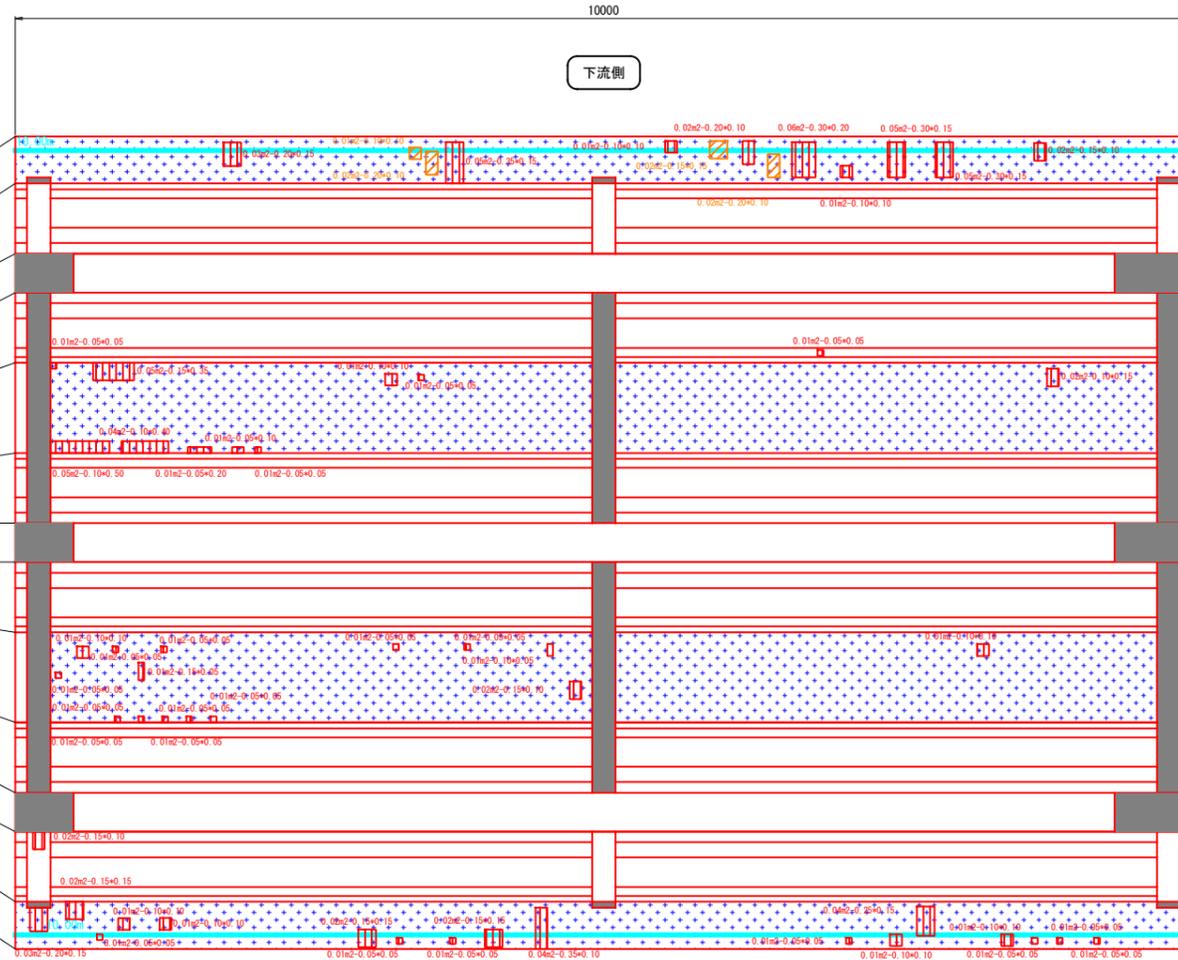
(3径間)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

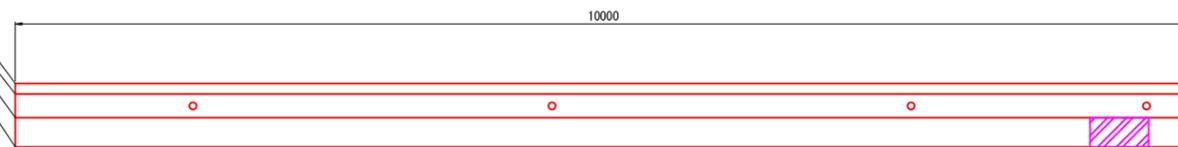
左側地覆展開図 S=1:30



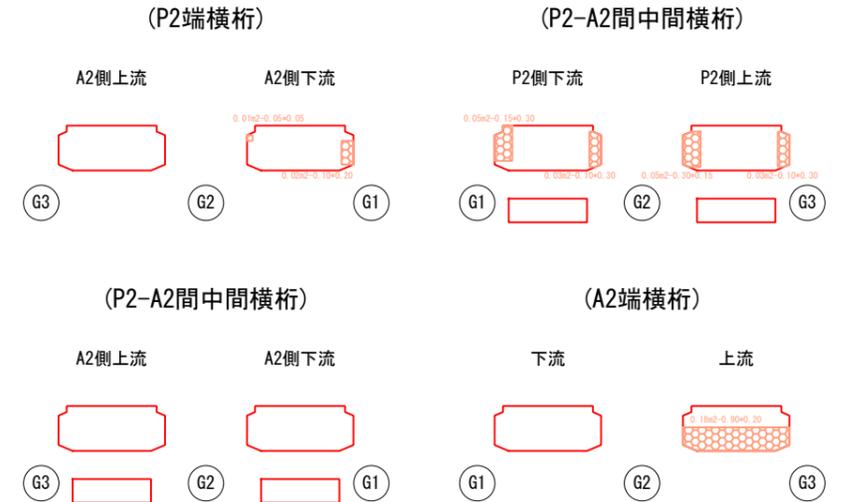
桁下面展開図 S=1:30



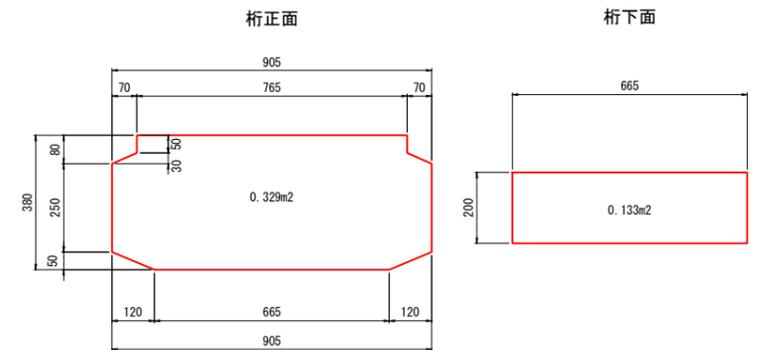
右側地覆展開図 S=1:30



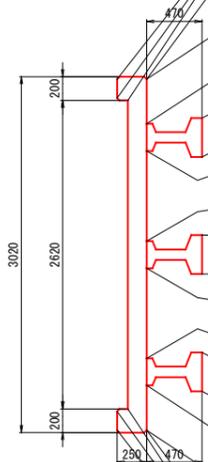
横桁正面図 S=1:30



横桁詳細図 S=1:10



横断面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
	0.08m ² -0.40×0.20	表面含浸工
	0.08m	水切り設置工

縮尺	図示	図面番号	6 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(4)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

補修図(4)

(橋台)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

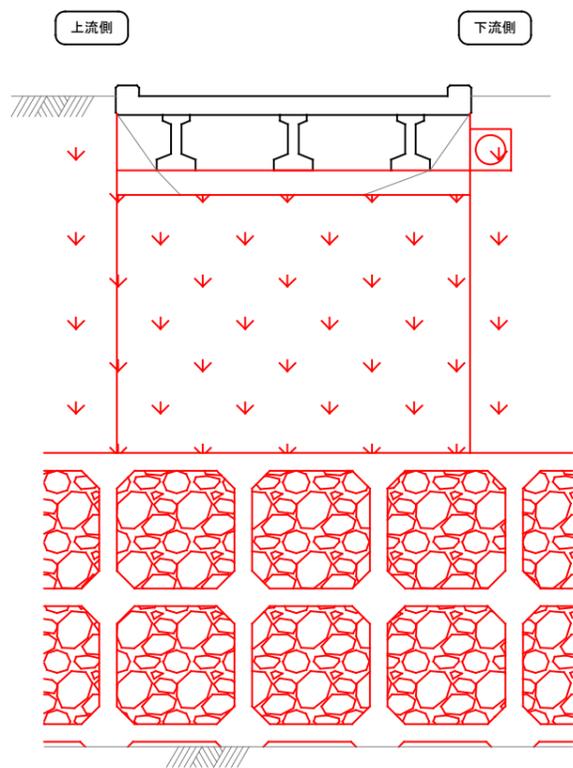
A1橋台沓座平面図 S=1:30



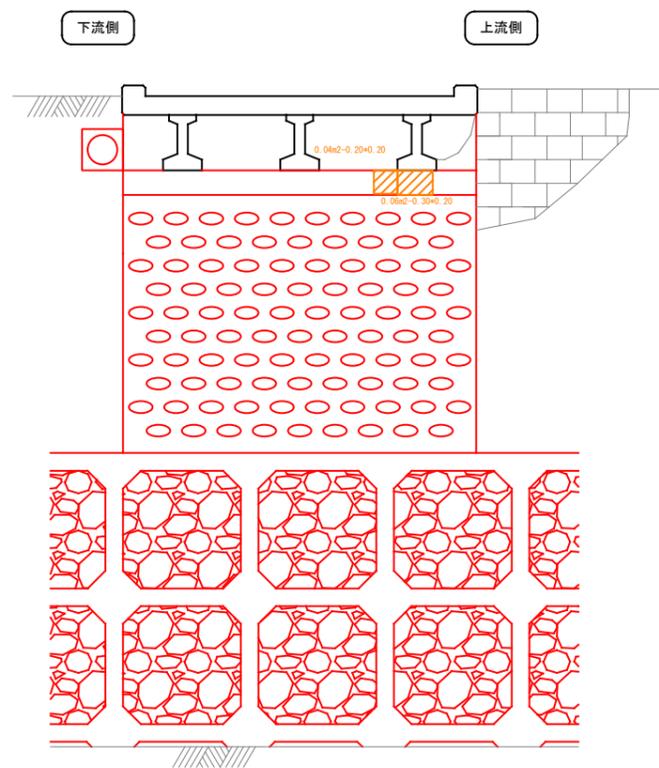
A2橋台沓座平面図 S=1:30



A1橋台正面図 S=1:30



A2橋台正面図 S=1:30



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	
	0.08m ² -0.40×0.20	表面含浸工

縮尺	図示	図面番号	7 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(5)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

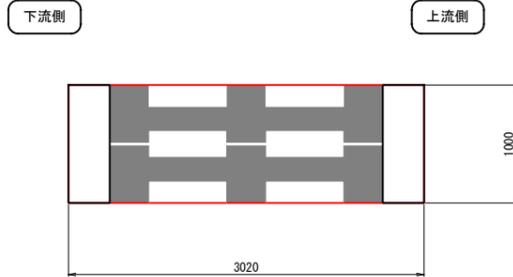
寺沖橋

補修図(5)

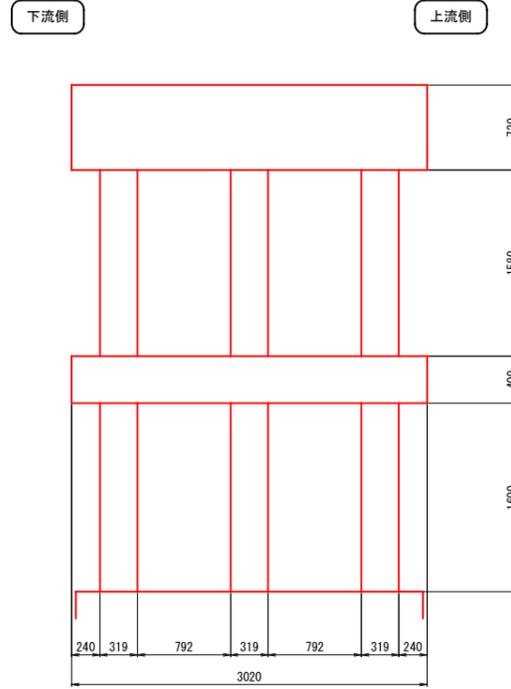
(P1橋脚)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

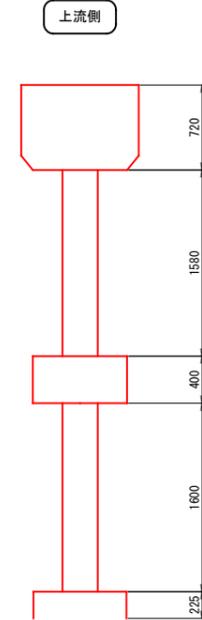
上段梁部平面図(脊座面) S=1:30



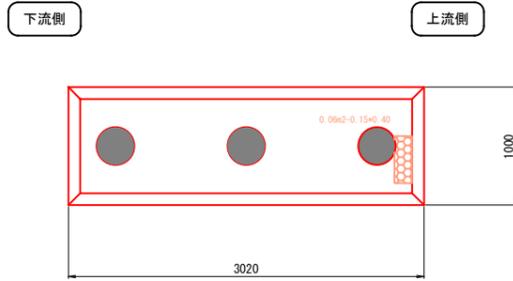
A1側正面図 S=1:30



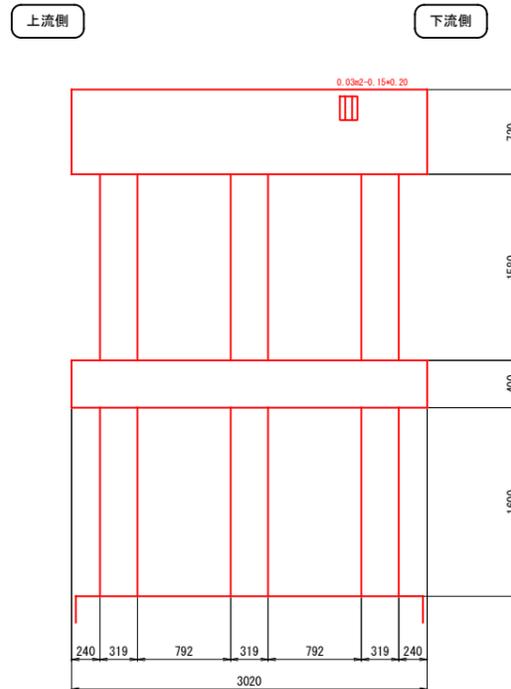
側面図 S=1:30



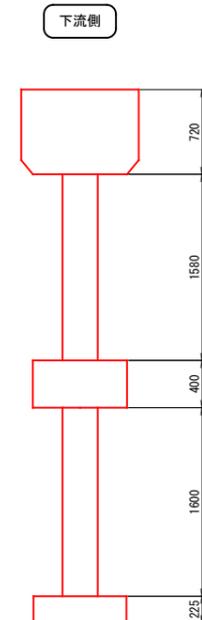
上段梁部平面図(下面) S=1:30



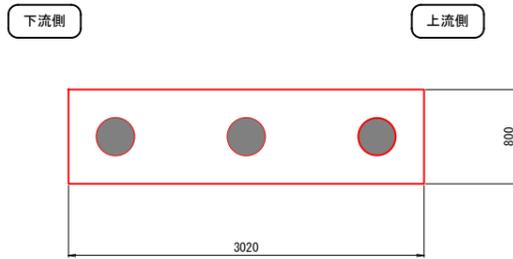
P2側正面図 S=1:30



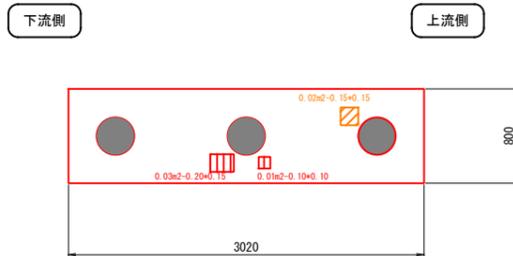
側面図 S=1:30



下段梁部平面図(上面) S=1:30



下段梁部平面図(下面) S=1:30



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(B)

縮尺	図示	図面番号	8 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(6)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

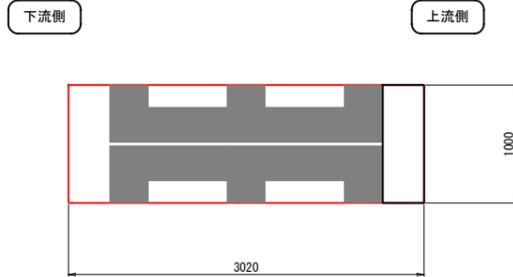
寺沖橋

補修図(6)

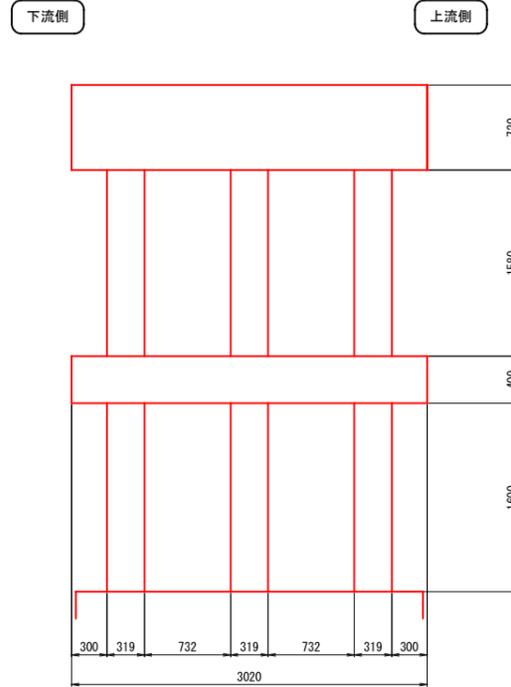
(P2橋脚)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

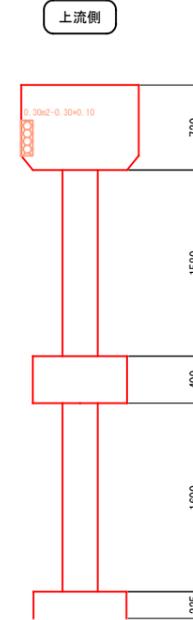
上段梁部平面図(沓座面) S=1:30



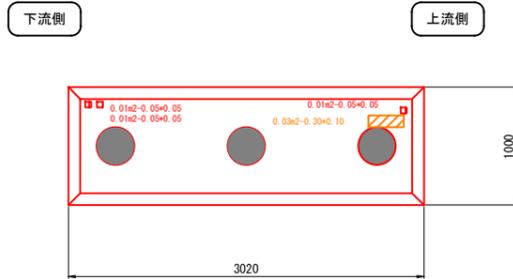
P1側正面図 S=1:30



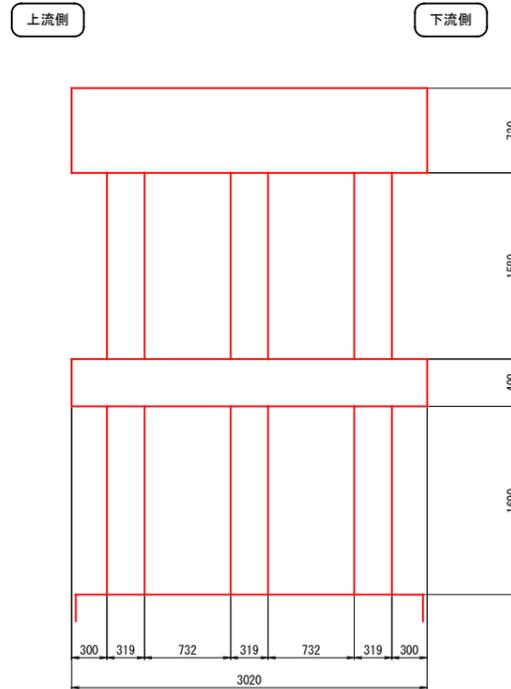
側面図 S=1:30



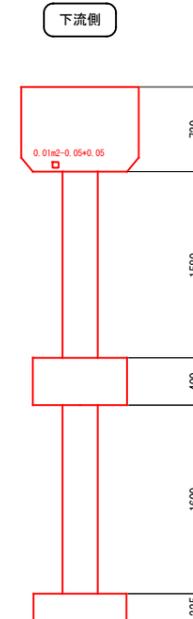
上段梁部平面図(下面) S=1:30



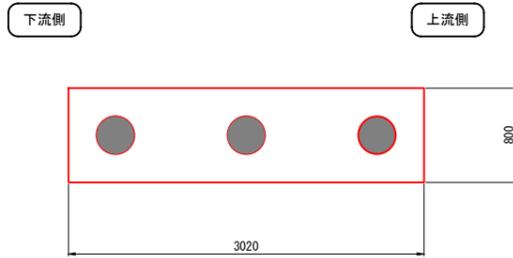
A2側正面図 S=1:30



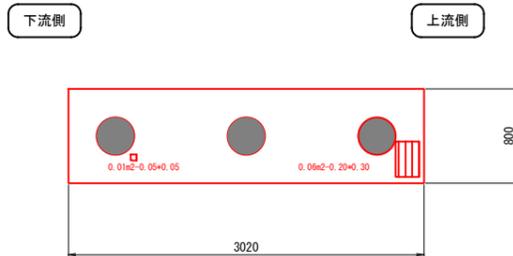
側面図 S=1:30



下段梁部平面図(上面) S=1:30



下段梁部平面図(下面) S=1:30



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工(B)

縮尺	図示	図面番号	9 / 9
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修図(7)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

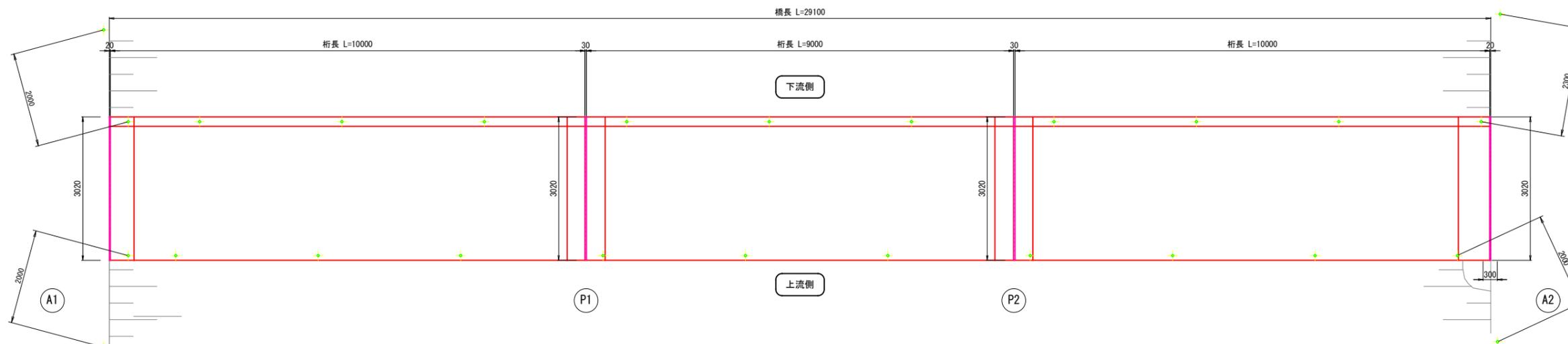
寺沖橋

補修図(7)

(路面)
路面平面図 S=1:50

補修工法凡例

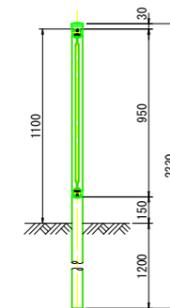
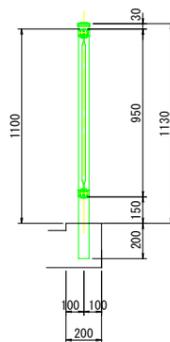
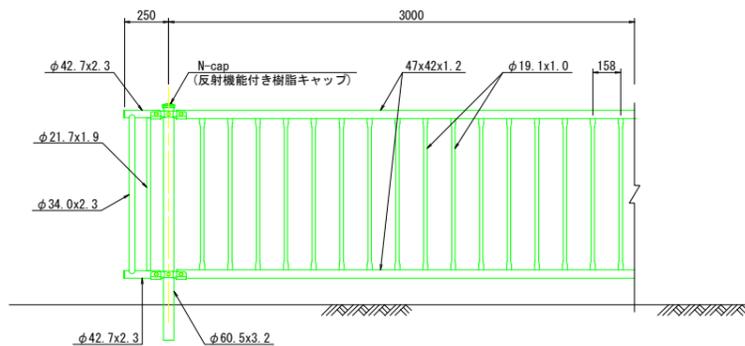
記号	補修対策
	伸縮継手装置設置工



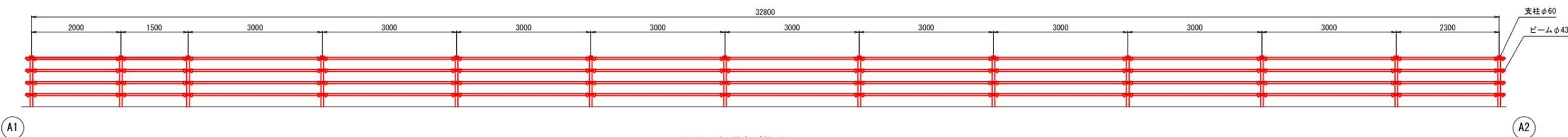
正面図 S=1:20

断面図 S=1:20

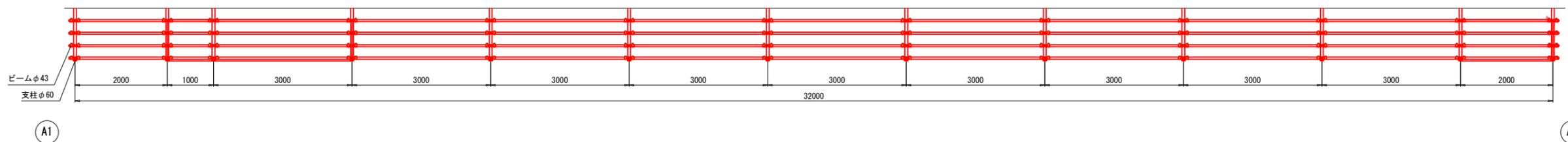
土中用 S=1:20



左側防護柵撤去正面図 S=1:50



右側防護柵撤去正面図 S=1:50



参 考 资 料

— 橋梁補修工事（市道本郷町清兼板屋線板屋橋外 1 橋） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-03.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 板屋橋	1	式			Y1G03 レベル1
鋼桁工	1	式			Y1G0319 レベル2
鋼桁補強工	1	式			Y1G031901 レベル3
近接調査計測工	1	m2			Y4999 レベル4
近接調査計測工	1	m2			V0010 00
芯出し調整工	1	m2			単第0 -0001 表 Y4999 レベル4
芯出し調整工 2種ケレン	1	m2			V0011 00
鋼桁孔明工 水平及び下向き SS400 t=9~11mm	44	本			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼桁孔明工					V0012 00
	44	本			単第0 -0003 表
部材取付工 ボルトによる補強部材					Y4999 レベル4
	16	部材			
補強部材取付工 200kg以下					V0013 00
	16	部材			単第0 -0004 表
鋼材費(鋼板) 一般構造用 SS400 付属物及び横断歩道橋					SHD30001 00
	0.08	t			単第0 -0005 表
副資材費					SHD30021 00
	0.08	t			単第0 -0006 表
高力ボルト工 M22					Y4999 レベル4
	44	本			
補修工事高力ボルト本締工					V0014 00
	44	本			単第0 -0007 表
ピンテール仕上げ工					V0015 00
	44	本			単第0 -0008 表
高力ボルト材料 TCB S10T M22					V0016 00
	1	式			単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
部分塗装 接触面・外面塗装	1	m2			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 素地調整	1	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表
塗替塗装 下塗り塗装	2	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
エポキシ樹脂系シール材 ジョリシールJB-2 相当品	2	kg			W0001
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮部補修工 伸縮目地材	10.2	m			Y4999 レベル4
伸縮装置目地補修工 ゴム劣化取替工法 幅20mm×深さ35mm	10.2	m			V0030 00 単第0 -0012 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切設置工					Y4999 レベル4
	48	m			
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品					V0040 00
	48	m			単第0 -0013 表
橋梁用防護柵工					Y1G032105 レベル3
	1	式			
橋梁用防護柵 転落防止柵 縦格子型					Y1G03210501 レベル4
	51	m			
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 転落防止柵-標準品-縦格子型,白色					SS000145 00
	48	m			単第0 -0014 表
横断・転落防止柵 土中建込 ビーム式・パネル式 [規]50m未満 転落防止柵-標準品-縦格子型,白色					SS000141 00
	3	m			単第0 -0015 表
鉄筋探查工 下向き					V0050 00
	2	m2			単第0 -0016 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径64mm以上77mm未満 削孔深さ200mm以上400mm未満					SPK21040108 00
	17	孔			単第0 -0017 表
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 超微粒子セメント系	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0018 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0019 表
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理 清掃・水洗い	72	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理工 高圧洗浄	72	m2			V0001 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	72	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル A=72.3m2	72	m2			V0002 00 単第0 -0021 表
表面含浸工 カルシウム付加, 反応促進剤 A=72.3m2	72	m2			V0003 00 単第0 -0022 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
湿潤式塗膜除去	95	m2			Y4999 レベル4
塗膜除去工	95	m2			V0020 00 単第0 -0023 表
廃材回収積込	95	m2			V0021 00 単第0 -0024 表
塗替塗装	95	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整工					V0022 00
	95	m2			単第0 -0025 表
表面被覆処理工					V0023 00
	28	m2			単第0 -0026 表
防錆塗装工(1層目)					V0024 00
	95	m2			単第0 -0027 表
防錆塗装工(2層目)					V0025 00
	95	m2			単第0 -0028 表
中塗り塗装工					V0026 00
	95	m2			単第0 -0029 表
上塗り塗装工					V0027 00
	95	m2			単第0 -0030 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
防護柵撤去工					Y1G032701 レベル3
	1	式			
防護柵(横断・転落防止柵)撤去					Y1G03270103 レベル4
	50	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式	50	m			SS000153 00 単第0 -0031 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1mm以上3mm未満,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	-0.62	t			T100E005 00
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0032 表
殻処分 コンクリート殻	0.1	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料	0.1	t			W0001

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
足場工					Y4999 レベル4
	79	m2			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m以上					S3030011 00
	79	m2			単第0 -0033 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	79	m2			単第0 -0034 表
防護工					Y4999 レベル4
	79	m2			
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	79	m2			単第0 -0035 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	40	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	40	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
施工調査費 含浸材塗布管理					YZZ06001006 レベル4
	1	式			
塗布管理材設置					V0004 00
	72	m2			単第0 -0036 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

施工単価表

芯出し調整工
2種ケレン

V0011

単第0 -0002 表

頁0 -0015

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1.0	人			
橋りょう特殊工	4.0	人			
普通作業員	6.0	人			
諸雑費	7	%			#01
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

10 m2 当り

施工単価表

鋼桁孔明工

V0012

単第0 -0003 表

頁0 -0016

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1.0	人			
橋りょう特殊工	3.0	人			
普通作業員	1.0	人			
諸雑費	25	%			#01
*** 合計 ***	96	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

96 本 当り

施工単価表

補修工事高力ボルト本締工

V0014

単第0 -0007 表

頁0 -0020

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1.0	人			
橋りょう特殊工	3.0	人			
普通作業員	1.0	人			
諸雑費	17	%			#01
*** 合計 ***	130	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

130 本 当り

施工単価表

ピンテール仕上げ工

V0015

単第0 -0008 表

頁0 -0021

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	2.0	人			
諸雑費	41	%			#01
*** 合計 ***	250	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

250 本 当り

施工単価表

伸縮装置目地補修工
ゴム劣化取替工法

V0030
幅20mm×深さ35mm

単第0 -0012 表

10.2 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	8.0	人			
ポリブタジエン系樹脂材 SMジョイント 型 相当品	2.0	缶			
専用プライマー	1.0	缶			
バックアップ材 2次止水機能兼バックアップ材	11.0	m			
ハンドミキサー	2.0	日			
ハンドカッター	2.0	日			
発電機 2KVA	2.0	日			
*** 合計 ***	10.2	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK21040108

単第0 -0017 表

削孔径64mm以上77mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.60%

労務構成比:

67.02%

材料構成比:

29.38%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,877.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.89%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	1.11%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	40.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径77.4mm,一般用 コンクリート削孔用	26.18%		ダイヤモンドビット 77.4mm		TTPC00233 TTPT00233
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0018 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.188	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	3.765	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	46.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.188 D=2.748 F=46		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

施工単価表

表面含浸工

V0002

単第0 -0021 表

ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル

A=72.3m2

72.3

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
ケイ酸塩ナトリウム系含浸材 スーパーシールド 同等品	20.8	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	72.3	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

表面含浸工

カルシウム付加, 反応促進剤

V0003

A=72.3m2

単第0 -0022 表

72.3

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
カルシウム付加, 反応促進剤 ストレンクス溶液 同等品	20.8	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	72.3	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0032 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,391.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-03.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 寺沖橋	1	式			Y1G03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮部補修工 伸縮目地材	12.1	m			Y4999 レベル4
伸縮装置目地補修工 ゴム劣化取替工法 幅20～30mm×深さ35mm	12.1	m			V0030 00 単第0 -0001 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工	58	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	58	m			V0040 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁用防護柵工					Y1G032105 レベル3
	1	式			
橋梁用防護柵 転落防止柵 縦格子型					Y1G03210501 レベル4
	65	m			
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 転落防止柵-標準品-縦格子型,白色					SS000145 00
	57	m			単第0 -0003 表
横断・転落防止柵 土中建込 ビーム式・パネル式 [規]50m未満 転落防止柵-標準品-縦格子型,白色					SS000141 00
	8	m			単第0 -0004 表
鉄筋探查工 下向き					V0050 00
	2	m2			単第0 -0005 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径64mm以上77mm未満 削孔深さ200mm以上400mm未満					SPK21040108 00
	22	孔			単第0 -0006 表
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 ポリマーセメントモルタル					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.271m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0007 表
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理 清掃・水洗い	64	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理工 高压洗浄	64	m2			V0001 00 単第0 -0008 表
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	64	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル A=63.7m2	64	m2			V0002 00 単第0 -0009 表
表面含浸工 カルシウム付加, 反応促進剤 A=63.7m2	64	m2			V0003 00 単第0 -0010 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
防護柵撤去工	1	式			Y1G032701 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵(横断・転落防止柵)撤去					Y1G03270103レベル4
	65	m			
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式					SS000153 00
	65	m			単第0 -0011 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1mm以上3mm未満,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下					T100E005 00
	-0.80	t			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 コンクリート殻					Y1G03271601レベル4
	0.3	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)					SPK21040138 00
	0.3	m3			単第0 -0012 表
殻処分 コンクリート殻					Y1G03271602レベル4
	0.3	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
投棄料					W0001
	0.6	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
足場工					Y4999 レベル4
	74	m2			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m以上					S3030011 00
	74	m2			単第0 -0013 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	74	m2			単第0 -0014 表
防護工					Y4999 レベル4
	74	m2			
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	74	m2			単第0 -0015 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	38	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	38	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
施工調査費 含浸材塗布管理					YZZ06001006 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗布管理材設置					V0004 00
	64	m2			単第0 -0016 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

伸縮装置目地補修工
ゴム劣化取替工法

V0030
幅20～30mm×深さ35mm

単第0 -0001 表

12.1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	8.0	人			
ポリブタジエン系樹脂材 SMジョイント 型 相当品	3.0	缶			
専用プライマー	1.0	缶			
バックアップ材 2次止水機能兼バックアップ材	13.0	m			
ハンドミキサー	2.0	日			
ハンドカッター	2.0	日			
発電機 2KVA	2.0	日			
*** 合計 ***	12.1	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0015

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK21040108

単第0 -0006 表

削孔径64mm以上77mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.60%

労務構成比:

67.02%

材料構成比:

29.38%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,877.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.89%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	1.11%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	40.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径77.4mm,一般用 コンクリート削孔用	26.18%		ダイヤモンドビット 77.4mm		TTPC00233 TTPT00233
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表面含浸工

V0002

単第0 -0009 表

ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル

A=63.7m2

63.7

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
ケイ酸塩ナトリウム系含浸材 スーパーシールド 同等品	18.3	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	63.7	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

表面含浸工

カルシウム付加, 反応促進剤

V0003

A=63.7m2

単第0 -0010 表

63.7

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
カルシウム付加, 反応促進剤 ストレンクス溶液 同等品	18.3	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	63.7	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0012 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,199.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

橋梁名：板屋橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
道路修繕	橋梁補修工	桁補強工 当て板補強	近接調査計測工		m ²	0.6	
			芯出し調整工	2種ケレン	m ²	0.6	
			鋼板孔明工	φ24.5mm SS400 t=11mm 水平および下向き	本	24	
				φ24.5mm SS400 t=9mm 水平および下向き	本	20	
			補強部材取付工	1部材当り平均質量が [※] 200kg以下	部材	16.0	平均質量：5kg
			鋼材	SS400 t=8mm	kg	39.0	
				SS400 t=13mm	kg	38.0	
				合計鋼材質量	kg	77.0	
				TCB S10T M22×90	本	24.0	
					kg	14.0	
				TCB S10T M22×60	本	20.0	
			kg		9.0		
			高力ボルト本締工	TCB S10T M22	本	44	
			ピンテール仕上げ工		本	44	
			素地調整	2種ケレン	m ²	1.1	
			接触面塗装 防食下地	有機ジンクリッチペイント	m ²	1.2	標準塗布量：300g/m ² ×2層
			外面塗装 防食下地	有機ジンクリッチペイント	m ²	0.6	標準塗布量：300g/m ² ×2層
			シール材	エポキシ樹脂系 γ=1.7	m	12.1	
					kg	1.6	
	現場塗装工	塗膜除去工 湿式塗膜剥離剤	湿式塗膜剥離工	湿式塗膜剥離剤工法（1回を想定）	m ²	94.8	
湿式塗膜剥離剤			湿式塗膜剥離剤工法（1回を想定）	kg	71.1	標準塗布量：1.0kg/m ²	
廃材の回収・積込				m ²	94.8		

橋梁名：板屋橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考	
道路修繕	現場塗装工	塗装塗替え工 支承防錆工 錆転換型防食塗装	素地調整	2種ケレン	m ²	94.8		
			表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	m ²	28.4	標準塗布量：40g/m ² 鋼材露出：30%	
			下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m ²	94.8	標準塗布量：100g/m ²	
			下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m ²	94.8	標準塗布量：100g/m ²	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m ²	94.8	標準塗布量：140g/m ²	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m ²	94.8	標準塗布量：120g/m ²	
	橋梁付属物工	伸縮部補修工	伸縮目地材	伸縮目地材	特殊ウレタン樹脂 SMジョイントI型同等品以上	m	10.2	
		水切り工	水切り材	水切り材	軟質PVC製水切り材	m	48.2	
				下地処理		m ²	1.2	
				接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤	m ²	1.2	
		防護柵取替え工	転落防止柵設置	転落防止柵設置	P種 転落防止柵 Co建込	m	48.2	
	転落防止柵設置			P種 転落防止柵 土中式	m	3.0		
	鉄筋探査工			下向き	m ²	1.7		
	コンクリート削孔工			削孔径φ70mm	孔	17.0		
	構造物撤去工	運搬処理工	殻運搬	殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	0.06	
				殻処分	がれき類	m ³	0.06	
						t	0.1	
防護柵撤去工		既設防護柵撤去	既設防護柵撤去		m	50.4		
			金属くず		kg	620.4		
仮設工	仮設足場工	吊足場	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m ²	79.0		
			朝顔	TYPE B 朝顔 (両側)	m ²	79.0		
			防護工	TYPE B シート張防護工 (両側)	m ²	79.0		

1.2 ひびわれ補修工

1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

(1) 延べ施工量

・ $0.2 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

1) 超微粒子セメント系

$$L = 11.45 = 11.45 \text{ m}$$

(2) シール材

1) エポキシ樹脂系

$$w = 50 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$t = 3 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$\gamma = 1.60 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 11.45 \times 0.050 \times 0.003 \times 1600 \times 1.00 = 2.748 \text{ kg}$$

(3) 注入材

1) 超微粒子セメント系

$$w = 0.20 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$t = 40 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$\gamma = 1.50 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 11.45 \times 0.00020 \times 0.040 \times 1500 \times \frac{1.37}{\text{ロス率37\%}} = 0.188 \text{ kg}$$

(4) 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 11.45 / 0.25 = 46 \text{ 個}$$

1.3 断面修復工（左官工法）

1.3.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

（1）延べ施工量

$$v1 = 0.059 = 0.059 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.059 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = 0.011 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V = 0.070 \text{ m}^3$$

1.3.2 殻運搬

（1）コンクリート構造物 人力積込

$$V = 0.059 = 0.059 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.3.3 殻処分（がれき類）

$$V = 0.059 = 0.059 \text{ m}^3$$

$$W = 0.059 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.139 \text{ t}$$

1.4 表面処理工（表面含浸工）

1.4.1 表面含浸工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

（1）下地処理工（洗浄・清掃）

$$A = 72.310 = 72.310 \text{ m}^2$$

（2）含浸材塗布工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

$$A = 72.310 = 72.310 \text{ m}^2$$

（3）含浸材（ストレングス剤同等品以上）

$$w1 = 72.310 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 18.078 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 18.078 \times 0.15 = 2.712 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 20.790 \text{ ㏍}$$

（4）含浸材（スーパーシールド同等品以上）

$$w1 = 72.310 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 18.078 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 18.078 \times 0.15 = 2.712 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 20.790 \text{ ㏍}$$

（5）テスター設置（1組/20m²）

$$N = 72.310 / 20 \text{ m}^2/\text{組} = 4 \text{ 組}$$

1.5 桁補強工（当て板補強）

1.5.1 近接調査計測工

$$\begin{aligned} \text{G1桁} \\ a1 &= 0.305 \times 0.410 \times 2 &= 0.250 \text{ m}^2 \\ a2 &= 0.305 \times 0.1875 \times 2 &= 0.114 \text{ m}^2 \\ a3 &= 0.080 \times 0.380 \times 2 &= 0.061 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A1 &= 0.425 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{G2桁} \\ a4 &= 0.080 \times 0.380 \times 2 \times 3 &= 0.182 \text{ m}^2 \\ \Sigma A &= 0.425 + 0.182 &= 0.607 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

1.5.2 芯出し調整工（2種ケレン）

$$A = 0.607 = 0.607 \text{ m}^2$$

1.5.3 鋼板孔明工

(1) $\phi 24.5\text{mm}$ (SS400 t=11mm)

1) 水平および下向き

$$\begin{aligned} \text{G1桁} \\ N &= 24 &= 24 \text{ 本} \end{aligned}$$

(2) $\phi 24.5\text{mm}$ (SS400 t=9mm)

1) 水平および下向き

$$\begin{aligned} \text{G1桁} \\ n2 &= 5 &= 5 \text{ 本} \\ \text{G2桁} \\ n3 &= 15 &= 15 \text{ 本} \\ \hline \Sigma N &= 20 \text{ 本} \end{aligned}$$

1.5.4 補強部材取付工 (1部材当り平均質量が200kg以下)

・平均質量 : 5 kg

$$N = 16 = 16 \text{ 部材}$$

1.5.5 鋼材

(1) SS400 t=8mm

$$\begin{array}{l} \text{G1桁} \\ w1 = 16 + 8 + 4 = 28 \text{ kg} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{G2桁} \\ w2 = 11 \\ \hline W1 = 39 \text{ kg} \end{array}$$

(2) SS400 t=13mm

$$\begin{array}{l} \text{G1桁} \\ w3 = 26 + 12 = 38 \text{ kg} \end{array}$$

$$\Sigma W = 39 + 38 = 77 \text{ kg}$$

(3) TCB (S10T M22×90)

$$\begin{array}{l} \text{G1桁} \\ n1 = 24 = 24 \text{ 本} \end{array}$$

$$w4 = 14 = 14 \text{ kg}$$

(4) TCB (S10T M22×60)

$$\begin{array}{l} \text{G1桁} \\ n2 = 5 = 5 \text{ 本} \end{array}$$

$$w5 = 2 = 2 \text{ kg}$$

$$\begin{aligned}
 G2\text{桁} \\
 n3 &= 15 & & = 15 \text{ 本} \\
 w6 &= 7 & & = 7 \text{ kg} \\
 \Sigma N1 &= 5 + 15 & & = 20 \text{ 本} \\
 \Sigma W1 &= 2 + 7 & & = 9 \text{ kg} \\
 \Sigma N &= 24 + 20 & & = 44 \text{ 本} \\
 \Sigma W &= 14 + 9 & & = 23 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

1.5.6 高力ボルト本締工 (TCB S10T M22)

$$N = 44 = 44 \text{ 本}$$

1.5.7 ピンテール仕上げ工

$$N = 44 = 44 \text{ 本}$$

1.5.8 鋼板塗装

(1) 素地調整 (2種ケレン)

$$A = 1.093 = 1.093 \text{ m}^2$$

(2) 接触面塗装 防食下地 (有機ジンクリッチペイント 標準塗布量 : $300\text{g}/\text{m}^2 \times 2\text{層}$)

$$A = 0.616 \times 2 = 1.232 \text{ m}^2$$

(3) 外面塗装 防食下地 (有機ジンクリッチペイント 標準塗布量 : $300\text{g}/\text{m}^2 \times 2\text{層}$)

$$A = 0.616 = 0.616 \text{ m}^2$$

1.5.9 シール材 (エポキシ樹脂系 $\gamma=1.7$)

(1) シール材延長

G1桁

$$L1 = (0.1875 + 0.305) \times 2 = 0.985 \text{ m}$$

$$L2 = (0.410 + 0.305) \times 2 = 1.430 \text{ m}$$

$$L3 = (0.1875 + 0.320) \times 2 = 1.015 \text{ m}$$

$$L4 = (0.410 + 0.320) \times 2 = 1.460 \text{ m}$$

$$L5 = (0.377 + 0.004 + 0.047 + 0.042 + 0.350 + 0.080) \times 2 = 1.800 \text{ m}$$

G2桁

$$L6 = (0.377 + 0.004 + 0.047 + 0.042 + 0.350 + 0.080) \times 2 \times 3 = 5.400 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 12.090 \text{ m}$$

(2) シール材使用量

G1主桁

$$w1 = \frac{1}{2} \times 0.013^2 \times (0.1875 + 0.305 + 0.1875) + 0.410 + 0.305 + 0.410 \times 1700 \times 2 = 0.519 \text{ kg}$$

$$w2 = 0.010 \times 0.008 \times (0.305 + 0.305) \times 1700 = 0.083 \text{ kg}$$

$$w3 = 0.010 \times 0.013 \times (0.305 + 0.305) \times 1700 = 0.135 \text{ kg}$$

$$w4 = \frac{1}{2} \times 0.008^2 \times (0.380 - 0.305 + 0.047) + 0.042 + 0.340 + 0.080 \times 1700 \times 2 = 0.064 \text{ kg}$$

$$w5 = \frac{1}{2} \times 0.008^2 \times (0.1875 + 0.310 + 0.410) + 0.310 \times 2 \times 1700 \times 2 = 0.265 \text{ kg}$$

G2主桁

$$w6 = \frac{1}{2} \times 0.008^2 \times (0.380 + 0.047 + 0.004) + 0.042 + 0.340 + 0.080 \times 1700 \times 2 \times 3 = 0.291 \text{ kg}$$

$$w7 = 0.519 + 0.083 + 0.135 + 0.064 + 0.265 + 0.291 \times 0.18 = 0.244 \text{ kg}$$

ロス率18%

$$\Sigma W = 1.601 \text{ kg}$$

1.5.10 当て板補強工（素地調整）数量計算書

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
主桁							
A部							
Web.PL.	外側	0.1375 × 0.370	1	1	100%	0.051	
		0.125 × 0.430	1	1	100%	0.054	
		0.410 × 0.370	1	1	100%	0.152	
	内側	0.1955 × 0.370	1	1	100%	0.072	
		0.468 × 0.370	1	1	100%	0.173	
L.Flг.PL.	外側	0.1375 × 0.071	1	1	100%	0.010	
		0.058 × 0.085	2	1	100%	0.010	
		0.410 × 0.071	1	1	100%	0.029	
	内側	0.1955 × 0.071	1	1	100%	0.014	
		0.468 × 0.071	1	1	100%	0.033	
V.St.PL.	外側	0.038	2	1	100%	0.076	
B部,C部,D部							
Web.PL.	外側	0.125 × 0.430	1	3	100%	0.161	
L.Flг.PL.	外側	0.058 × 0.085	1	6	100%	0.030	
V.St.PL.	外側	0.038	2	3	100%	0.228	
		小計				1.093	
		合計				1.093	

1.5.12 当て板補強工材料表

G1主桁

使用箇所	材料形状	2辺の寸法 (mm)	他の1辺の 寸法 (mm)	個 数	単位質量 (kg/m)	1個当たり 質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	摘 要	
SPL	PL	320 × 8	410	2	20.096	8.239	16	SS400		
SPL	PL	320 × 8	187.5	2	20.096	3.768	8	SS400		
SPL	PL	80 × 8	380	2	5.024	1.890	4	SS400	Net : 99%	
FILL	PL	305 × 13	410	2	31.125	12.761	26	SS400		
FILL	PL	305 × 13	187.5	2	31.125	5.836	12	SS400		
板材質量							計	66	kg	
使用箇所	種 別	規 格	長 さ (mm)	個 数	単位質量 (kg/m)	1個当たり 質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	摘 要	
SPL	TCB	M22	90	24	0.583	14	14	S10T		
SPL	TCB	M22	60	5	0.493	2	2	S10T		
形鋼およびボルト質量							計	16	kg	
1主桁当たり								82		

G2主桁

使用箇所	材料形状	2辺の寸法 (mm)	他の1辺の 寸法 (mm)	個 数	単位質量 (kg/m)	1個当たり 質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	摘 要	
SPL	PL	80 × 8	380	6	5.024	1.890	11	SS400	Net : 99%	
板材質量							計	11	kg	
使用箇所	種 別	規 格	長 さ (mm)	個 数	単位質量 (kg/m)	1個当たり 質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	摘 要	
SPL	TCB	M22	60	15	0.493	7	7	S10T		
形鋼およびボルト質量							計	7	kg	
1主桁当たり								18		

1.6 塗膜除去工

1.6.1 湿式塗膜剥離工

(1) 湿式塗膜剥離工 (湿式塗膜剥離剤工法)

$$A = 94.753 \times 1回 = 94.753 \text{ m}^2$$

塗装塗替え工より

(2) 湿式塗膜剥離剤 (湿式塗膜剥離剤工法 標準塗布量 : 0.75kg/m²)

$$a = 94.753 \times 0.8 \text{ kg/m}^2 = 71.065 \text{ kg}$$

(3) 廃材の回収・積込

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

1.7 塗装塗替え工, 支承防錆工

1.7.1 塗装塗替え工, 支承防錆工 (錆転換型防食塗装)

(1) 素地調整 (2種ケレン)

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

(2) 表面処理 (脱脂剤兼用防錆被膜処理剤 標準塗布量 : 40g/m²)

$$A = 94.753 \times 0.30 = 28.426 \text{ m}^2$$

鋼材露出 : 30%

(3) 下塗 (変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗 標準塗布量 : 100g/m²)

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗 標準塗布量 : 100g/m²)

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

(5) 中塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 標準塗布量 : 140g/m²)

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

(6) 上塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 標準塗布量 : 120g/m²)

$$A = 94.753 = 94.753 \text{ m}^2$$

1.7.2 塗装塗替え工, 支承防錆工数量計算書

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
主桁							
標準部							
H	G1,G2(第1径間)	11.060 × 106kg/m × 0.0183m ² /kg	1	2	100%	42.908	H-600×200×11×17
		- 11.060 × 0.200	1	2	100%	-4.424	床版との設置面
	G1,G2(第2径間)	11.140 × 106kg/m × 0.0183m ² /kg	1	2	100%	43.219	H-600×200×11×17
		- 11.140 × 0.200	1	2	100%	-4.456	床版との設置面
断面変化部							
U.Flг.PL.	G1,G2	1/2 ×(0.461 + 0.470)× 0.100	2	4	100%	0.372	
		0.470 × 0.100	2	4	100%	0.376	
Web.PL.	G1,G2	0.566 × 0.470	4	4	100%	4.256	
L.Flг.PL.	G1,G2	1/2 ×(0.362 + 0.370)× 0.090	4	4	100%	0.527	
		0.370 × 0.090	4	4	100%	0.533	
		1/2 ×(0.180 + 0.200)× 0.100	4	4	100%	0.304	
		- 0.180 × 0.200	2	4	100%	-0.288	支承との設置面
V.St.PL.	G1,G2	0.051	2	20	100%	2.040	
		- 0.250 × 0.073	1	12	100%	-0.219	横桁との設置面
		小計				85.148	
端横桁							
[C1,C3	1.762 × 34.6kg/m × 0.0235m ² /kg	1	4	100%	5.731	[-250×90×9×13
		- 0.250 × 0.073	2	4	100%	-0.146	V.St.PL.との設置面
PL.	C1,C3	1/2 × 0.120 × 0.215	2	8	100%	0.206	
中間横桁							
[C2	1.762 × 34.6kg/m × 0.0235m ² /kg	1	2	100%	2.865	[-250×90×9×13
		- 0.250 × 0.073	2	2	100%	-0.073	V.St.PL.との設置面
		小計				8.583	

1.8 伸縮部補修工

1.8.1 伸縮目地材 (特殊ウレタン樹脂 SMジョイント I 型同等品以上)

$$L = 3.400 \times 3 = 10.200 \text{ m}$$

1.9 水切り工

1.9.1 水切り材 (軟質PVC製水切り材)

$$L = 12.000 \times 2 + 12.080 \times 2 = 48.160 \text{ m}$$

1.9.2 下地処理

$$A = 48.160 \times 0.025 = 1.204 \text{ m}^2$$

1.9.3 接着剤塗布 (エポキシ樹脂系接着剤)

$$A = 48.160 \times 0.025 = 1.204 \text{ m}^2$$

1.10 防護柵取替え工

1.10.1 防護柵設置 (P種 転落防止柵 Co建込)

$$L = (12.000 + 12.080) \times 2 = 48.160 \text{ m}$$

1.10.2 防護柵設置 (P種 転落防止柵 土中式)

$$L = 1.985 + 1.042 = 3.027 \text{ m}$$

1.10.3 既設防護柵撤去

$$L = 23.705 \times 2 + 1.985 + 1.042 = 50.437 \text{ m}$$

1.10.4 鉄筋探査工 (下向き)

$$A = 0.50 \times 0.20 \times 17 = 1.700 \text{ m}^2$$

1.10.5 コンクリート削孔工 (削孔径 ϕ 70mm)

(1) ϕ 70 \times 200

$$N = 17 = 17 \text{ 孔}$$

1.11 構造物取壊し工

1.11.1 鉄筋探査工

(1) 下向き

1) 防護柵取替え工

$$A = 1.700 = 1.700 \text{ m}^2$$

1.11.2 コンクリート削孔工

(1) 削孔径 ϕ 10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満

1) 防護柵取替え工

$$N = 17 = 17 \text{ 孔}$$

1.12 運搬処理工

1.12.1 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.059 = 0.059 \text{ m}^3$$

1.12.2 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.059 = 0.059 \text{ m}^3$$

$$W = 0.059 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.139 \text{ t}$$

1.13 防護柵撤去工

1.13.1 既設防護柵撤去

(1) 高欄撤去

1) 防護柵取替え工

$$L = 50.437 = 50.437 \text{ m}$$

2) 金属くず ※12.3kg/mと仮定(メーカー聞き取り)

$$L = 50.437 \times 12.30 = 620.375 \text{ kg}$$

1.14 仮設足場工

1.14.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$)

$$A = 23.096 \times 3.400 = 78.526 \text{ m}^2$$

(2) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 78.526 = 78.526 \text{ m}^2$$

(3) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 78.526 = 78.526 \text{ m}^2$$

1. 数量総括表

橋梁名：寺沖橋

工種	種別	細別	規格	単位	数量		
					上下部工	その他	合計
橋梁工	断面修復工A	修復深さ	ポリマーセメント	m2	3.880	-	3.880
		d=5cm	モルタル	m3	0.194	-	0.194
		防錆処理有		kg	392.35	-	392.35
	断面修復工B	修復深さ	ポリマーセメント	m2	1.540	-	1.540
		d=5cm	モルタル	m3	0.077	-	0.077
		防錆処理無		kg	165.20	-	165.20
	断面修復工 (合計)	修復深さ	ポリマーセメント	m2	5.420	-	5.420
		d=5cm	モルタル	m3	0.271	-	0.271
				kg	557.550	-	557.55
	表面処理工	下地処理	高压洗浄	m2	63.7	-	63.7
		けい酸塩系ナトリウム	0.25kg/m2	m2	63.7	-	63.7
			ストレングス剤同等品	ℓ	18.3	-	18.3
			スーパーシールド同等品	ℓ	18.3	-	18.3
		塗布量管理	管理テスター	m2	63.7		63.7
水切設置工		軟質PVC	m	58.0	-	58.0	
路面工	伸縮部補修工	伸縮目地材	SMジョイントI型同等品	m	-	12.1	12.1
	防護柵取替工	防護柵撤去	転落防止柵P種	m	-	64.8	64.8
		殻処分	金属くず	kg	-	797.0	797.0
		鉄筋探索工	下向き	m2		2.2	2
		コンクリート削孔	φ70	孔	-	22	22
		防護柵設置	Co建込	m	-	56.5	56.5
		防護柵設置	土中式	m	-	8.3	8.3
仮設工	足場工	吊足場		m2	-	73.5	73.5
		朝顔		m2	-	73.5	73.5
		シート張防護		m2	-	73.5	73.5

2. 補修数量

2.1. 躯体工補修数量

2.1.1. 躯体工補修数量計算

位置	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)d=5cm											
	浮き		鉄筋露出					欠損		豆板		
	防錆処理を含む					防錆処理を含まない						
	m2											
1径間												
床版 G1-G2	0.04	0.02										
G2-G3	0.02		0.02									
張出床版 上流側	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.06	0.07			0.01	0.01	
			0.01	0.01	0.01	0.02	0.02					
			0.02	0.03	0.01	0.01	0.01					
			0.01									
下流側	0.02	0.02	0.03	0.05	0.01	0.01	0.01	0.02				
	0.02		0.05	0.01	0.01	0.02	0.02					
			0.01	0.01	0.01	0.08	0.02					
			0.01	0.01	0.02	0.01						
主桁 G2			0.01									
G3			0.08									
横桁 端横桁P1										0.03	0.04	0.01
										0.01	0.05	
地覆 上流側			0.01									
下流側			0.02	0.02								
小計(1径間)	0.20		0.88					0.00		0.16		
2径間												
床版 G1-G2			0.01	0.01	0.01	0.02	0.02			0.02	0.03	
			0.01	0.01	0.02	0.06						
G2-G3			0.01	0.01								
張出床版 上流側	0.01	0.04	0.01	0.01	0.01	0.03	0.05					
			0.01	0.01	0.01	0.02	0.03					
			0.04									
下流側	0.02	0.02	0.02	0.01	0.04	0.03	0.16			0.03		
			0.01	0.01	0.03	0.01	0.02					
			0.01	0.02	0.01	0.01	0.01					
			0.01	0.01	0.01	0.01	0.01					
			0.02	0.01								
張出床版 下流側			0.01	0.01	0.03	0.01	0.03					
			0.05	0.01	0.01	0.01	0.03					
主桁 G2	0.07		0.07									
G3								0.01				
横桁 端横桁P1			0.02	0.01						0.02	0.01	0.02
中間横桁										0.03	0.01	0.02
										0.01	0.02	0.05
端横桁P2			0.02	0.02						0.02	0.03	0.03
										0.01	0.01	0.01
										0.01		
地覆 下流側			0.01									
小計(2径間)	0.16		1.25					0.01		0.39		

位置	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)d=5cm											
	浮き			鉄筋露出				欠損			豆板	
	防錆処理を含む							防錆処理を含まない				
	m2											
3径間												
床版 G1-G2				0.01	0.05	0.01	0.01	0.02				
				0.04	0.05	0.01	0.01	0.01				
G2-G3				0.01	0.01	0.01	0.01	0.01				
				0.01	0.01	0.01	0.01	0.02				
				0.01	0.01	0.01	0.01	0.01				
張出床版 上流側				0.02	0.03	0.01	0.01	0.01				
				0.01	0.01	0.02	0.04	0.01				
				0.01	0.02	0.01	0.04	0.01				
				0.01	0.01							
下流側	0.02	0.01	0.02	0.03	0.05	0.06	0.01	0.02				
	0.02			0.01	0.02	0.05	0.05					
主桁 G1				0.01								
横桁 端横桁P2				0.02						0.01	0.02	
中間横桁										0.05	0.03	0.05
										0.03		
端横桁A2										0.18		
地覆 上流側									0.13			
下流側									0.03	0.03	0.06	
小計(3径間)		0.07			0.99					0.25		0.37
P1橋脚												
上段梁部 正面終点側				0.03								
下面										0.06		
下段梁部 下面	0.02			0.03	0.01							
小計(P1橋脚)		0.02			0.07					0.00		0.06
P2橋脚												
上段梁部 側面上流側										0.30		
側面下流側				0.01								
下面	0.03			0.01	0.01	0.01						
下段梁部 下面				0.01	0.06							
小計(P2橋脚)		0.03			0.11					0.00		0.30
A2橋台												
豎壁 正面	0.04	0.06										
小計(A2橋台)		0.10			0.00					0.00		0.00
合計		0.58			3.30					0.26		1.28

2.2 断面修復工 修復深さ d=5cm

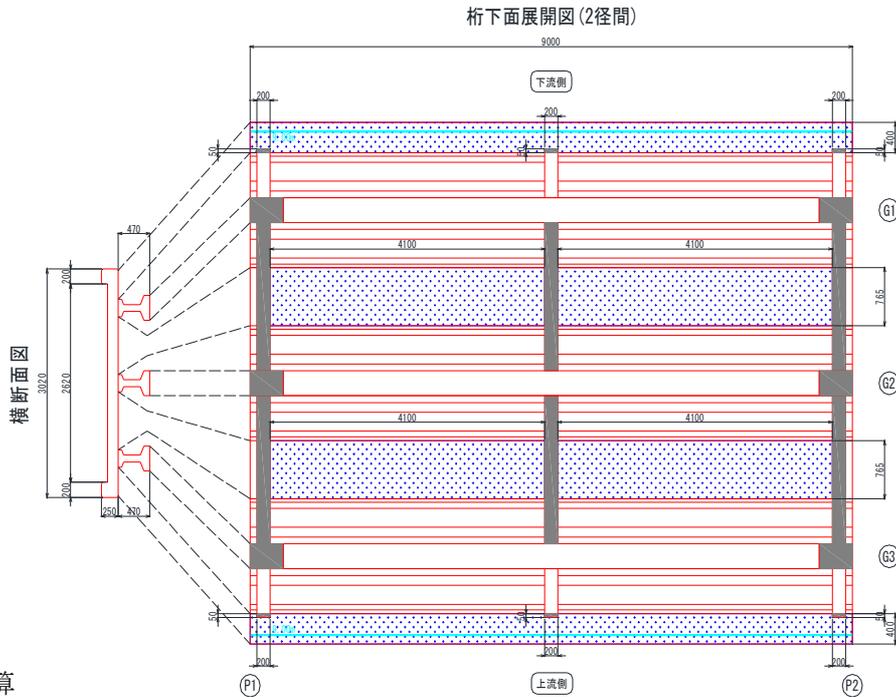
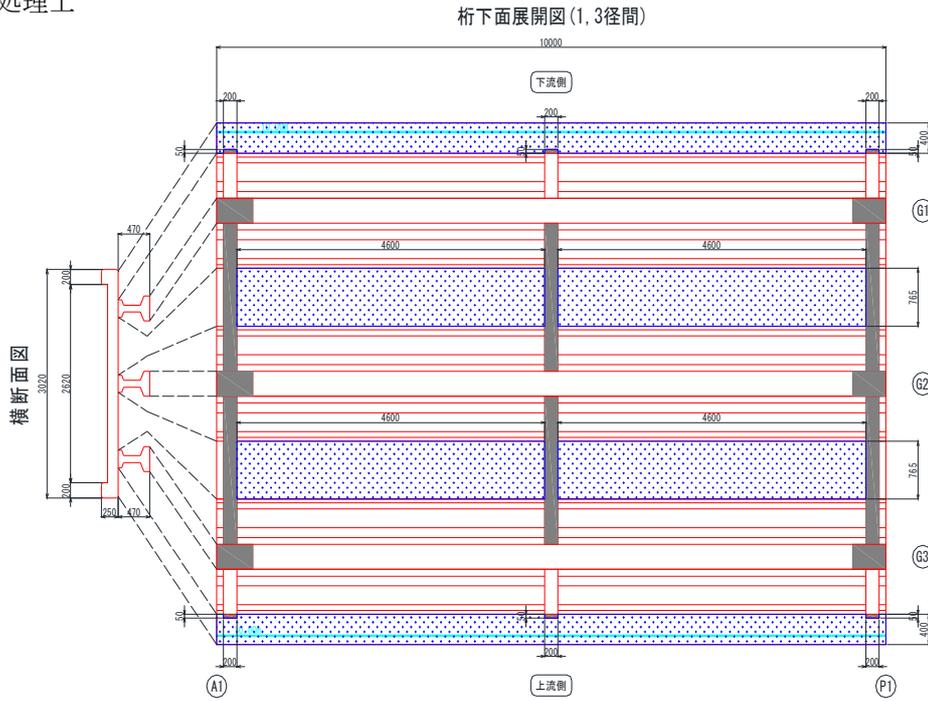
(1) 断面修復工A ポリマーセメントモルタル埋戻し (防錆処理を含む)

$$\begin{aligned}
 A &= 0.58 + 3.30 = 3.88 \quad \text{m}^2 \\
 V &= 3.88 \times 0.05 = 0.1940 \quad \text{m}^3 \\
 w &= 0.19 \times 1750 \text{ (kg/m}^3\text{)} \times 1.18 = 392.35 \quad \text{kg} \\
 &\quad \text{ロス率 (18\%)} \text{ 土木工事標準積算基準 P487} \\
 \text{断面修復材} &= 0.19 \times 1.18 = 0.2240 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

(2) 断面修復工B ポリマーセメントモルタル埋戻し (防錆処理を含まない)

$$\begin{aligned}
 A &= 0.26 + 1.28 = 1.54 \quad \text{m}^2 \\
 V &= 1.54 \times 0.05 = 0.077 \quad \text{m}^3 \\
 w &= 0.08 \times 1750 \text{ (kg/m}^3\text{)} \times 1.18 = 165.2 \quad \text{kg} \\
 &\quad \text{ロス率 (18\%)} \text{ 土木工事標準積算基準 P487} \\
 \text{断面修復材} &= 0.08 \times 1.18 = 0.094 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

2.4. 表面処理工



表面積計算

名称	種別	細別	計算式	面数	部材数	面積
1,3径間						
床版	張出		0.400×10.000	1	4	16.00
		G1-G2	0.765×4.600	1	4	14.08
		G2-G3	0.765×4.600	1	4	14.08
控除部			$- 0.050 \times 0.200$	1	12	-0.12
2径間						
床版	張出		0.400×9.000	1	2	7.20
		G1-G2	0.765×4.100	1	2	6.27
		G2-G3	0.765×4.100	1	2	6.27
控除部			$- 0.050 \times 0.200$	1	6	-0.06
		計				63.72

(1) 下地処理工 洗淨・清掃
 A = = 63.72 m²

(2) 表面処理工 けい酸ナトリウム系表面含浸材
 ストレングス剤 同等品以上
 A = = 63.72 m²

w = 面積 (m²) × 使用量 (ℓ/m²) × ロス率 = 63.72 × 0.25 × 1.15 = 18.3 ℓ

スーパーシールド 同等品以上
 A = = 63.72 m²

w = 面積 (m²) × 使用量 (ℓ/m²) × ロス率 = 63.72 × 0.25 × 1.15 = 18.3 ℓ

塗布用管理工
 A = = 63.72 m²

N = 面積 (m²) ÷ 使用量 (組/m²) × ロス率 = 63.72 ÷ 20 = 4.0 組

(3) 水切設置工
 ・上流側
 I1 = 10.00 + 9.00 + 10.00 = 29.00 m
 ・下流側
 I2 = 10.00 + 9.00 + 10.00 = 29.00 m
 ΣL = 58.00 m

2.6. 伸縮継手装置設置工

2.6.1.伸縮部補修工(特殊ウレタン樹脂 SMジョイント I 型 同等品)

(1) 施工延長

(A1+P1+P2+A2)

$$L = 3.020 + 3.020 + 3.020 + 3.020 = 12.08 \text{ m}$$

2.7. 防護柵取替工

防護柵撤去（転落防止柵 P種）

$$L = 32.80 + 32.00 = 64.80 \text{ m}$$

金属くず処分 ※12.3kg/mと仮定（メーカー聞き取り）

$$W = 64.80 \times 12.30 = 797.04 \text{ kg}$$

鉄筋探査工（下向き）

$$A = 0.50 \times 0.20 \times 22 = 2.20 \text{ m}^2$$

コンクリート削孔（削孔径70mm）

$$N = 22 = 22 \text{ 孔}$$

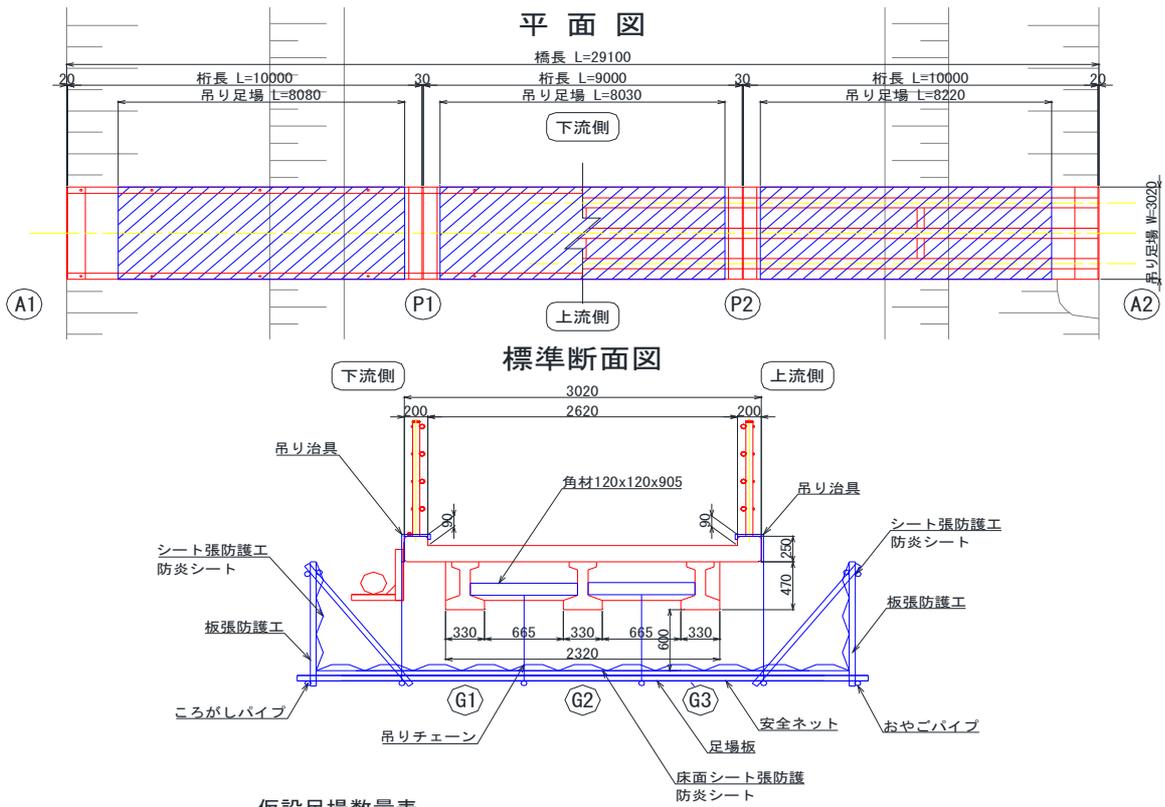
防護柵設置（転落防止柵 P種 Co建込）

$$L = 28.50 + 28.00 = 56.50 \text{ m}$$

防護柵設置（転落防止柵 P種 土中式）

$$L = 2.00 + 2.30 + 2.00 + 2.00 = 8.3 \text{ m}$$

2.8.仮設工(吊足場)



仮設足場数量表

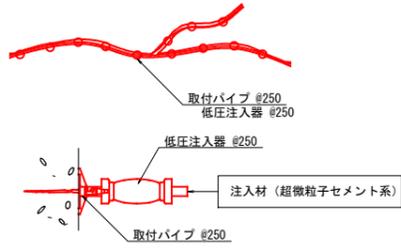
種類	寸法 (m)		面積 (m ²)
	全幅員 (地覆外縁間距離) × 必要長		
TYPEA1	吊り足場 (桁高h<1.5m)	(8.08+8.03+8.22) × 3.02	73.48
	床面シート張防護設置	〃	73.48
TYPEB	朝顔	〃	73.48
	板張防護工	〃	73.48
	シート張防護工	〃	73.48

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

縮尺	図示	図面番号	1 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修詳細図(参考図)(その1)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋

ひびわれ注入工 (参考図)

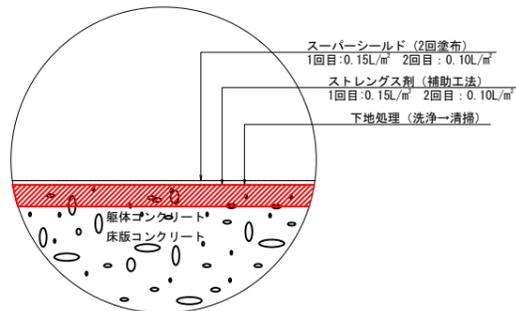


- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使用時間内に注入を行い、可使用時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。

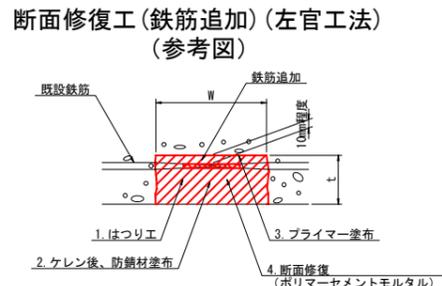
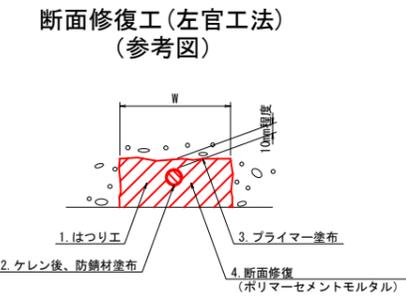
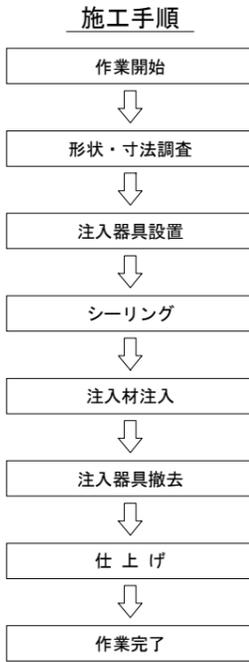
表面含浸工 (参考図)

(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

- ※ 上部0a部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
- ※ ケイ酸塩系含浸材

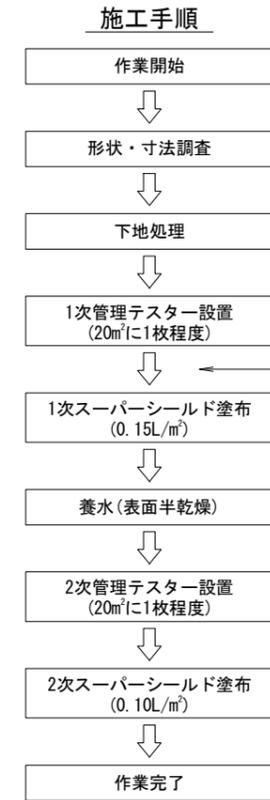


- ※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
- ※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
- ※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

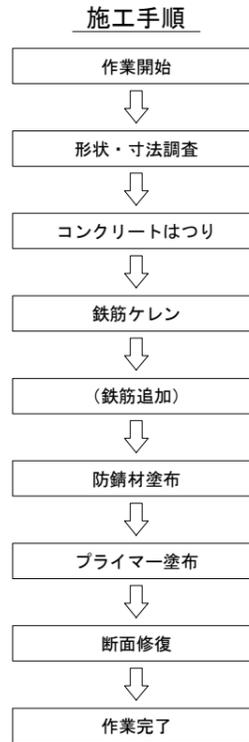


- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所は協議の上、対策を決定すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、純かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

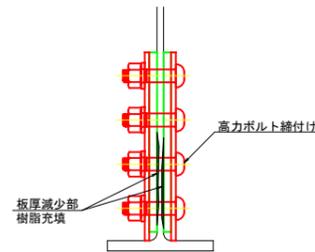
補助工法 スtrenグス剤
0.25L/m²



板屋橋 補修詳細図(参考図)(その1)



当て板補強工 (参考図)



- ※ 既設鋼材と当て板補強材の隙間に不陸が生じる場合は、金属パテやエポキシ樹脂等により不陸調整を行うこと。
- ※ 当て板仮固定は、予備のボルト等で24時間以上仮固定し、接着剤等でボルト孔が閉塞されないようにすること。

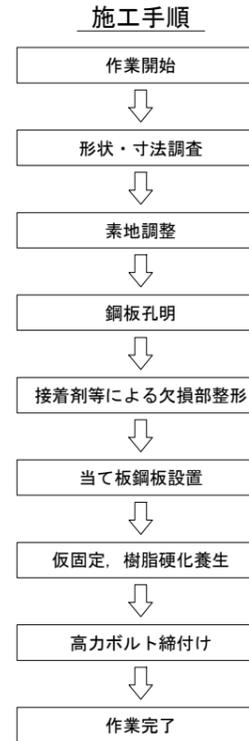
塗装塗替え工, 支承防錆工 (参考図)

湿式塗膜剥離工
素地調整
脱脂剤兼用防錆被膜処理剤(40g/m²)
変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗(100g/m²)
変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗(100g/m²)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗(140g/m²)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗(120g/m²)

塗装仕様: 鋼転換型防食塗装

塗装工程	塗料名	使用量(g/m ²)
素地調整	3種(A)	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

※ 塗装塗替え対象は全ての鋼部材(全面塗替え)とする。
 ※ 素地調整の種類は3種ケレンAを想定。
 ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
 ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
 ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
 ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
 ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
 ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れが或る時は使用しないこと。
 ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

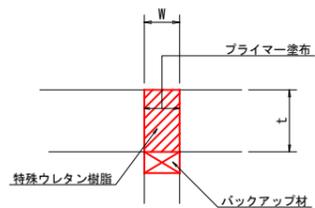


板屋橋 補修詳細図(参考図)(その2)

縮尺	図示	図面番号	2 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋橋板屋橋外1橋)		
図面名	補修詳細図(参考図)(その2)		
路線名	市道本郷町清兼板屋橋		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

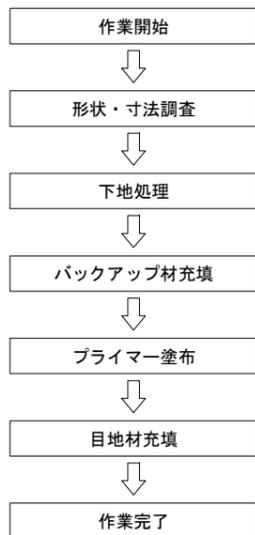
板屋橋

伸縮部補修工 (参考図)

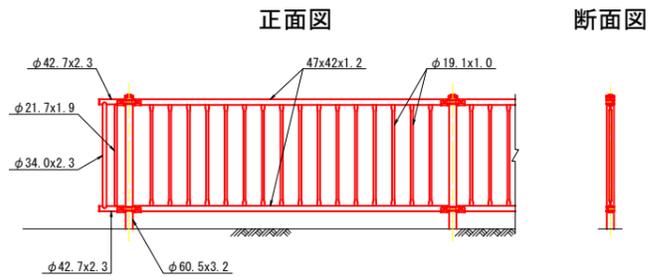


- ※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 充填材は可使用時間内に注入を行い、可使用時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 充填後は、指触乾を確認後に交通解放を行うこと。
- ※ 既設エスタライト等は撤去すること。

施工手順

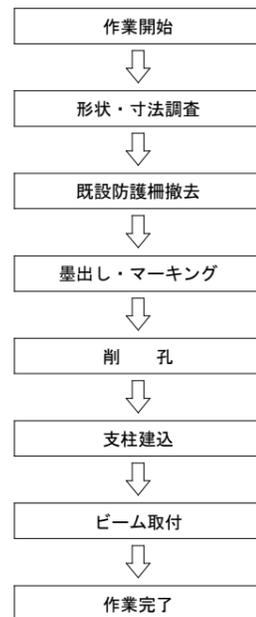


防護柵取替え工 (参考図)

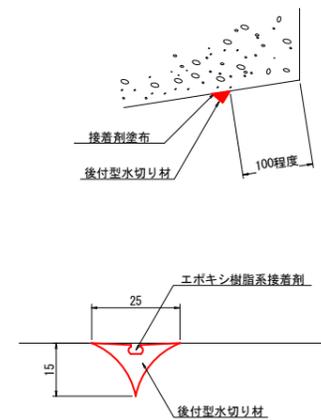


- ※ 施工の際は日々復旧を行い、交通規制解放後に交通の支障とないように復旧を行うこと。
- ※ コンクリート削孔を行う際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

施工手順

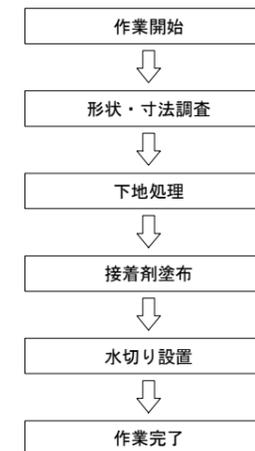


水切り工 (参考図)



- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

施工手順



縮尺	図示	図面番号	4 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	橋梁損傷図(参考図)(その2)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

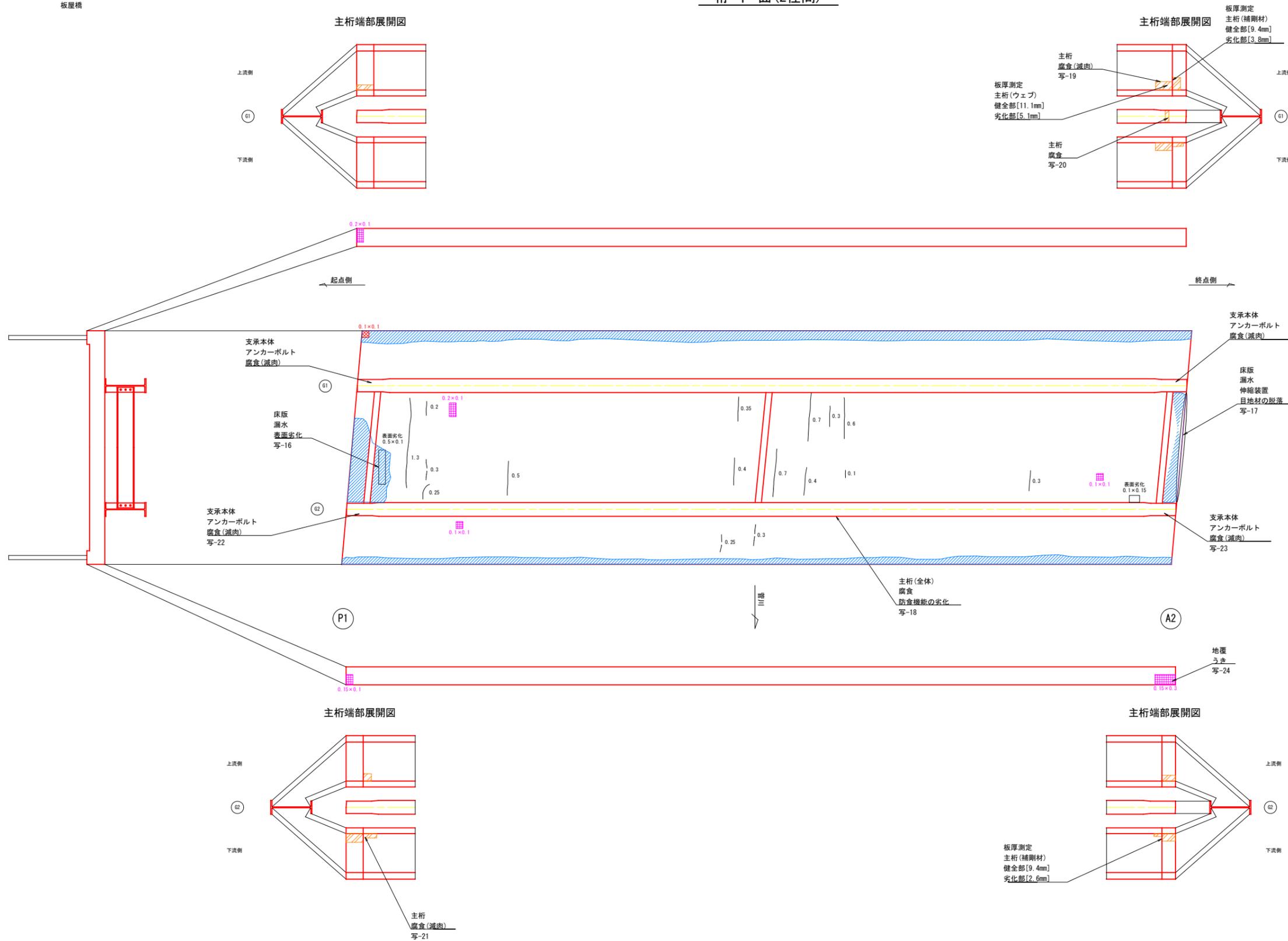
板屋橋 橋梁変状図(その2)

S=1:30

変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅×長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅×長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	幅×横 (m) (m)	うき
	幅×横 (m) (m)	剥離・欠損
	幅×横 (m) (m)	鉄筋露出
	幅×横 (m) (m)	豆板
	幅×横 (m) (m)	遊離石灰
	幅×横 (m) (m)	漏水 (伝い水)
	幅×横 (m) (m)	腐食(減肉)
		その他

桁下面(2径間)



※ 鋼材全体で腐食、防食機能の劣化が見られる

縮尺	図示	図面番号	5 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	橋梁損傷図(参考図)(その3)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋

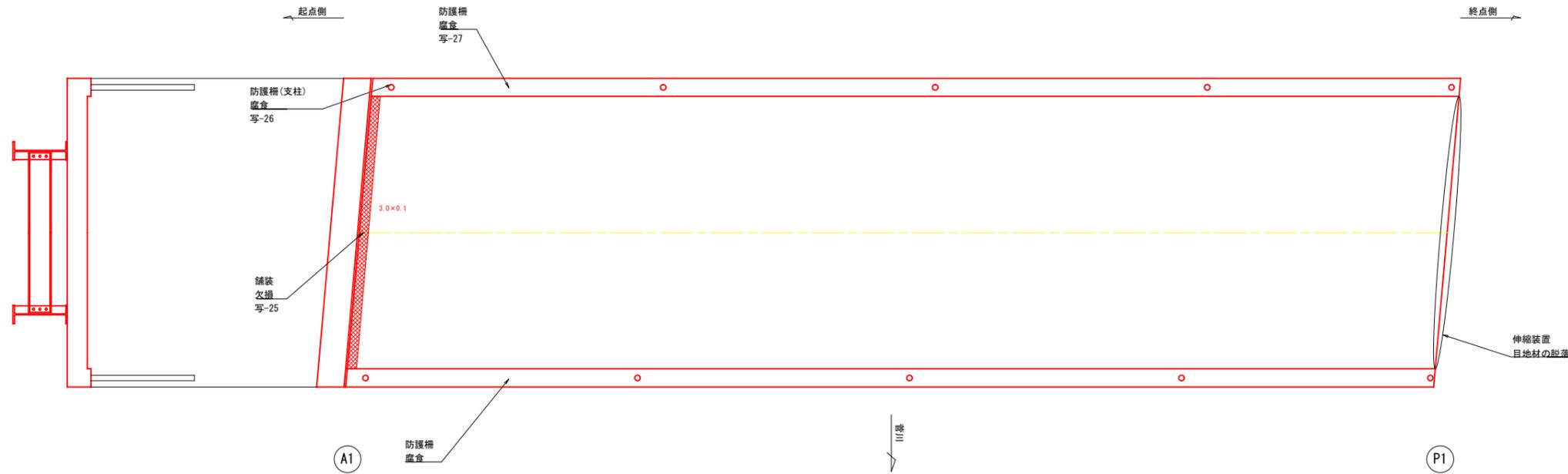
板屋橋 橋梁変状図(その3)

S=1:30

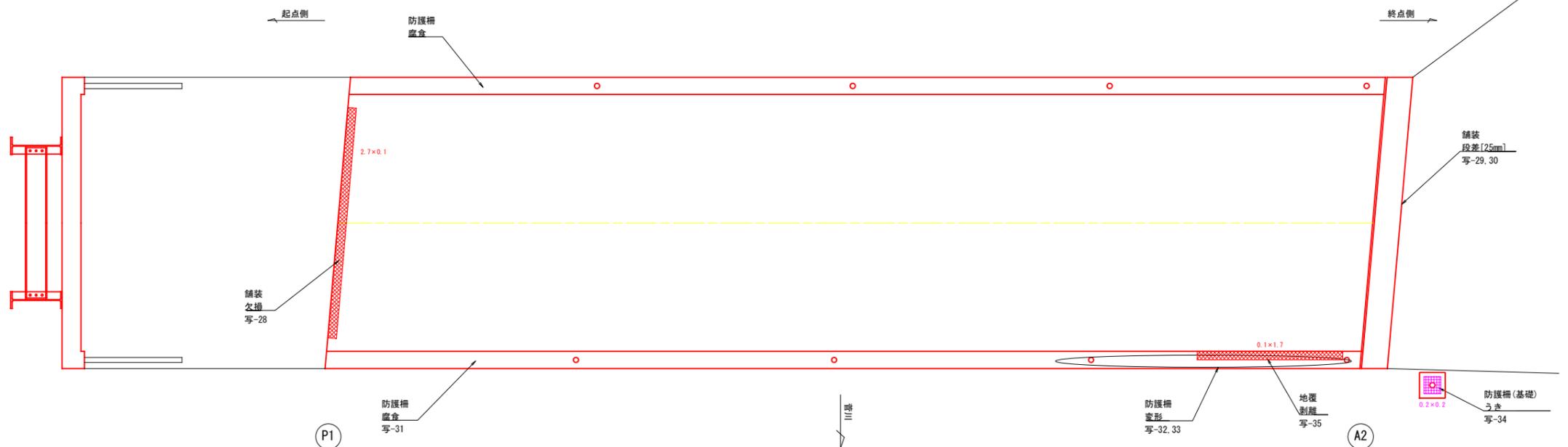
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	幅 × 幅 (m) (m)	うき
	幅 × 幅 (m) (m)	剥離・欠損
	幅 × 幅 (m) (m)	鉄筋露出
	幅 × 幅 (m) (m)	豆板
	長さ (m)	遊離石灰
	長さ (m)	漏水 (伝い水)
	長さ (m)	腐食(減肉)
		その他

橋面(1径間)



橋面(2径間)



縮尺	図示	図面番号	6 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	橋梁損傷図(参考図)(その4)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋

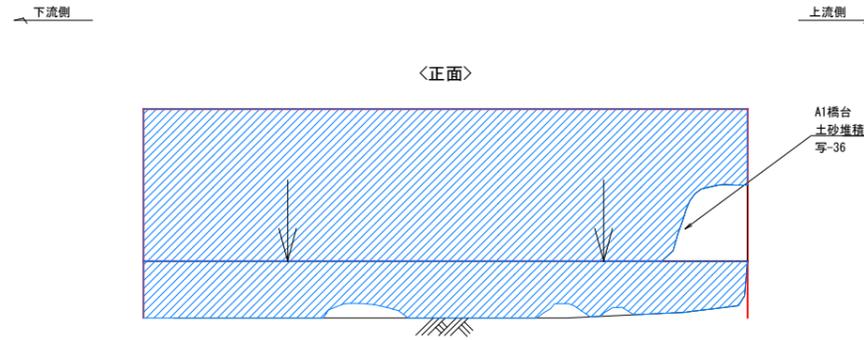
板屋橋 橋梁変状図(その4)

S=1:20

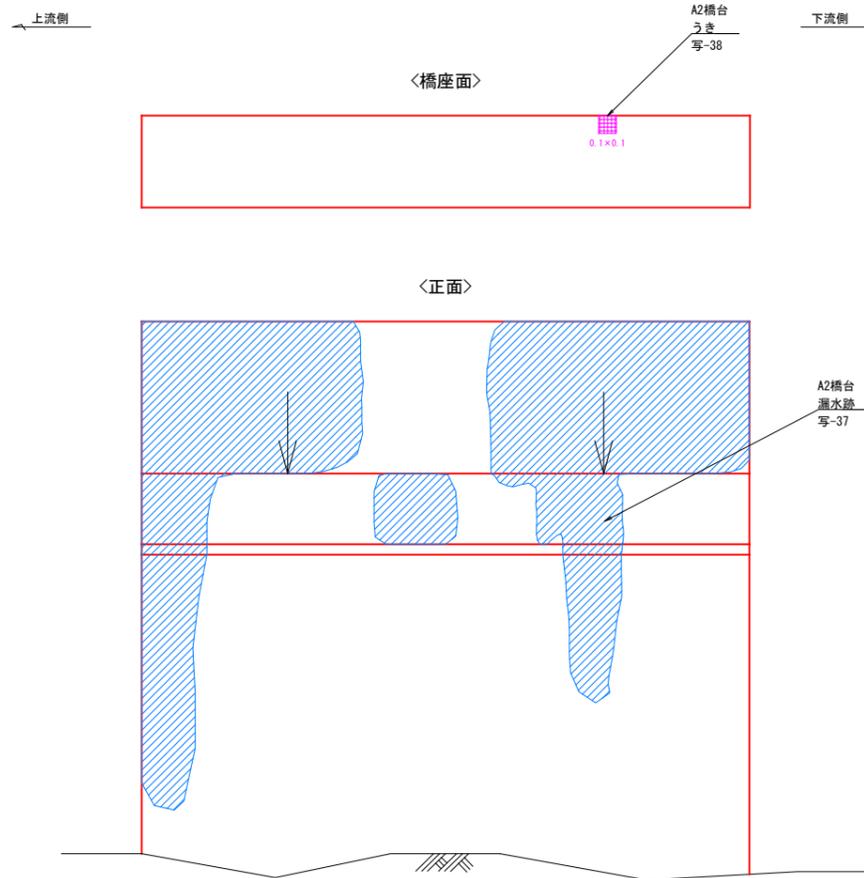
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	幅 × 横 (m) (m)	うき
	幅 × 横 (m) (m)	剥離・欠損
	幅 × 横 (m) (m)	鉄筋露出
	幅 × 横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		腐食
		その他

A1橋台



A2橋台



縮尺	図示	図面番号	7 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	橋梁損傷図(参考図)(その5)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋

板屋橋 橋梁変状図(その5)

S=1:20

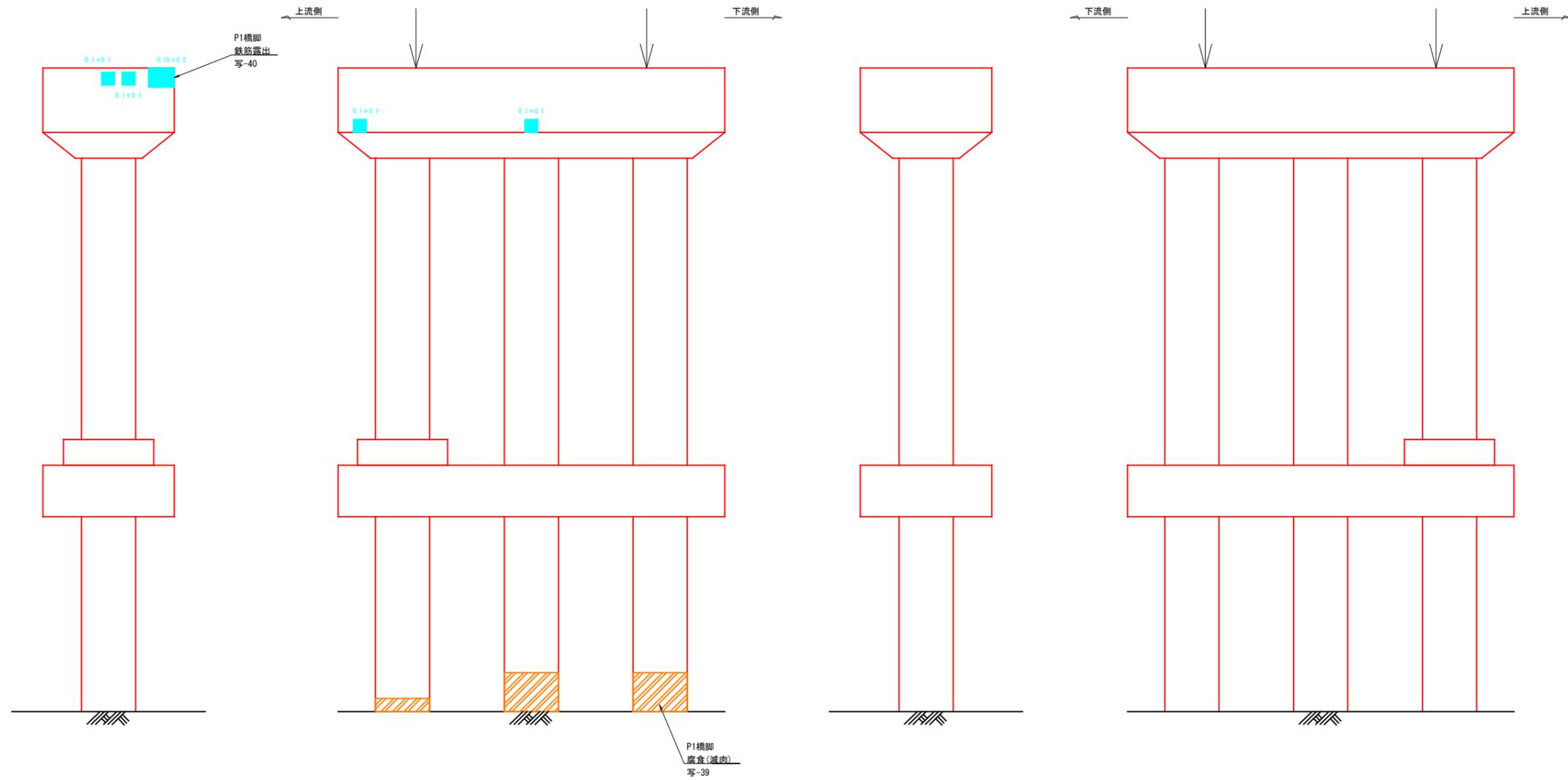
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横 (m) (m)	うき
	縦×横 (m) (m)	剥離・欠損
	縦×横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦×横 (m) (m)	豆板
	長さ (m)	遊離石灰
	縦×横 (m) (m)	漏水 (伝い水)
	縦×横 (m) (m)	腐食(減肉)
		その他

P1橋脚

起点側

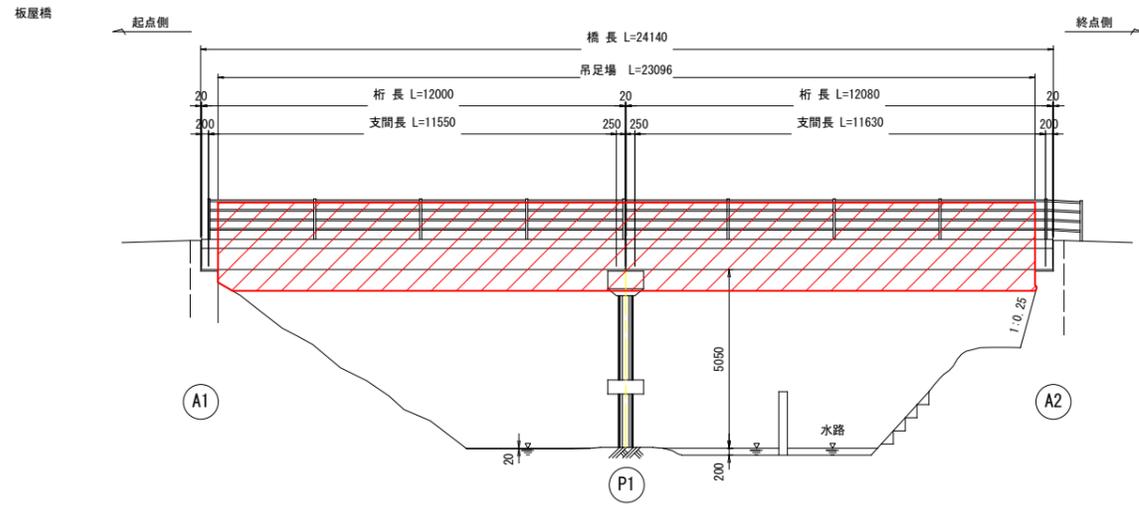
終点側



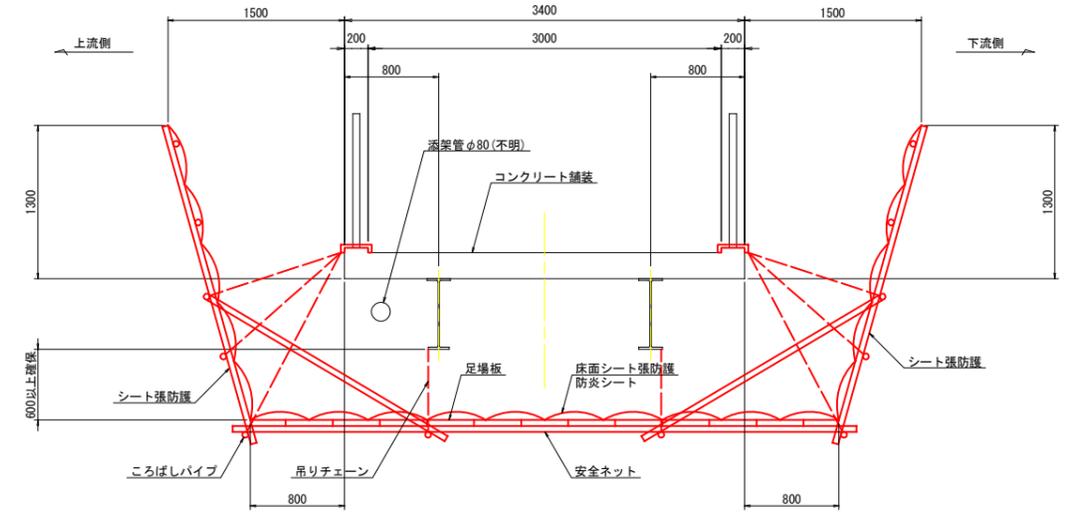
縮尺	図示	図面番号	8 / 8
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	仮設足場図(参考図)		
路線名	市道本郷町清兼板屋線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

板屋橋 仮設足場図(参考図)

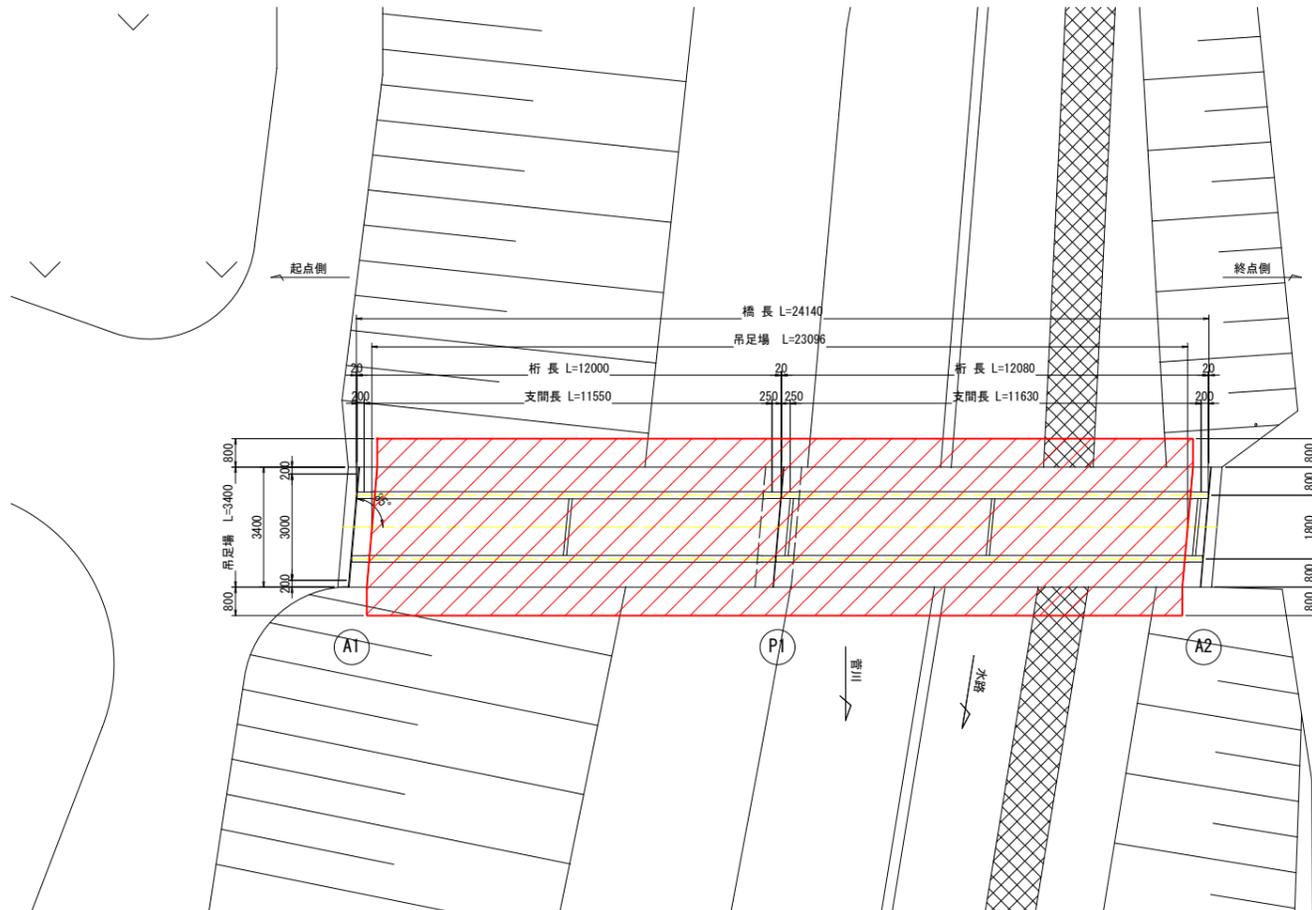
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



凡例

	吊足場 (TYPE A1)
--	---------------

- ※ 足場架設は添架物の干渉を避けて設置すること。
- ※ 添架物に干渉する場合は、防護を行うこと。

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

縮尺	図示	図面番号	1 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(1) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

損傷図(1)

S=1:30

(1径間)

凡例

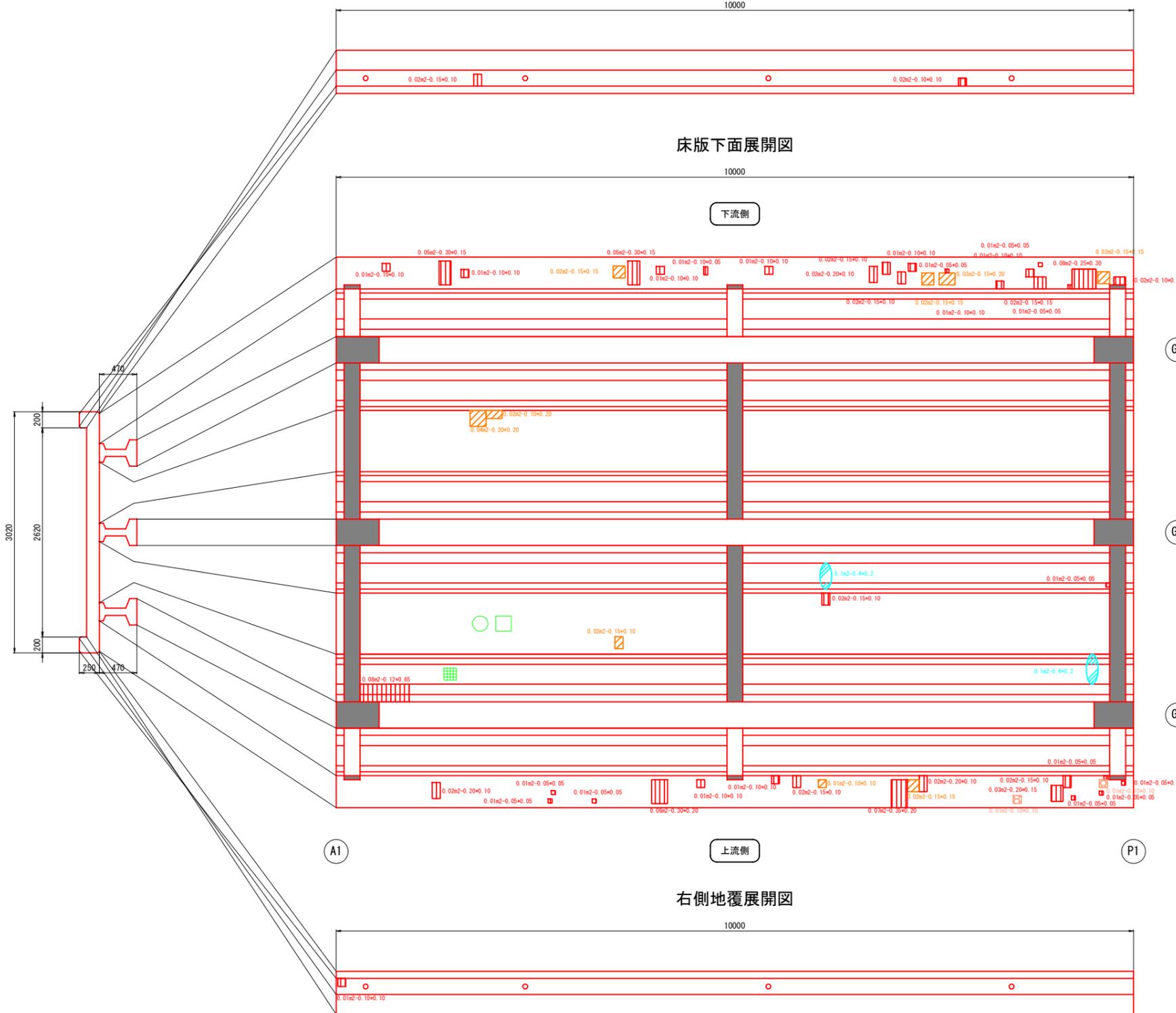
ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
漏水・滲水 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変色・劣化 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
占有物件	
はつり	
コア採取位置	
反発硬度試験 SH	

左側地覆展開図

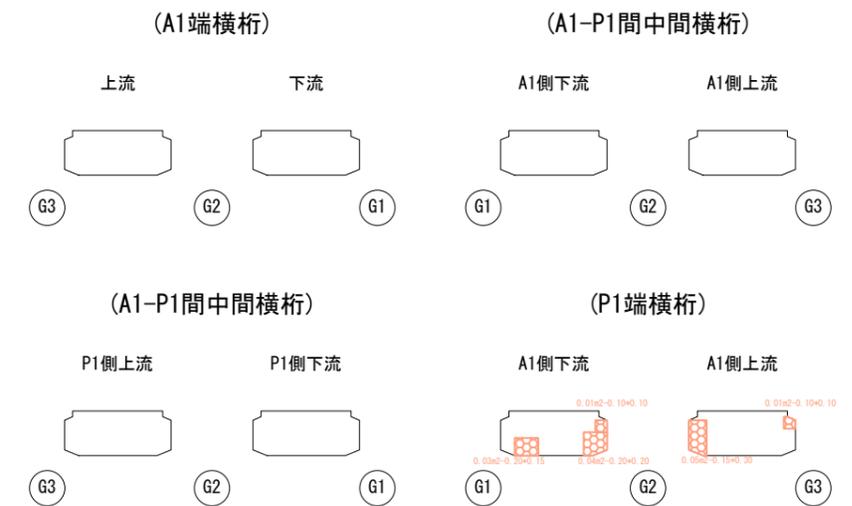
床版下面展開図

右側地覆展開図

横断面図



横桁正面図 S=1:30



縮尺	図示	図面番号	2 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(2) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

損傷図(2) S=1:30

(2径間)

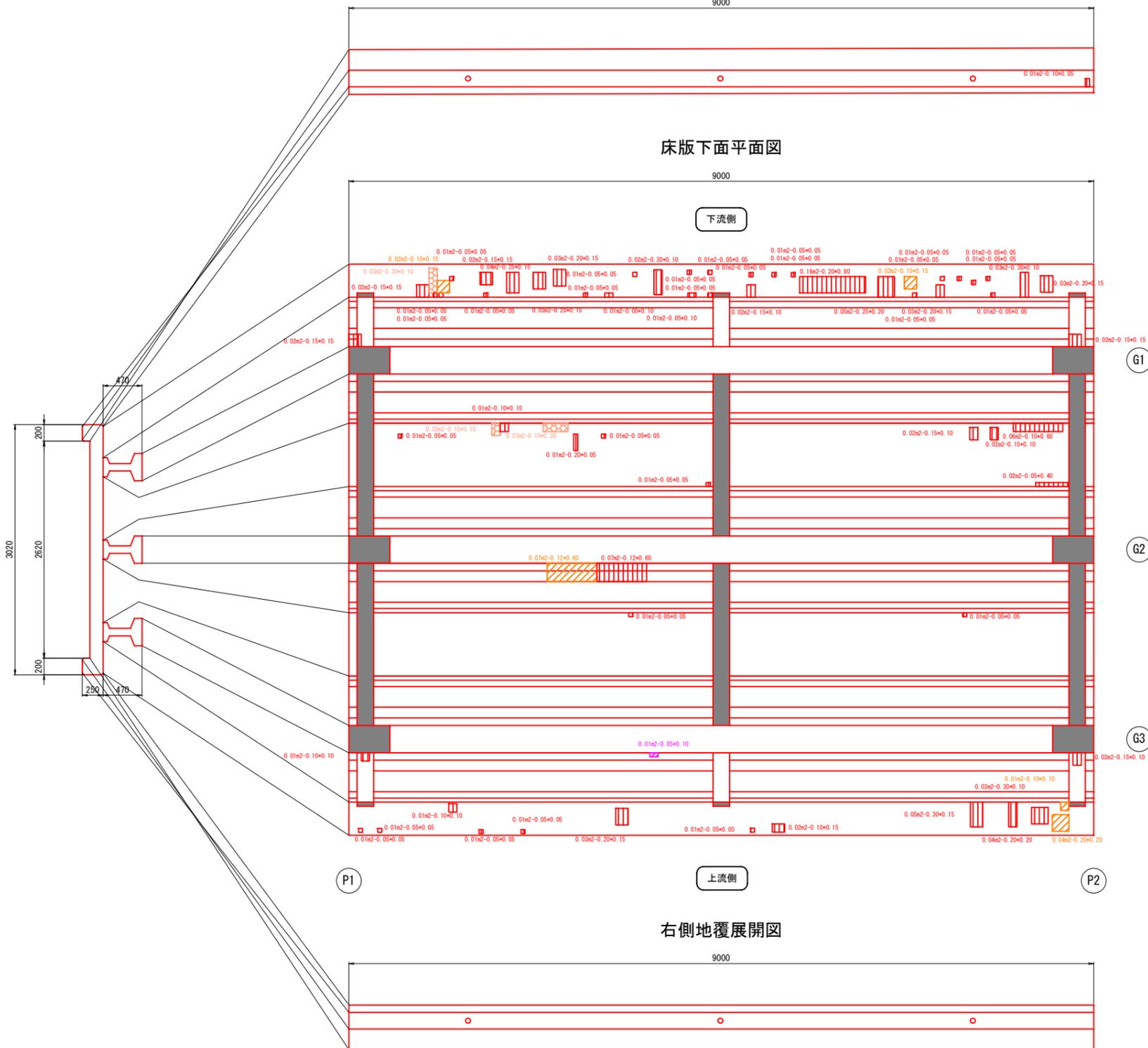
凡例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
漏水・滲水 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変色・劣化 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
占用物件	
はつり	
コア採取位置	
反発硬度試験 SH	

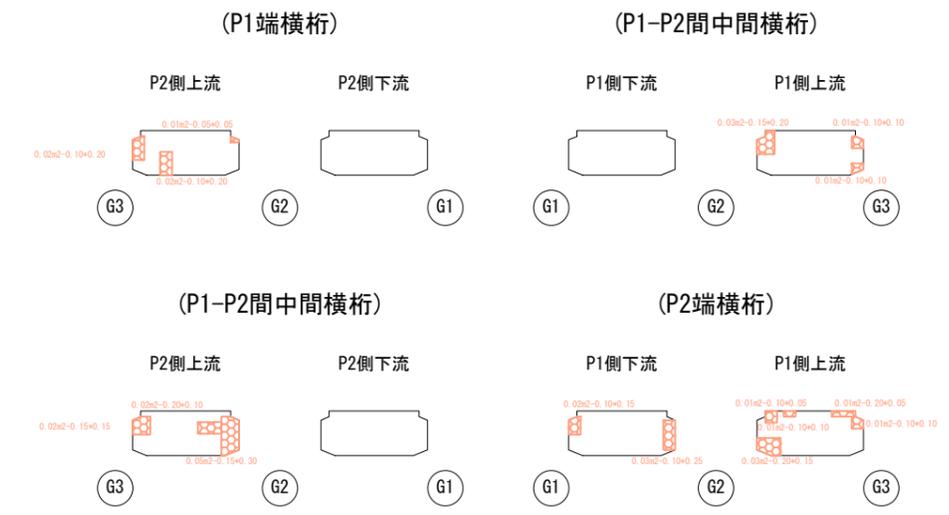
左側地覆展開図

床版下面平面図

右側地覆展開図



横桁正面図 S=1:30

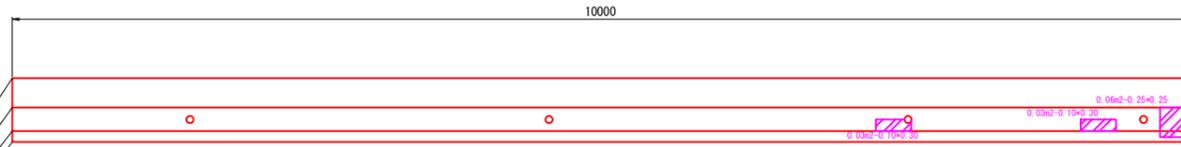


縮尺	図示	図面番号	3 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(3) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

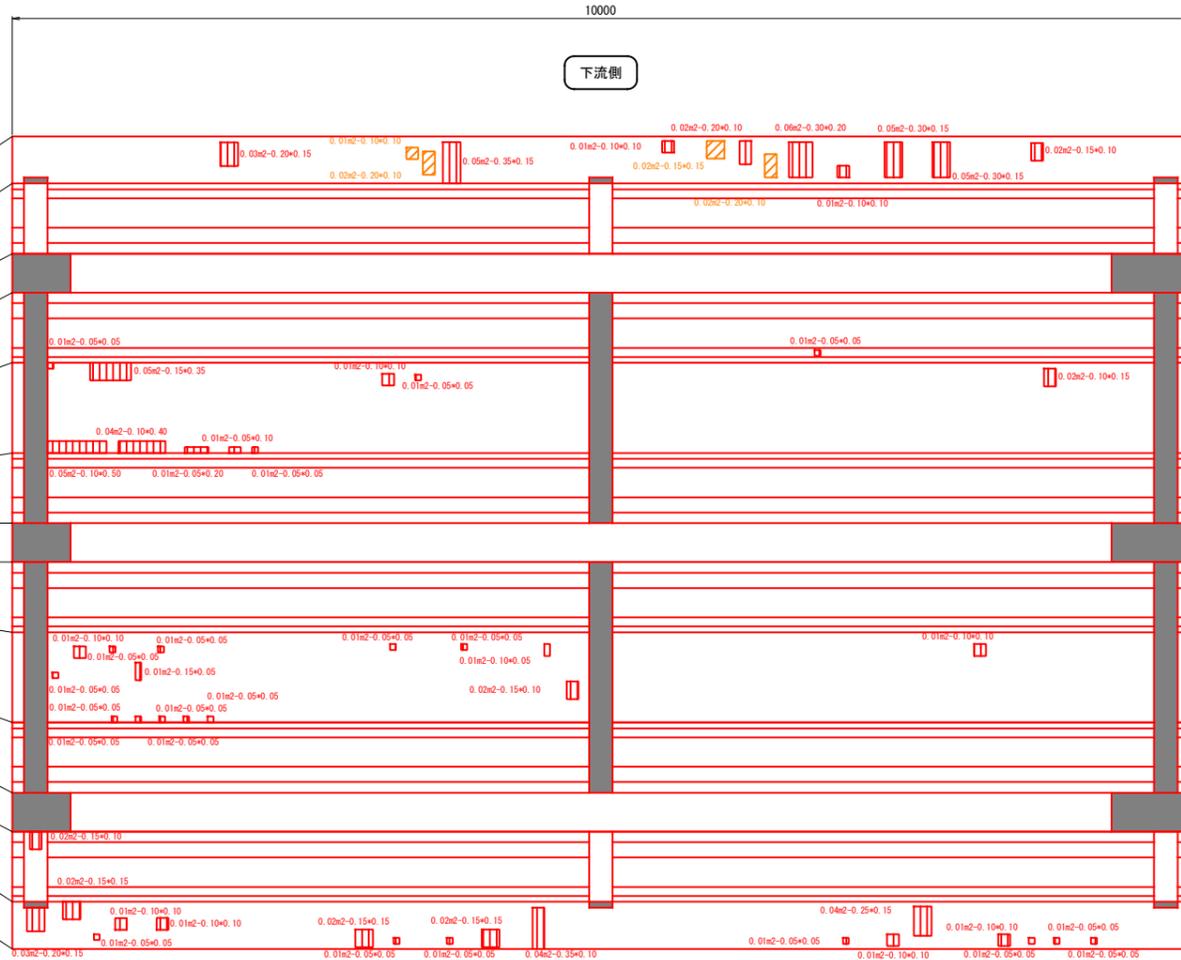
寺沖橋

損傷図(3) S=1:30 (3径間)

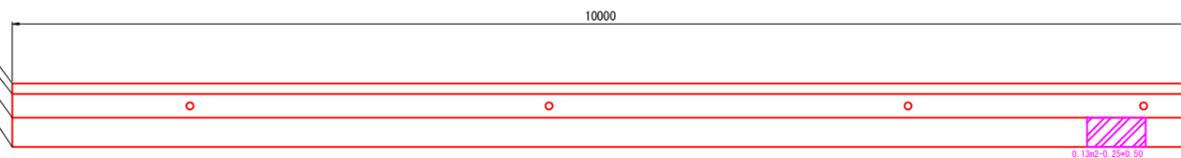
左側地覆展開図 S=1:30



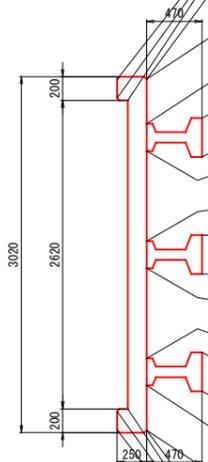
床版下面平面図 S=1:30



右側地覆展開図



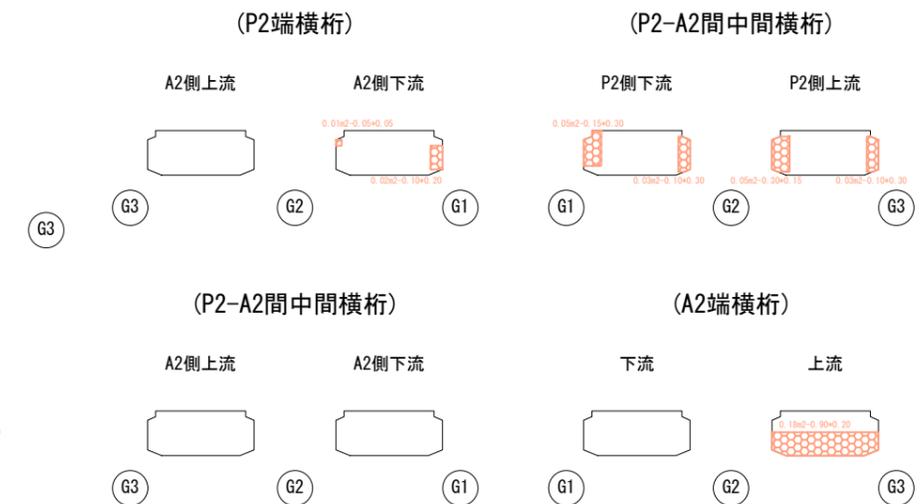
横断面図



凡例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
漏水・滲水 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m ² -0.4+0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
変色・劣化 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40+0.20
占用物件	
はつり	
コア採取位置	
反発硬度試験 SH	

横桁正面図 S=1:30



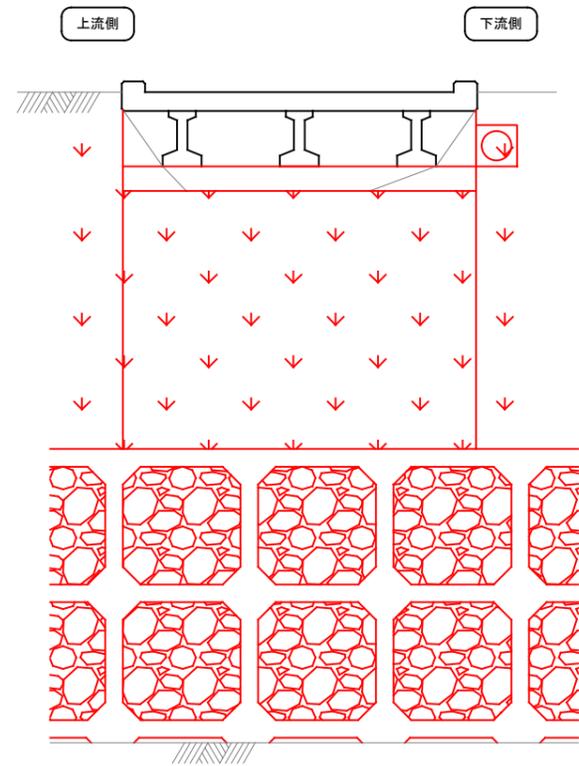
縮尺	図示	図面番号	4 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(4) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		
	寺沖橋		

損傷図(4) S=1:30 (橋台)

A1橋台沓座平面図 S=1:30



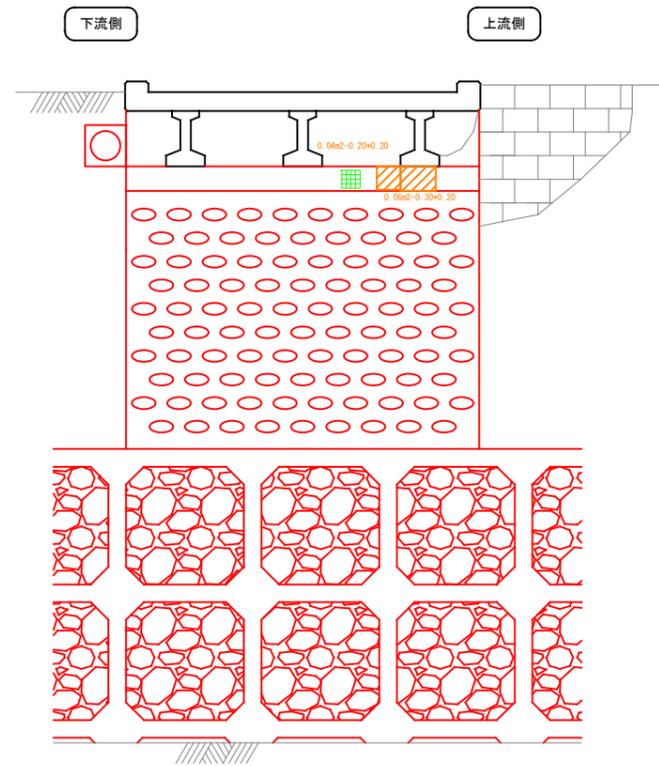
A1橋台正面図 S=1:30



A2橋台沓座平面図 S=1:30



A2橋台正面図 S=1:30



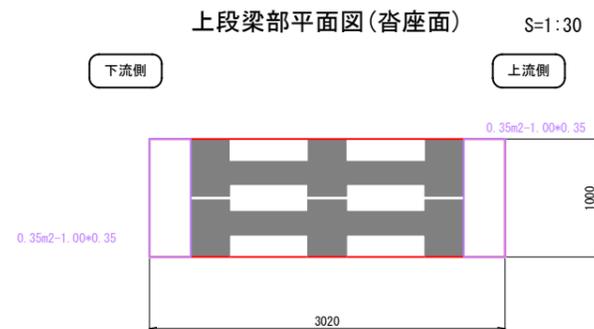
凡例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
漏水・滲水 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
変色・劣化 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
占用物件	
はつり	
コア採取位置	
反発硬度試験 SH	

縮尺	図示	図面番号	5 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(5) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

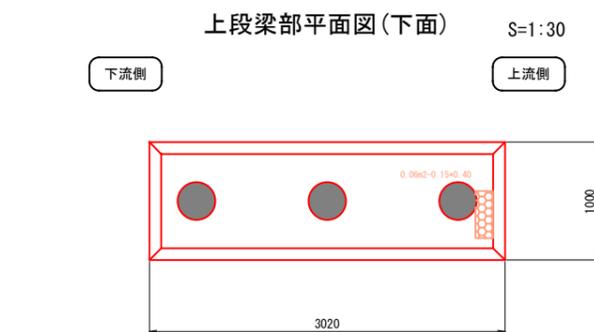
寺沖橋

損傷図(5) S=1:30 (P1橋脚)



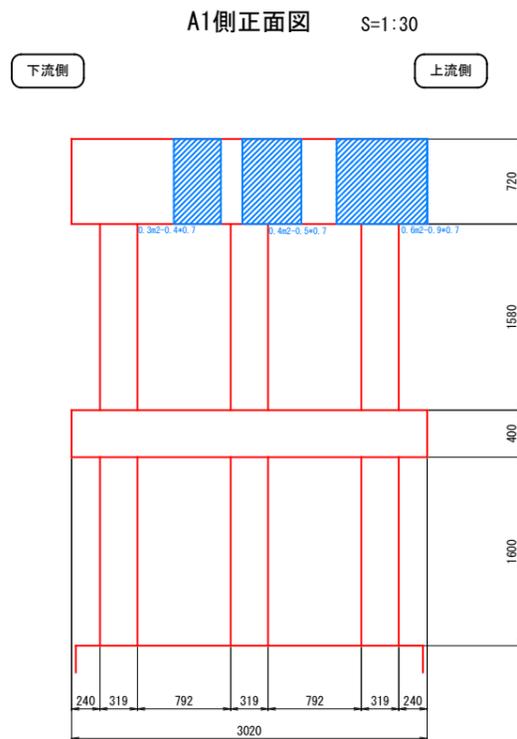
下流側

上流側



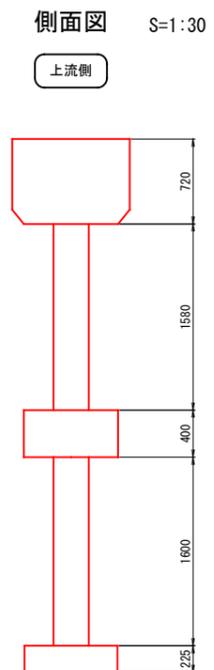
下流側

上流側

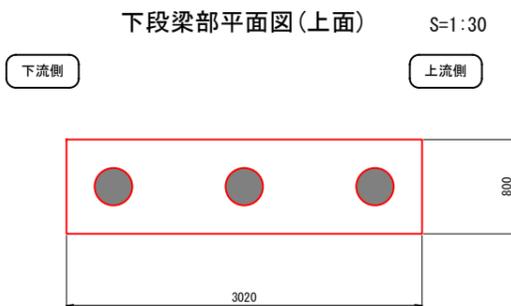


下流側

上流側

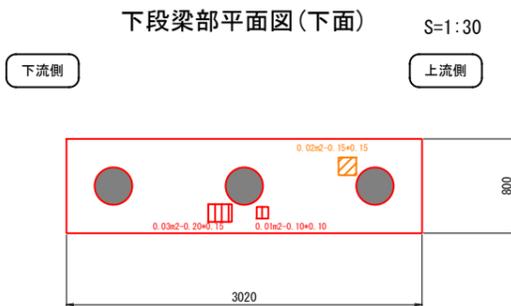


上流側



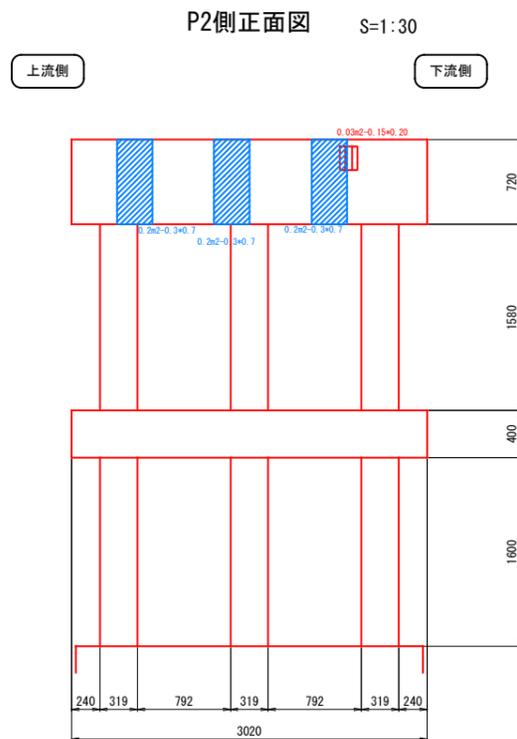
下流側

上流側



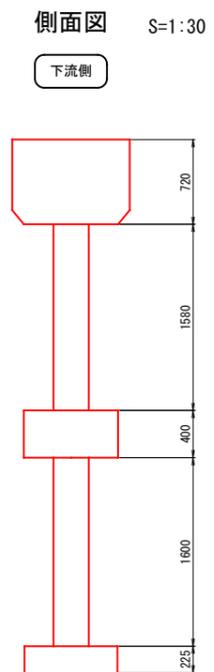
下流側

上流側



上流側

下流側



下流側

凡例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4+0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4+0.2
漏水・滞水 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m2-0.4+0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40+0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40+0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40+0.20
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40+0.20
土砂溜まり 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40+0.20
占用物件	—
はつり	□
コア採取位置	○
反発硬度試験 SH	■

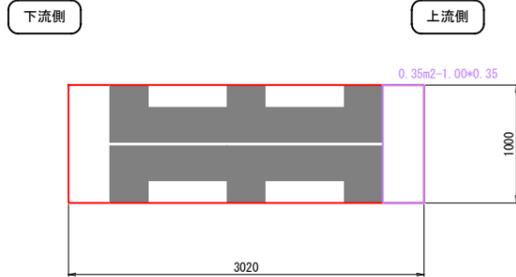
縮尺	図示	図面番号	6 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(6) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

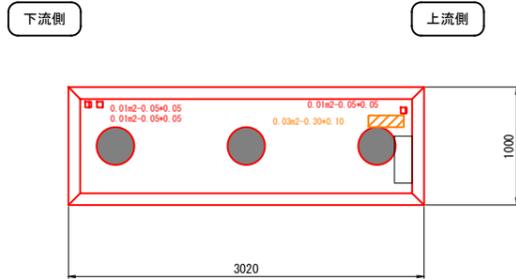
損傷図(6)

(P2橋脚)

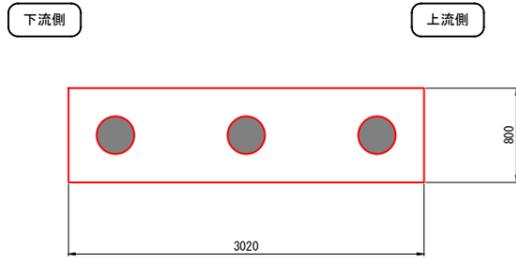
上段梁部平面図(脊座面) S=1:30



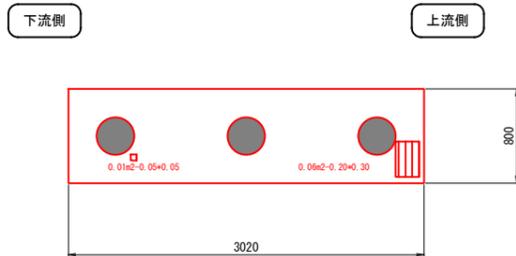
上段梁部平面図(下面) S=1:30



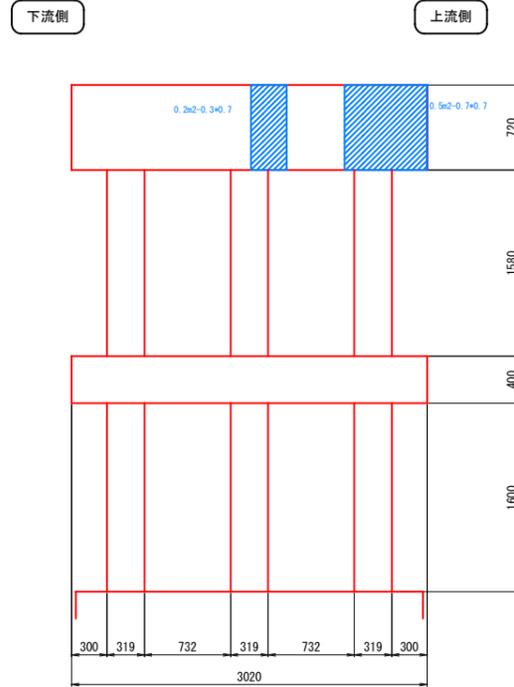
下段梁部平面図(上面) S=1:30



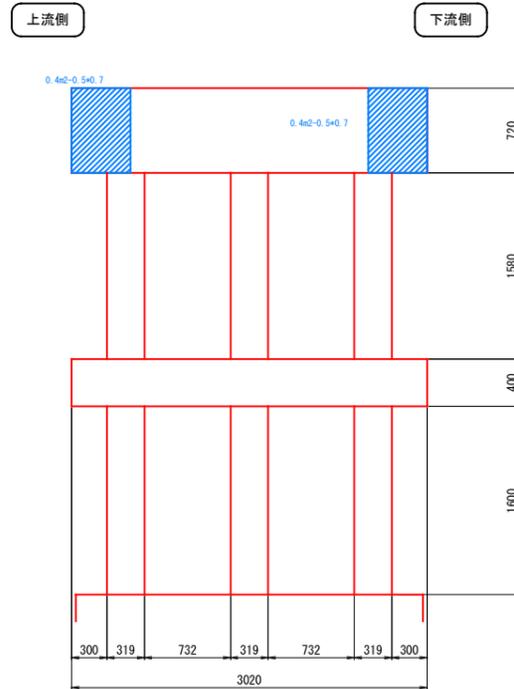
下段梁部平面図(下面) S=1:30



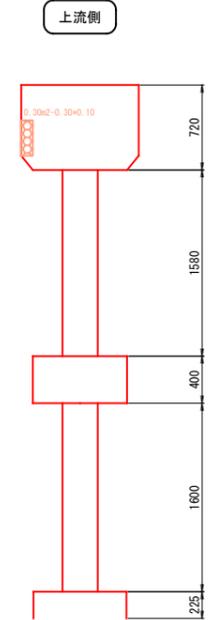
P1側正面図 S=1:30



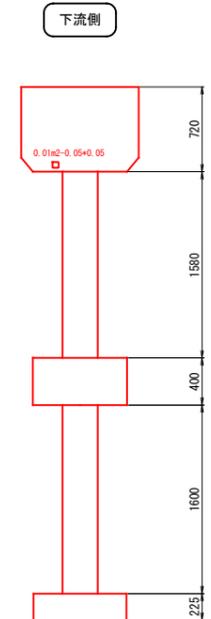
A2側正面図 S=1:30



側面図 S=1:30



側面図 S=1:30



凡例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60
遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
漏水・滲水 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.1m2-0.4x0.2
浮き・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
土砂溜まり 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40x0.20
占用物件	—
はつり	□
コア採取位置	○
反発硬度試験 SH	■

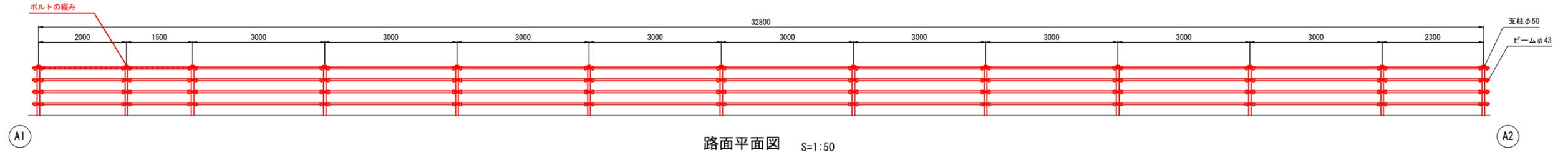
縮尺	図示	図面番号	7 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	損傷図(7) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

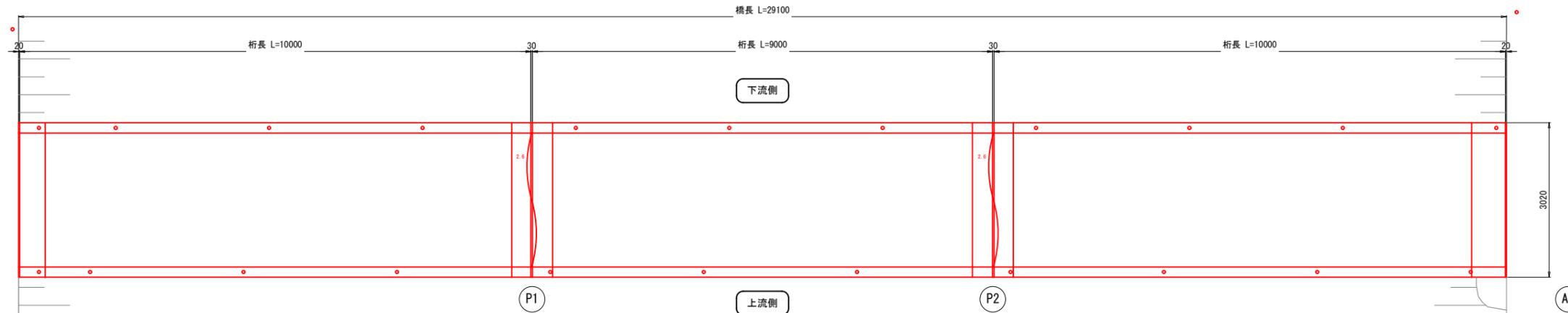
損傷図(7)

(路面)

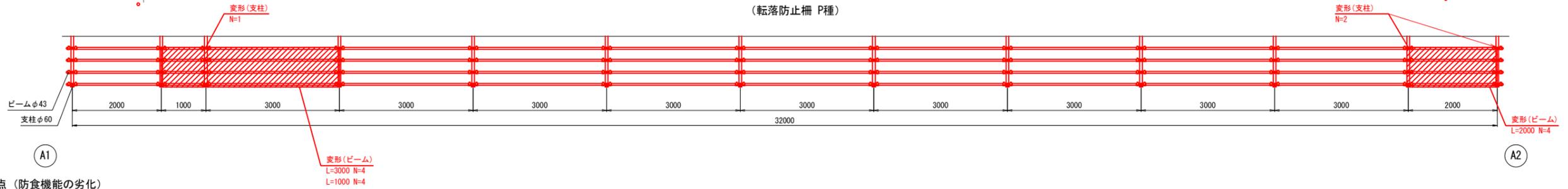
左側防護柵正面図 S=1:50
(転落防止柵 P種)



路面平面図 S=1:50



右側防護柵正面図 S=1:50
(転落防止柵 P種)



さび評価点 (防食機能の劣化)

項目	LINE・分類・損傷区分		1 区間	
	調査部位		さび評価	評価区分
防食機能の劣化	橋脚	P1(柱部)	1	A
		P2(柱部)	1	A
	高欄	左側高欄	3	C1
		右側高欄	3	C1

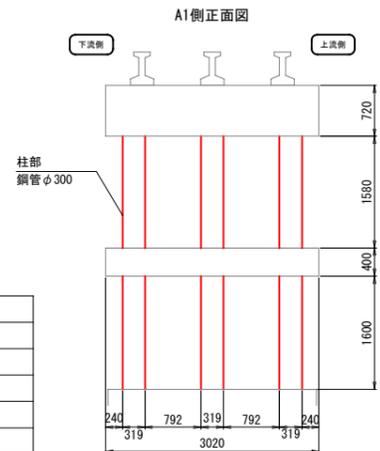
さびの評価

評価点	発生状態		JIS K 5600-8-3 さびの等級 (さびの面積%)
	発生面積 (%)	外観状態	
1	$X < 0.05$	さびが認められず、塗膜は健全な状態	R1.1 (0.05%)
2	$0.05 \leq X < 0.5$	さびが僅かに認められるが、塗膜は防食機能を維持している状態	R1.2 (0.5%)
3	$0.5 \leq X < 8.0$	さびが顕在化し、塗膜は一部防食機能が損なわれている状態	R1.3, R1.4 (1.0%, 8.0%)
4	$8.0 \leq X$	さびが進行し、塗膜は防食機能が失われている状態	R1.4以上 (8.0%以上)

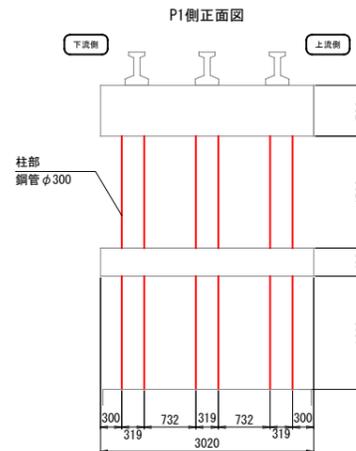
損傷程度の評価区分 (防食機能の劣化/塗装)

区分	一般的状況
A	損傷なし
B	局所的に防食膜が剥離し、下塗りが露出している。
C1	防食塗膜の劣化範囲が広く、点錆が発生している。
C2	-
E	-

P1橋脚正面図 S=1:50



P2橋脚正面図 S=1:50



凡例

舗装	説明	図中の数値は長さ(m)を示す。	図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。
コンクリート舗装	ひびわれ 5mm未満	0.8	
	ひびわれ 5mm以上	0.8	
アスファルト舗装	ひびわれ 5mm未満	0.8	
	ひびわれ 5mm以上	0.8	
コンクリート舗装の劣化	図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.5m ² -1.0m ²	0.5
	舗装のポットホール	図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.5m ² -1.0m ²
路面の凹凸	図中の数値は幅(m)×長さ(m)と凹凸深さ(mm)を示す。	0.3m×0.1m-30mm	
	路面の段差	図中の数値は段差幅(m)と段差深さ(mm)を示す。	L=1.0m-d=20mm
土砂溜り	図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.03m ² -0.3m ²	1

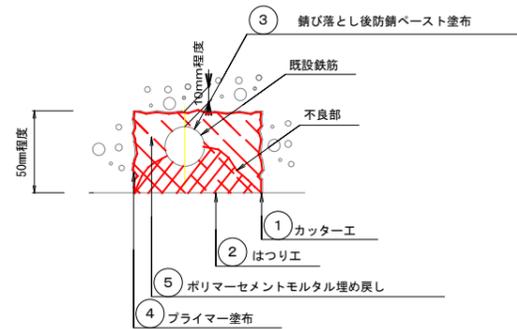
縮尺	図示	図面番号	8 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	補修詳細図 (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

補修詳細図

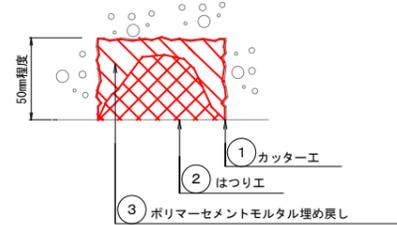
断面修復工A

左官工法(防錆処理含む)
d=5cm



断面修復工B

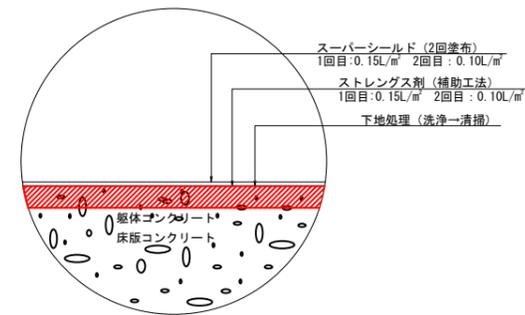
左官工法(防錆処理含まない)
d=5cm



表面処理工

表面含浸工
(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

※ 上部0.6部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
※ ケイ酸塩系含浸材



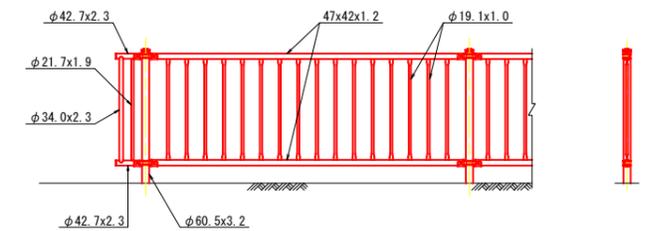
※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

防護柵取替え工

転落防止柵

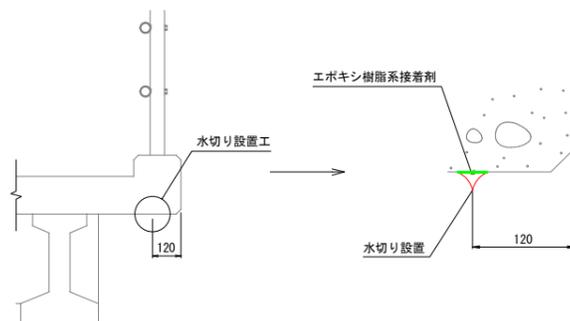
正面図

断面図

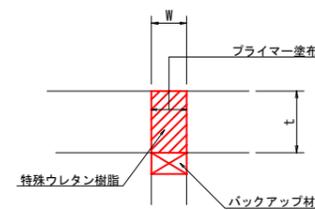


※ 施工の際は日々復旧を行い、交通規制解放後に交通の支障とならないように復旧を行うこと。
※ コンクリート削孔を行う際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

水切り設置工



伸縮部補修工



※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
※ 充填材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。
※ 充填後は、指触乾を確認後に交通解放を行うこと。
※ 既設エスタライト等は撤去すること。

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
豆板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工(B)
	0.08m ² -0.40×0.20	表面含浸工
	0.08m ² -0.40×0.20	伸縮装置設置工
	0.08m ² -0.40×0.20	防護柵取替工
	0.08m ² -0.40×0.20	水切り設置工

縮尺	図示	図面番号	9 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	伸縮継手装置設置工(参考図)(参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

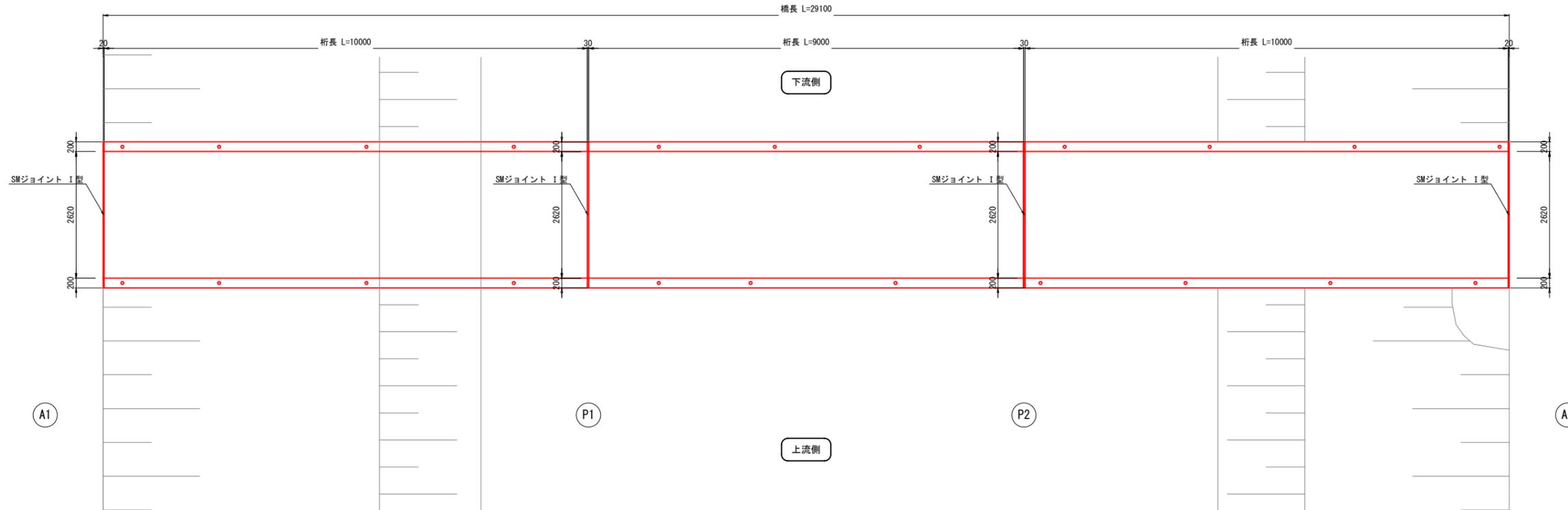
寺沖橋

伸縮継手装置設置工(参考図)

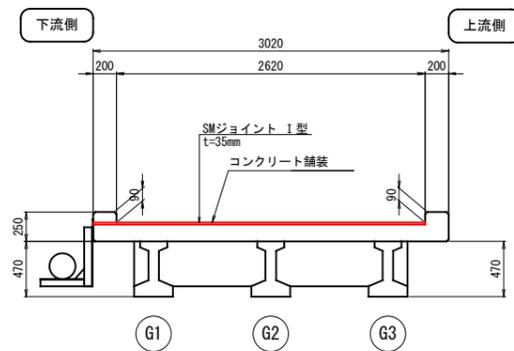
簡易工法：目地補修工

注記) 本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

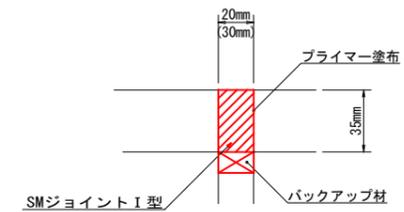
平面図 S=1:100



標準断面図 S=1:30



橋梁用目地補修工 S=1:2



使用材料数量表(施工幅20mm 施工厚35mm 10m当たり参考値)

名称	品名	数量	備考
SMジョイント I型	特殊ウレタン樹脂	0.035x10x0.02x1.11x1000= 7.77 l	比重 1.11
プライマー	専用プライマー	0.035x10x2x100ml/m2= 70 ml	100 ml/m2
バックアップ材	バックアップ材	10.0 m	

使用材料数量表(施工幅30mm 施工厚35mm 10m当たり参考値)

名称	品名	数量	備考
SMジョイント I型	特殊ウレタン樹脂	0.035x10x0.03x1.11x1000= 11.66 l	比重 1.11
プライマー	専用プライマー	0.035x10x2x100ml/m2= 70 ml	100 ml/m2
バックアップ材	バックアップ材	10.0 m	

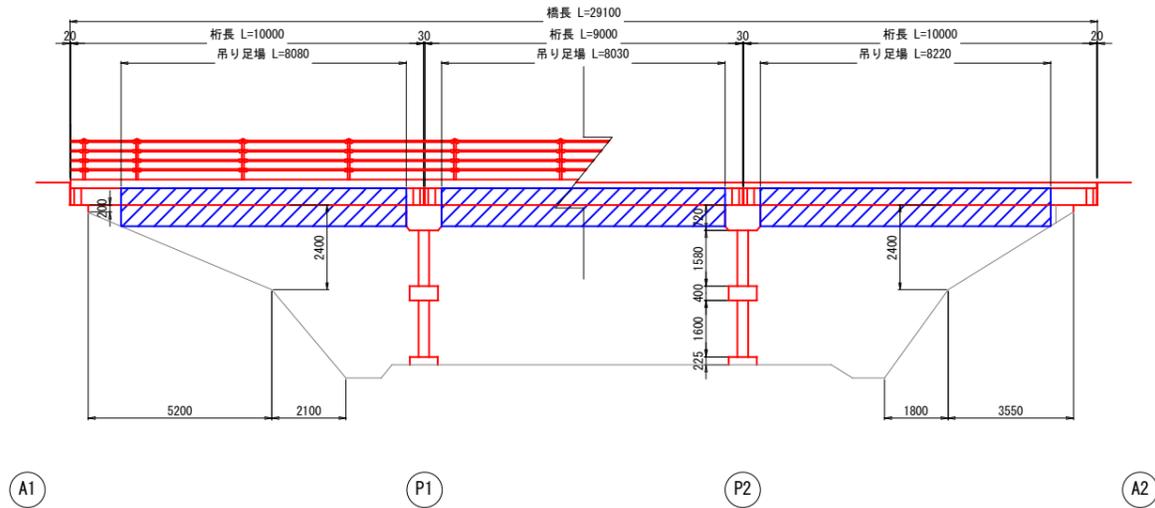
縮尺	図示	図面番号	10 / 10
工事名	橋梁補修工事(市道本郷町清兼板屋線板屋橋外1橋)		
図面名	仮設足場図(参考図) (参考)		
路線名	市道本郷町寺沖線		
事業者名	三原市建設部土木整備課		

寺沖橋

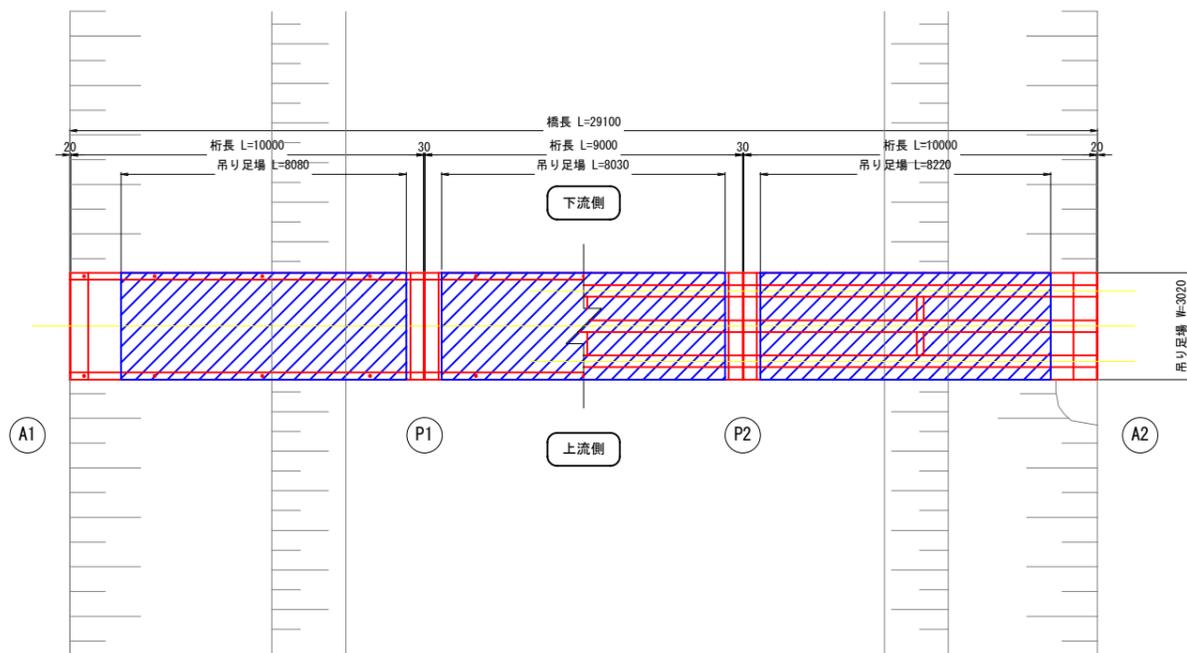
仮設足場図(参考図)

注記) 本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

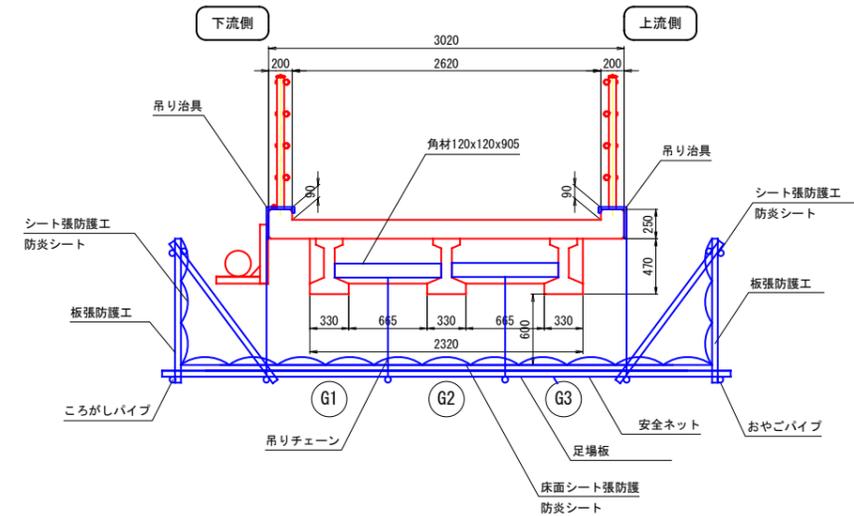
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



標準断面図 S=1:30



仮設足場数量表

種類	寸法 (m)	面積 (m ²)
TYPEA1	吊り足場(桁高h<1.5m) 全幅員(地覆外縁間距離)×必要長 (8.08+8.03+8.22)×3.02	73.48
	床面シート張防護設置	73.48
TYPEB	朝顔	73.48
	板張防護工	73.48
	シート張防護工	73.48

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

位置図

